

人権問題に関する市民意識調査

《調査結果報告書》

平成 26 年 9 月

川 西 市

目次

I 調査の概要	3
II 回答者属性	5
III 調査結果	6
問 1 「人権」ということを、どの程度身近に感じられますか	6
問 2 小学校から高校の間に、差別や人権に関する教育を受けたことがありますか	7
問 2-(1)その教育をどの程度受けましたか	7
問 2-(2)どういう内容を教わりましたか	8
問 3 憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか	9
問 4 日常生活のなかで、自分の人権が侵害されたと思われたことがありますか	11
問 4-(1)どのような人権侵害でしたか	12
問 4-(2)人権侵害を受けたとき、どうされましたか	13
問 5 これまでの同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか	14
問 5-(1)それは誰から聞きましたか	15
問 5-(2)それはいつごろのことですか	16
問 5-(3)それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか	17
問 6 結婚したいと思っている相手が同和地区の人で、そのことを理由に家族から反対されていることについて、相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか	19
問 7 人権や同和問題について、次のような意見について、どう思いますか	21

問 8 次のような意見について、どう思いますか	24
問 9 次のような事柄について、どの程度問題があると思いますか	28
問 10 次のような日常生活に関わるいろいろな見方や考え方について、どう思いますか	45
問 11 次のような子どもの人権に関する意見について、どう思いますか	53
問 12 次のような高齢者や障がい者、外国人に関する意見について、どう思いますか	63
問 13 「広報かわにし」の中の人権啓発シリーズ「生きる」というコラムをお読みですか	68
問 14 「広報かわにし」の中で、「人権問題特集」、「男女共同参画特集」を発行していますが、お読みですか	69
問 15 人権問題の解決のための次の団体・組織など、どの程度知っていますか	70
問 16 市や団体などが主催している講演会、研修会などに参加したことがありますか	72
問 16-(1)それはどういう種類のものでしたか	73
問 17 職場で実施されている人権問題の研修に参加したことがありますか	74
問 18 市の以下の宣言や取り組みについて、知っていますか	75
問 19 A.あなたの性別は。B.あなたの年齢は。C.居住年数は。	79
問 20 人権問題の解決のための推進体制や啓発のあり方などについて、川西市に対して、なにかご意見、ご要望があれば、ご自由にお書きください。	81
IV 調査結果から（考察）	91
V 資料（調査票）	94

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、市民一人ひとりの人権が尊重され人権文化が息づくまちづくりをめざし、平成 17（2005）年に策定した「川西市人権行政推進プラン」【（平成 22（2010）年改定）に基づき、さまざまな取り組みをすすめています。

本調査は、平成 26（2014）年度に予定しているプランの見直しにあたり、市民の考えを把握し、改定のための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査対象

無作為抽出による満 20 歳以上の市民 2,000 人

3 調査期間

平成 25 年 11 月

4 調査方法

宅配配布・郵送回収

5 回収状況

配 布 数	不到達数※1	回収数	無効回答数※2	有効回収数	有効回収率
2,020 通	21	1,055 通	2	1,053 通	52.7%

※1 不到達：転居先不明等で市に返戻されたもの ※2 無効回答：白票

【性別・年齢別回収数】

単位：%

	総数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答
男性	39.8	2.5	4.1	6.0	5.0	9.4	12.7	0.1
女性	59.6	4.2	8.8	10.5	8.6	12.9	14.5	0.1
計	100.0	6.6	12.9	16.4	13.7	22.3	27.4	0.7

単位：人

	総数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答
総数	1,053	70	136	173	144	235	288	7
男性	419	26	43	63	53	99	134	1
女性	628	44	93	110	91	136	153	1
無回答	6	0	0	0	0	0	1	5

6 調査結果の表示方法

■回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

■複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

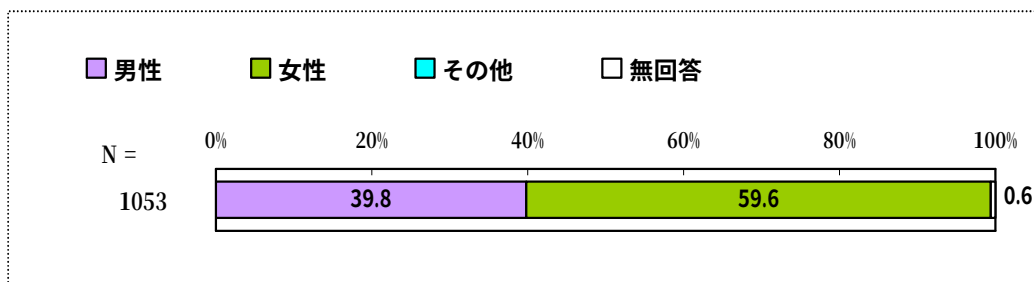
■クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

■調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

■今回の調査では、回答者の性別を問う設問の選択肢を「男性」「女性」「その他」としました。「その他」を加えたのは、自分の性別を「男性」でも「女性」でもないとする市民がいることに配慮したからです。回収した調査票で、性別を「その他」とした回答者はいませんでした。したがって、調査結果を性別で表示する場合は、「男性」「女性」の2区分で示しています。

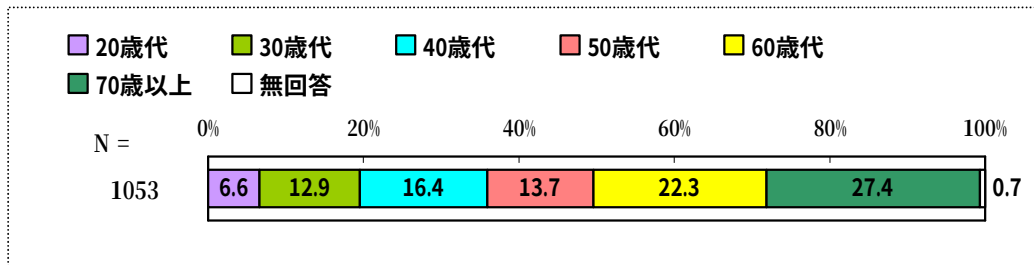
Ⅱ 回答者属性

【性別】



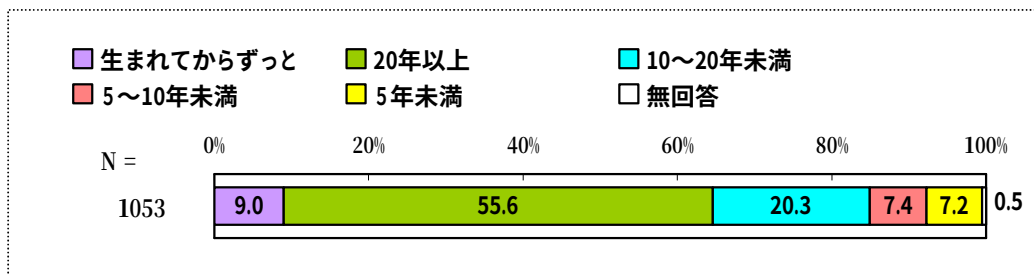
★「男性」の割合が 39.8%、「女性」の割合が 59.6%となっています。「その他」という回答はありませんでした。

【年齢】



★「70 歳以上」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 22.3%、「40 歳代」の割合が 16.4%となっています。

【居住年数】



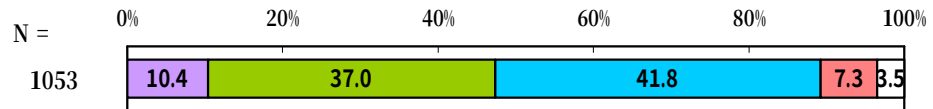
★「20 年以上」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「10～20 年未満」の割合が 20.3%となっています。

III 調査結果

問1 あなたは、「人権」ということを、どの程度身近に感じられますか。あなたの気持ちに最も近いものを一つ選んでください。

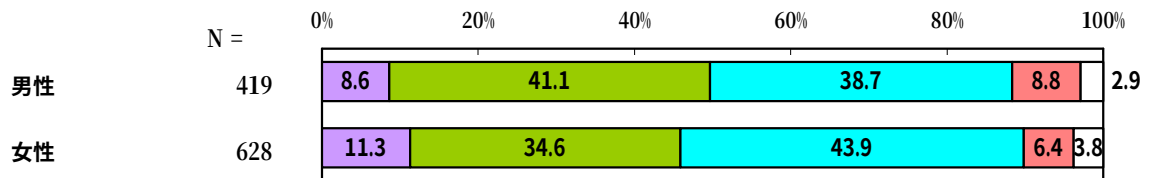
【基本】

- 非常に身近に感じている
- どちらかといえば身近に感じている
- どちらかといえば身近には感じていない
- まったく身近には感じていない
- 無回答



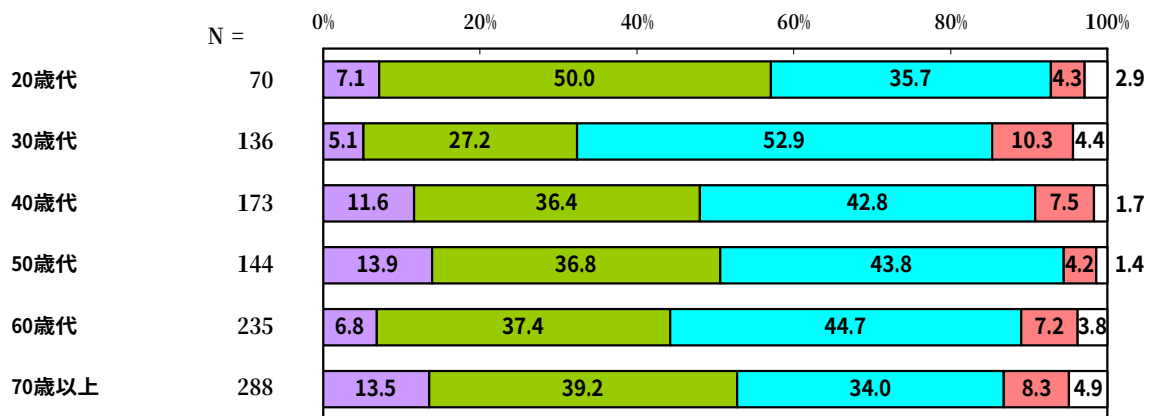
★「どちらかといえば身近には感じていない」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば身近に感じている」の割合が 37.0%、「非常に身近に感じている」の割合が 10.4%となっています。

【性別】



★性別でみると、大きな差異はみられません。

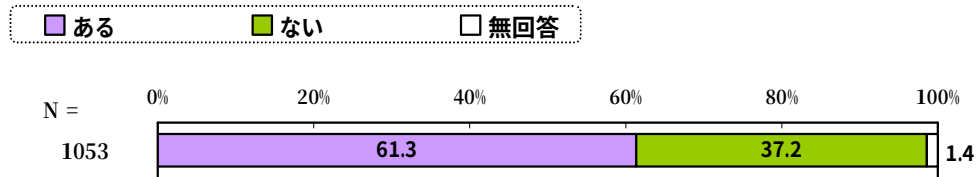
【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、30 歳代で“ 身近には感じていない ”の割合が高く、約 6 割となっています。また、“ 身近に感じている ”の割合は、20 歳代で高くなっています。

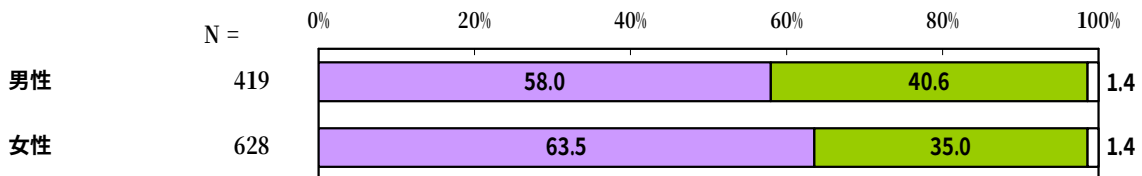
問2 あなたは、小学校から高校の間に、差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。

【全体】



★「ある」の割合が 61.3%、「ない」の割合が 37.2%となっています。

【性別】



★性別でみると、男性に比べ、女性で「ある」の割合が高く、6割を超えています。

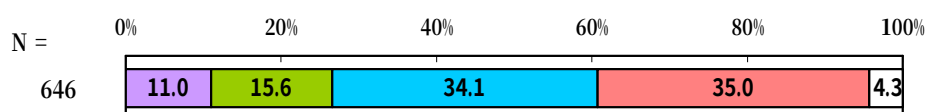
【年齢別】



★年齢別でみると、年代が高くなるにつれ「ない」の割合が高くなっており、70歳以上で7割を超えています。

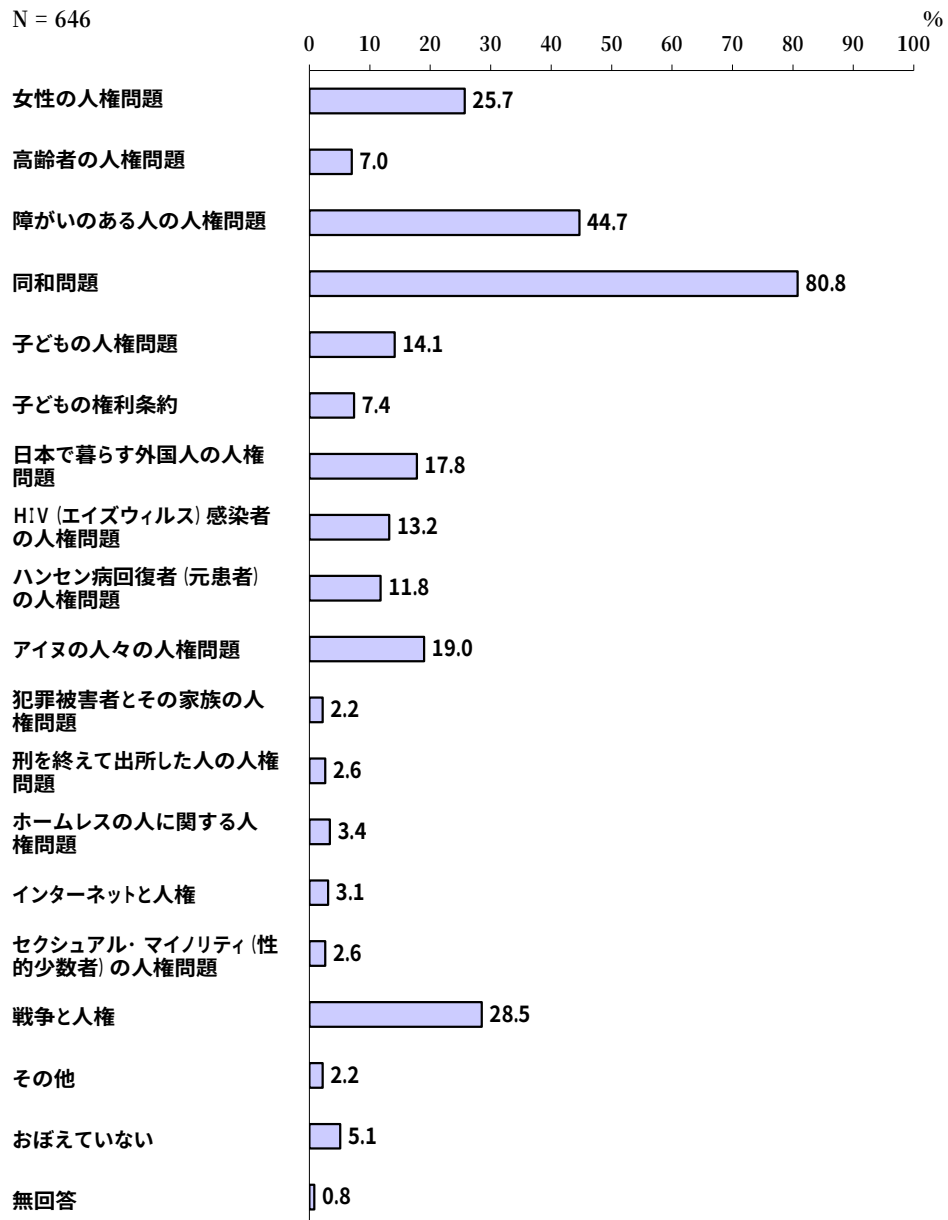
問2 - (1) 問2で「1.ある」と回答された方にお聞きします。その教育をどの程度受けましたか。

☐ ほぼ毎週
 ☐ 月に1～2回
 ☐ 年に数回
 ☐ 覚えていない
 ☐ 無回答



★「覚えていない」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 34.1%、「月に1～2回」の割合が 15.6%となっています。

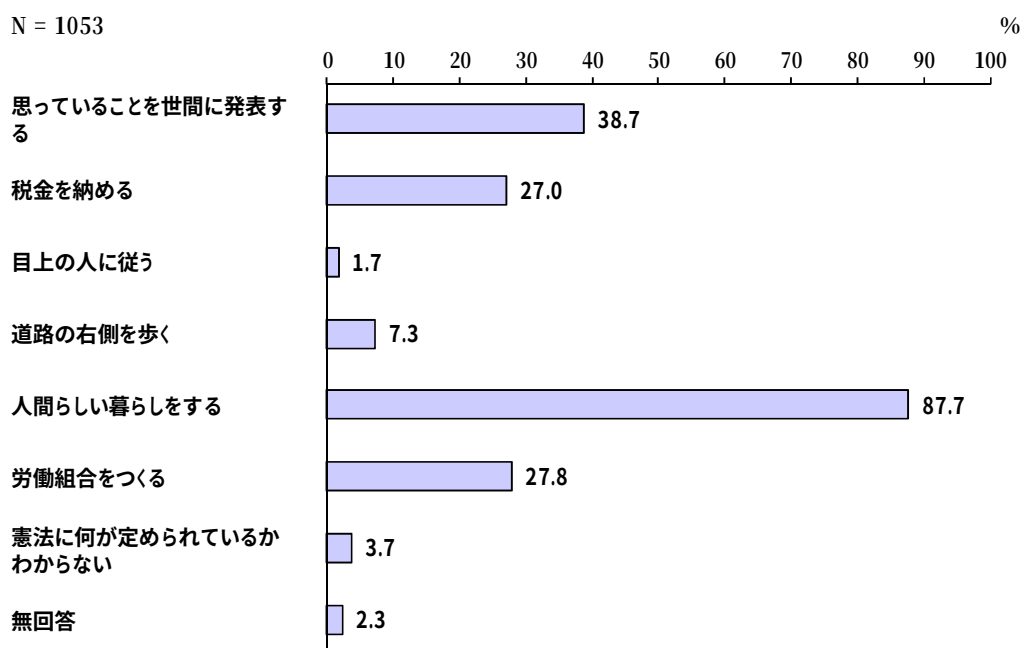
問2 - (2) どのような内容を教わりましたか。



★「同和問題」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」の割合が 44.7%、「戦争と人権」の割合が 28.5%となっています。

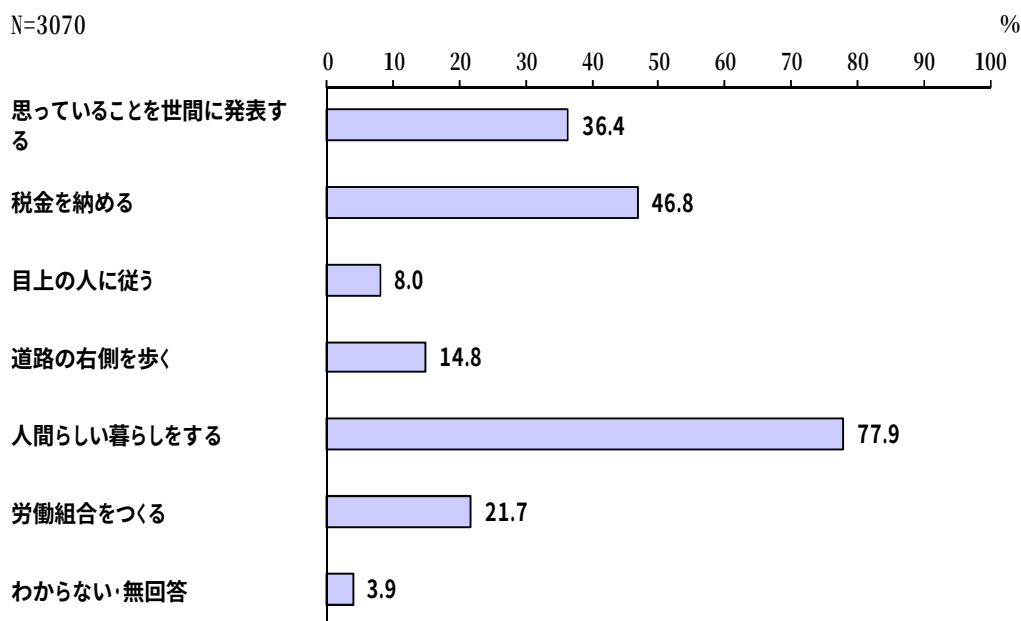
問3 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。

N = 1053



【平成25年NHK調査（全国）】

N=3070



★「人間らしい暮らしをする」の割合が 87.7%と最も高く、次いで「思っていることを世間に発表する」の割合が 38.7%、「労働組合をつくる」の割合が 27.8%となっています。

平成25年NHK調査と比較すると、「人間らしい暮らしをする」が 9.8 ポイント高く、「税金を納める」が 19.8 ポイント低くなっており、市民の正答率は高くなっています。NHKの全国調査と比較して、憲法に定められた国民の権利に対する理解は、川西市のほうがやや高いといえます。

※国民の権利 ⇒ (「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」)

問 3-㌵

【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効回答数 (件)	世間 に 思 っ て い る こ と を 発 表 す る	税金を納める	目上の人に 従う	道路の右側を 歩く	人間らしい暮 らし を す る	労働組合をつ くる	憲法に何が 定められてい るか わ か ら な い	無回答
総 数	1047	38.7	26.8	1.7	7.3	87.7	27.7	3.7	2.3
性 別	男性	419	44.6	26.3	1.7	6.9	86.9	32.9	3.3
	女性	628	34.7	27.2	1.8	7.5	88.2	24.2	4.0
年 齢 別	20 歳代	70	65.7	11.4	2.9	5.7	82.9	44.3	10.0
	30 歳代	136	44.9	19.9	1.5	2.2	90.4	30.1	1.5
	40 歳代	173	33.5	16.8	—	1.7	87.9	30.1	6.4
	50 歳代	144	42.4	18.1	0.7	1.4	92.4	31.9	2.1
	60 歳代	235	35.7	29.8	0.9	4.7	87.2	24.7	3.0
	70 歳以上	288	32.6	42.0	3.8	18.4	85.8	21.2	3.1

★性別でみると、総じて女性に比べ、男性の方が少しだけ正答率が高くなっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代の正答率が高くなっています。

【職場における人権問題の研修への参加度別】

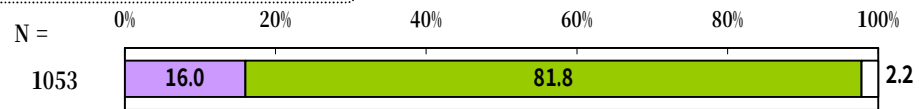
単位：％

区 分	有効回答数 (件)	世間 に 思 っ て い る こ と を 発 表 す る	税金を納める	目上の人に 従う	道路の右側を 歩く	人間らしい暮 らし を す る	労働組合をつ くる	憲法に何が 定められてい るか わ か ら な い	無回答
総 数	1053	38.7	27.0	1.7	7.3	87.7	27.8	3.7	2.3
何回か参加した	147	55.8	18.4	1.4	4.1	86.4	44.9	2.7	2.7
1～2 回は参加した	60	45.0	18.3	1.7	5.0	93.3	38.3	1.7	—
参加したことはない	167	31.1	30.5	3.6	10.8	84.4	21.0	7.8	3.0
職場での「人権研修」は行 われていない	243	37.9	22.6	1.2	3.3	89.7	29.6	3.3	2.1
職場はない(無職)	389	35.7	31.4	1.5	9.0	88.7	22.6	3.1	1.3

★職場における人権問題の研修への参加度別でみると、他に比べ、「何回か参加した」「1～2 回は参加した」人の正答率が少し高くなっています。職場における人権問題の研修会への参加度が高いほど、国民の権利への理解が高いといえます。

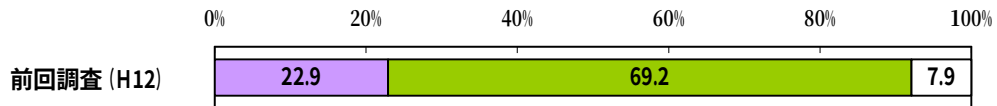
問4 日常生活のなかで、あなたは過去5年くらいの間に、自分の人権が侵害されたと思われたことがありますか。

■ ある ■ ない □ 無回答



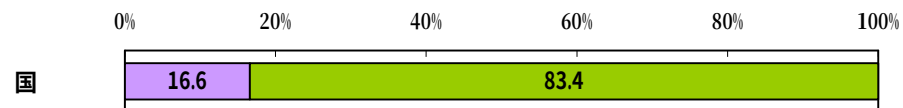
【前回調査 (H12)】

※今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



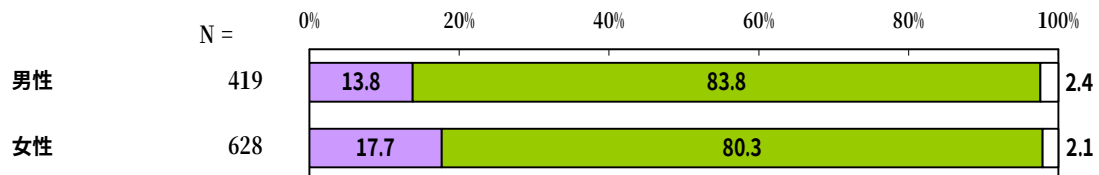
【人権擁護に関する世論調査 (国・H24)】

※今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



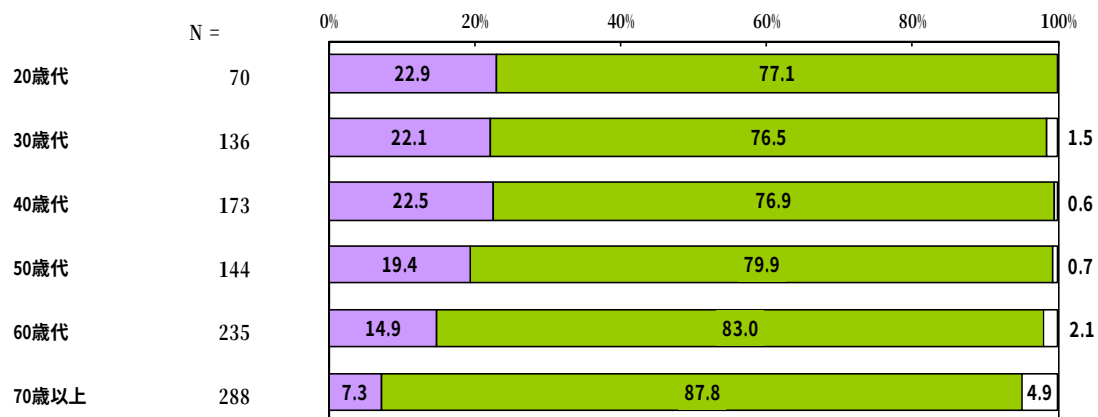
★前回調査 (H12) と比較すると、「ある」が 6.9 ポイント減少しています。人権擁護に関する世論調査 (H24) と比較すると、大きな差異はみられません。

【性別】



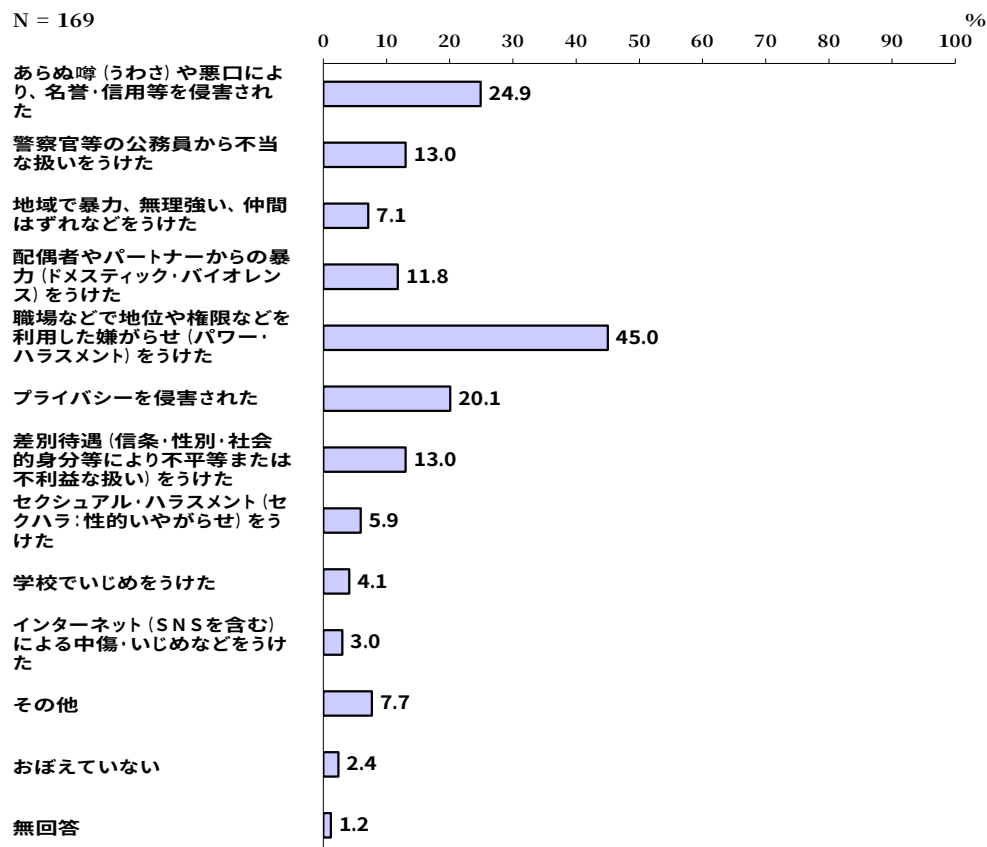
★性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】

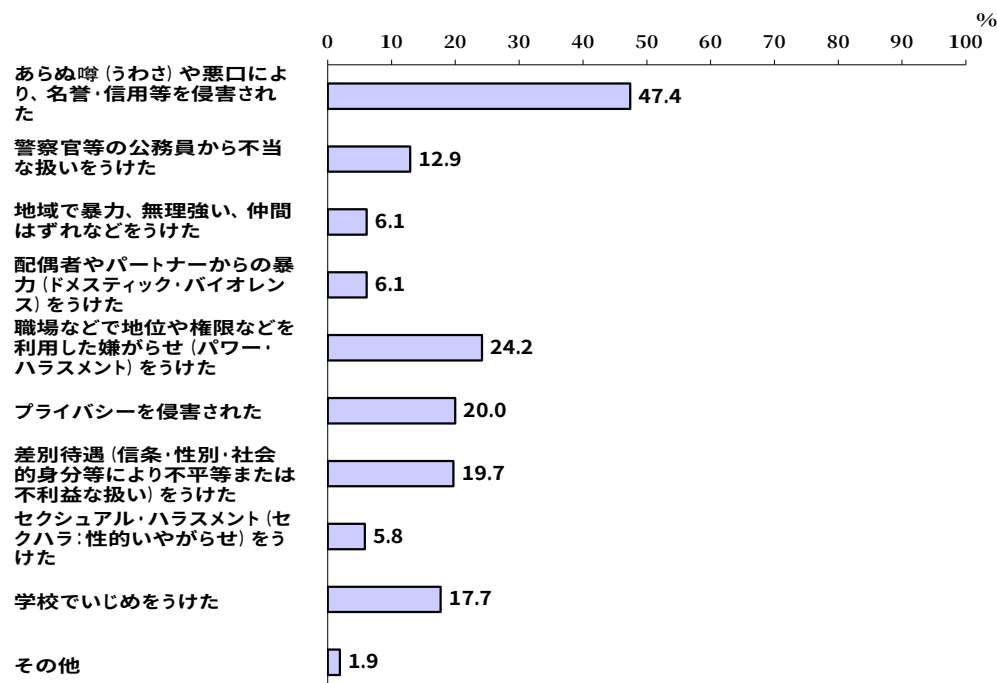


★年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代から50歳代で「ある」の割合が高く、約2割となっています。

問4 - (1) 「ある」と回答された方にお聞きします。どのような人権侵害でしたか。



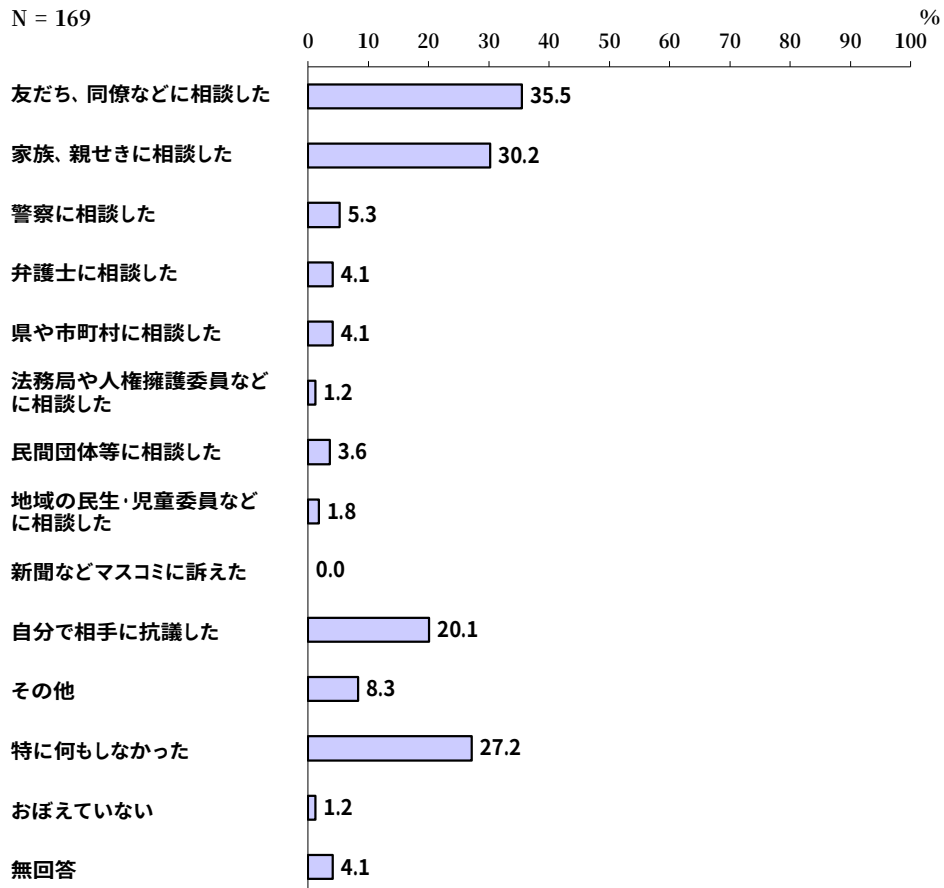
【人権擁護に関する世論調査(国・H24)】



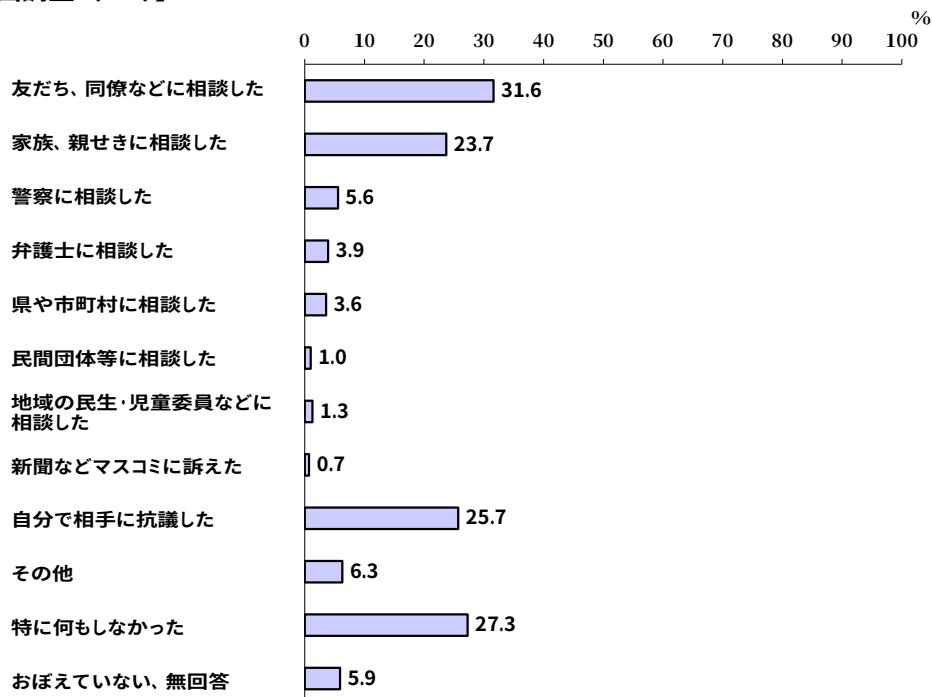
★「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用等を侵害された」の割合が 24.9%、「プライバシーを侵害された」の割合が 20.1%となっています。

国の世論調査(H24)と比較すると、「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた」が 20.8 ポイント高くなっており、「あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用等を侵害された」が 22.5 ポイント、「学校でいじめを受けた」が 13.6 ポイント、それぞれ低くなっています。

問4 - (2) 「ある」と回答された方にお聞きます。人権侵害を受けたとき、どうされましたか。



【前回調査 (H12)】



★「友だち、同僚などに相談した」の割合が35.5%と最も高く、次いで「家族、親せきに相談した」の割合が30.2%、「特に何もなかった」の割合が27.2%となっています。

前回調査 (H12) と比較すると、「家族、親せきに相談した」が6.5ポイント増加し、「自分で相手に抗議した」が、5.6ポイント減少しています。

問 4-㉟

【性別・年齢別】

単位：％

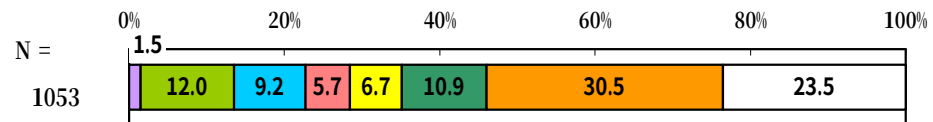
区 分	有効回答数 (件)	友だち、同僚などに 相談した	家族、親せきに相談 した	警察に相談した	弁護士に相談した	県や市町村に相談し た	法務局や人権擁護委 員などに相談した	民間団体等に相談し た	地域の民生・児童委 員などに相談した	訴えた 新聞などマスコミに	自分で相手に抗議し た	その他	特に何もしなかった	おぼえていない	無回答
総 数	169	35.5	30.2	5.3	4.1	4.1	1.2	3.6	1.8	-	20.1	8.3	27.2	1.2	4.1
性 別	男性	58	27.6	17.2	1.7	—	3.4	1.7	5.2	—	13.8	6.9	37.9	—	5.2
	女性	111	39.6	36.9	7.2	6.3	4.5	0.9	2.7	2.7	—	23.4	9.0	21.6	3.6
年 齢 別	20 歳代	16	50.0	56.3	—	6.3	—	—	12.5	—	—	12.5	—	18.8	6.3
	30 歳代	30	40.0	40.0	3.3	3.3	3.3	—	—	—	16.7	6.7	40.0	—	—
	40 歳代	39	38.5	28.2	5.1	—	2.6	—	—	—	15.4	5.1	25.6	2.6	2.6
	50 歳代	28	35.7	25.0	3.6	10.7	7.1	—	3.6	—	28.6	25.0	14.3	—	—
	60 歳代	35	34.3	20.0	5.7	—	5.7	—	2.9	5.7	—	25.7	2.9	34.3	2.9
	70 歳以上	21	14.3	23.8	14.3	9.5	4.8	4.8	9.5	4.8	—	19.0	9.5	23.8	19.0

★性別でみると、女性に比べ、男性で「特に何もしなかった」の割合が高く、約4割となっています。一方、女性で「友だち、同僚などに相談した」「家族、親せきに相談した」「警察に相談した」「弁護士に相談した」「自分で相手に抗議した」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「友だち、同僚などに相談した」「家族、親せきに相談した」の割合が高くなる傾向がみられ、20 歳代で5割以上となっています。また、他の年齢に比べ、30 歳代で「特に何もしなかった」の割合が高くなっています。

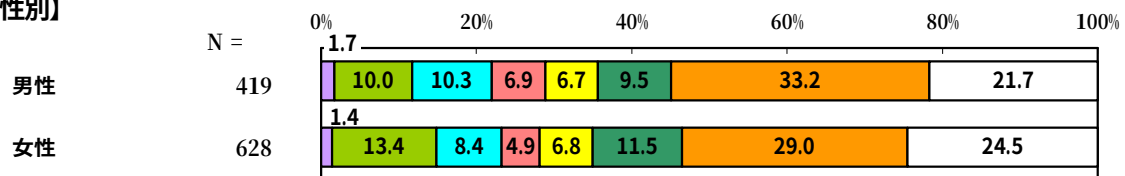
問5 あなたは、これまでの同和問題に関して、つぎのような発言を直接聞いたことがありますか。

- 同和地区の人(子ども)とは、付き合っては(遊んでは)いけない
- 同和地区の人とは、結婚してはいけない
- 同和地区の人は怖い
- 同和地区の人は無理難題を言う
- 同和地区は治安が悪い
- 住宅を購入する際は、同和地区内の物件を避けた方がいい
- 聞いたことはない
- 無回答



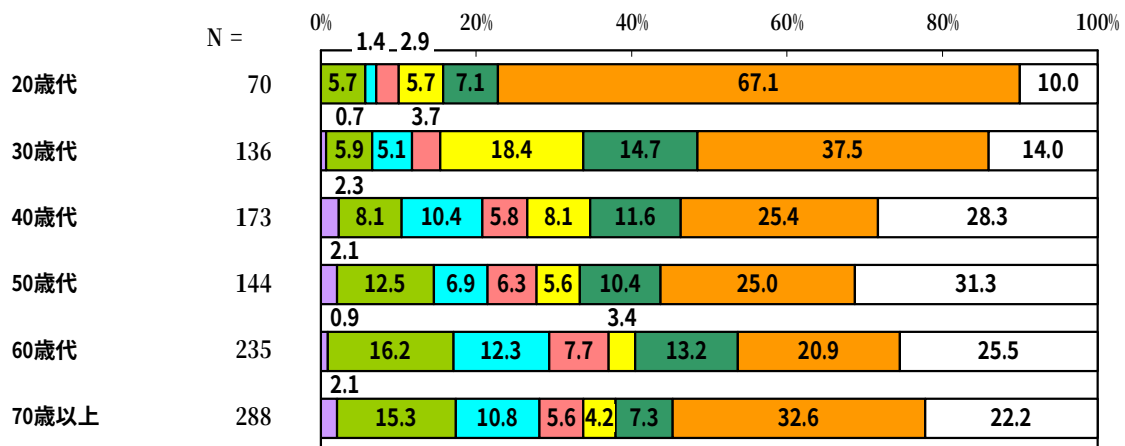
★「聞いたことはない」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「同和地区の人とは、結婚してはいけない」の割合が 12.0%、「住宅を購入する際は、同和地区内の物件を避けた方がいい」の割合が 10.9%となっています。

【性別】



★性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代で「聞いたことはない」の割合が高く、約 7 割となっています。また、30 歳代で「同和地区は治安が悪い」の割合が高く、約 2 割となっています。

問5 - (1) それは誰から聞きましたか。

■ 家族 ■ 親族 ■ 近所の人 ■ 友人 ■ 職場の人
■ 知らない人 ■ その他 □ 無回答



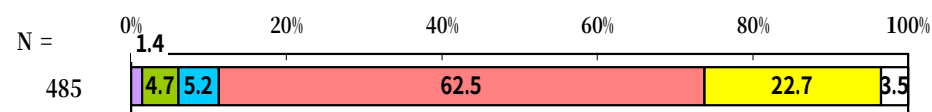
★「家族」の割合が20.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が19.2%、「親族」の割合が15.7%となっています。

【同和問題に関する発言内容別】



問5 - (2)それはいつごろのことですか。

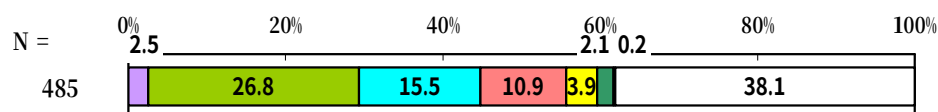
■ ここ1年ほどのこと ■ 5年以内のこと ■ 10年以内のこと
■ 10年以上前のこと ■ よくおぼえていない □ 無回答



★「10年以上前のこと」の割合が62.5%と最も高く、次いで「よくおぼえていない」の割合が22.7%となっています。

【同和問題に関する発言を聞いた年齢】

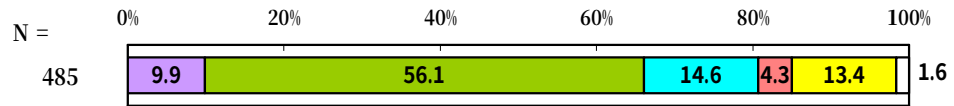
■ 10歳未満 ■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代
■ 50歳代 ■ 60歳以上 □ 無回答



★「10歳代」の割合が26.8%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が15.5%、「30歳代」の割合が10.9%となっています。

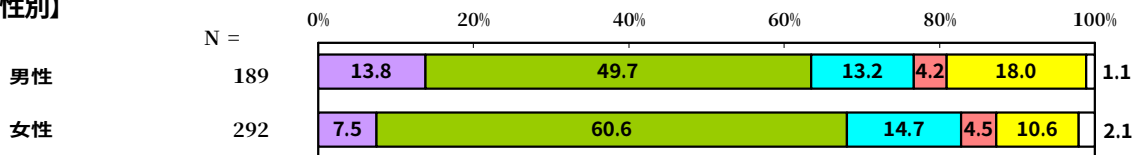
問5 - (3)それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。

- そのとおりと思った
- そういう見方もあるのかと思った
- 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった
- 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
- とくに何も思わなかった
- 無回答



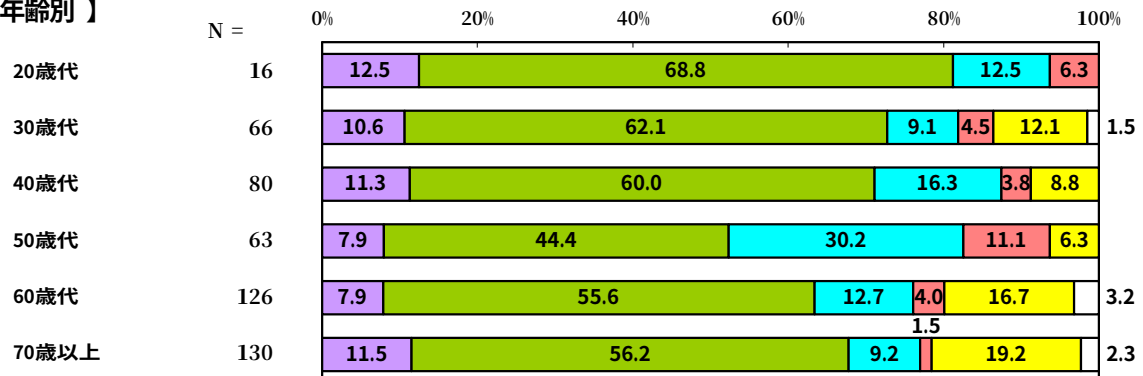
★「そういう見方もあるのかと思った」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」の割合が 14.6%、「とくに何も思わなかった」の割合が 13.4%となっています。

【性別】



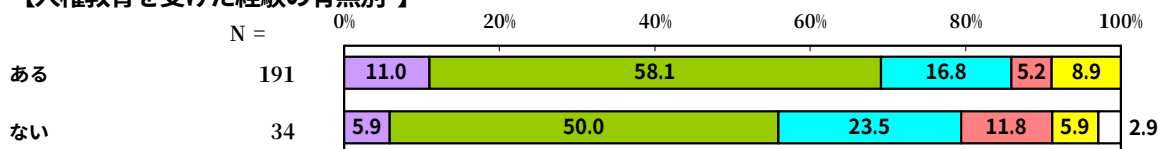
★性別でみると、女性に比べ、男性で「そのとおりと思った」「とくに何も思わなかった」の割合が高くなっています。また、女性で「そういう見方もあるのかと思った」の割合が高くなっています。

【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」の割合が高く、「そういう見方もあるのかと思った」の割合が低くなっています。また、60歳代以上で「とくに何も思わなかった」の割合が高くなっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】



※人権教育を受けた経験については、60歳以上の人を除いて集計しています。

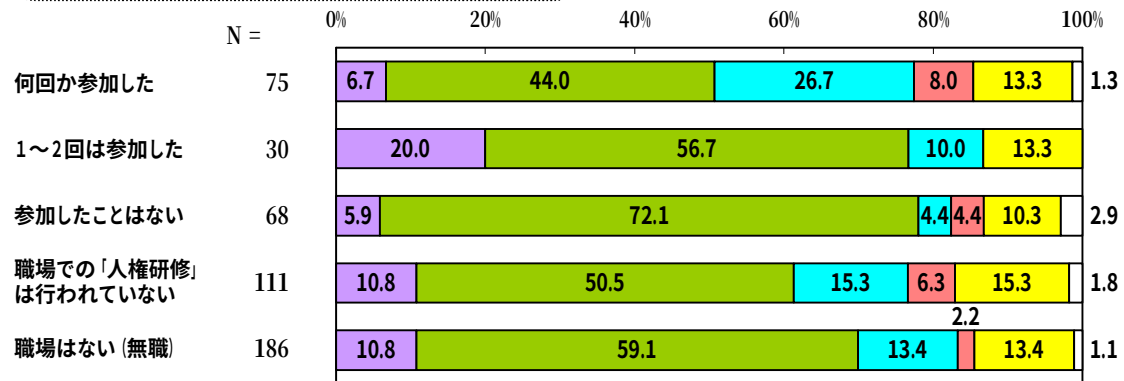
※人権に関する教育（以下、人権教育という）を受けた経験の有無別でのクロス表については、人権教育を受けたことがないと回答した人が60歳以上で非常に多いため（7ページ参照）、総数で人権教育を受けた経験の有無別と比較すると、60歳未満と60歳以上の比較に近くなり、人権教育の経験の有無による回答の違いを考察することが難しくなっています。そのため、以下では、人権教育を受けた経験の有無別のクロス表は、60歳以上は除き、60歳未満に限定することにしました。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、人権教育を受けたことがあると回答した人のほうが「そのとおりと思った」が多く、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」と「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」が少なくなっています。

問 5-ｸｽ

【職場における人権問題の研修への参加度別】

- そのとお里と思った
- ｓういふ見方もあるのかと思った
- 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかつた
- 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
- とくに何も思わなかつた
- 無回答



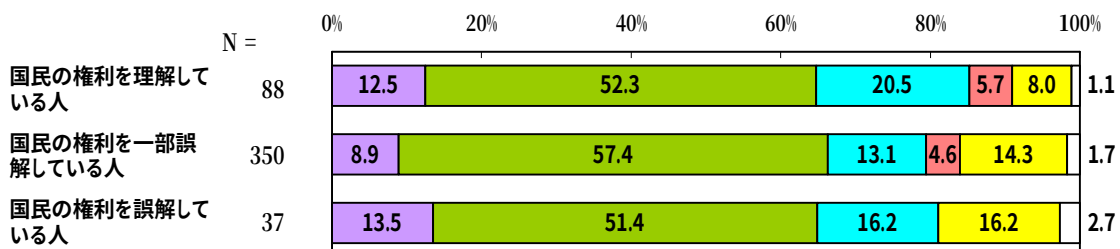
★職場における人権問題の研修への参加度別でみると、他に比べ、「何回か参加した」で「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかつた」の割合が高く、「1～2回は参加した」で「そのとお里と思った」の割合が高くなっています。一方、「参加したことはない」で「ｓういふ見方もあるのかと思った」の割合が高く、約7割となっています。

【同和問題に関する発言を聞いた年齢別】



★同和問題に関する発言を聞いた年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で「ｓういふ見方もあるのかと思った」の割合が高く、6割を超えています。また、20歳未満で「とくに何も思わなかつた」の割合が高くなっています。

【国民の権利の理解度別】

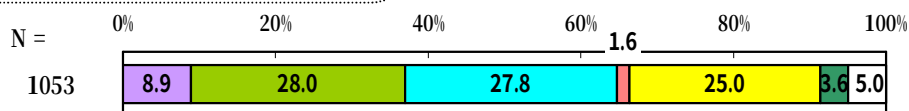


※国民の権利を理解している人…問3で『国民の権利』（「思っていることを世間に発表する」、「人間らしい暮らしをする」、「労働組合をつくる」）のすべてを選択した人 国民の権利を一部誤解している人…問3で『国民の権利』以外も選択した人 国民の権利を誤解している人…問3で『国民の権利』をいずれも選択していない人

★国民の権利の理解度別でみると、他に比べ、「国民の権利を理解している人」で、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかつた」の割合が高く、「とくに何も思わなかつた」の割合が低くなっています。

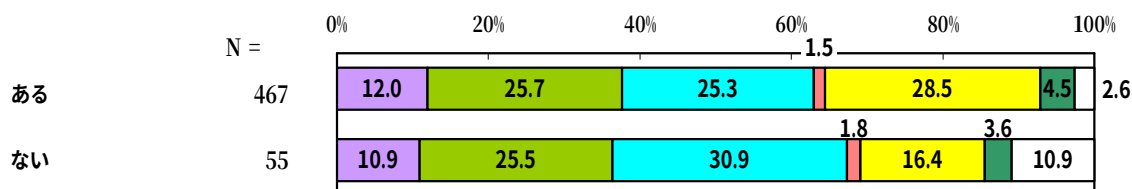
問6 あなたの親類が結婚したいと思っている相手が同和地区の人で、そのことを理由に家族から結婚を反対されていることについて、あなたが相談を受けた場合、あなたならどのような態度をとると思いますか。

- 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う
- 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う
- 慎重に考えたほうがよいと言う
- あきらめるように言う
- どう言えばよいかわからない
- その他
- 無回答



★「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が 28.0%と最も高くなっているものの、「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が 27.8%、「どう言えばよいかわからない」の割合が 25.0%と、結婚の相談に対して消極的な発言や態度も多く見られ、最も積極的な対応といえる「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」は、8.9%しかありません。

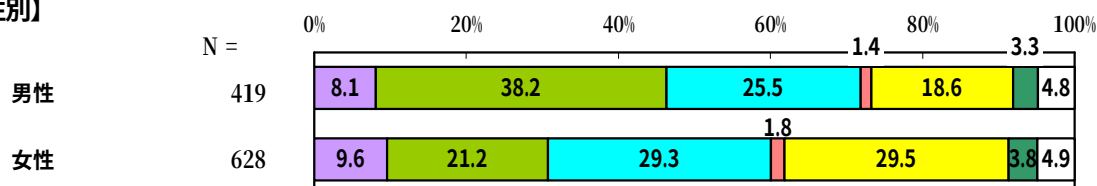
【人権教育を受けた経験の有無別】



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

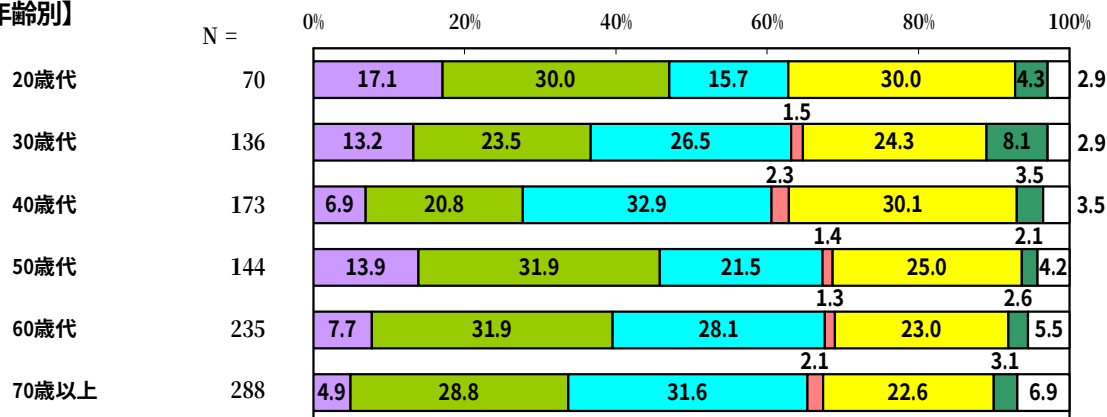
★人権教育を受けた経験の有無別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



★性別でみると、女性に比べ、男性で「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が高く、約4割となっています。また、女性で「どう言えばよいかわからない」の割合が高く、約3割となっています。

【年齢別】

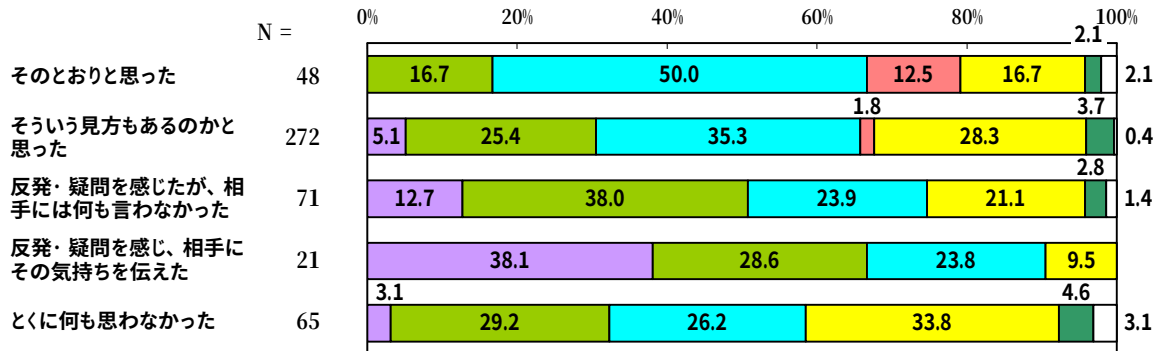


★他の年齢に比べ、40 歳代、60 歳代以上で「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」の割合が低く、30 歳代、40 歳代で「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が低く、20 歳代で「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が低くなっています。また、いずれの年齢層でも、「どう言えばよいかわからない」という回答が 20%を超えています。

問 6-加ス

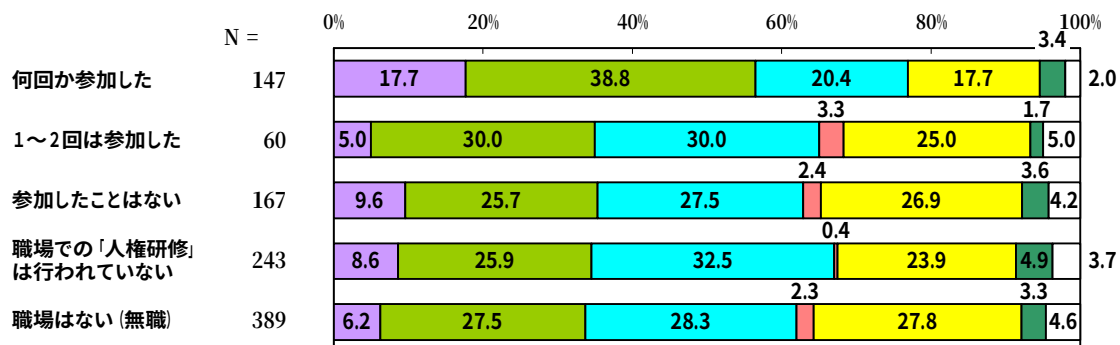
【同和問題に関する発言を聞いたときの感じ方別】

- 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う
- 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う
- 慎重に考えたほうがよいと言う
- あきらめるように言う
- どう言えばよいのか分からない
- その他
- 無回答



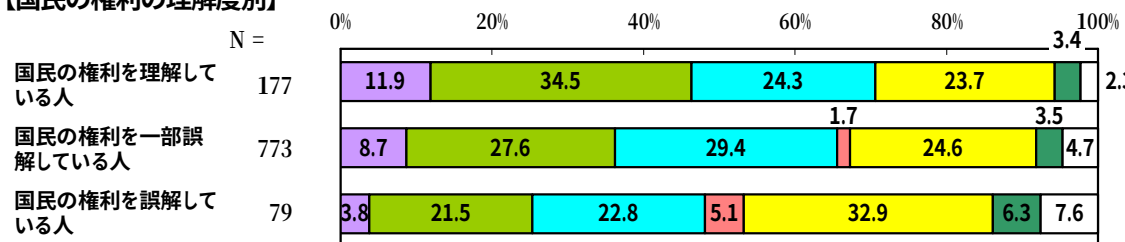
★同和問題に関する発言を聞いたときの感じ方別でみると、他に比べ、「そのとおりに思った」で「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が高く、5割となっています。一方、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」で「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が高く、「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」で「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」の割合が高くなっています。このように、差別的な内容の発言に対して、反発・疑問を感じた人は結婚の相談に対して積極的な対応をとるという傾向が顕著にみられます。

【職場における人権問題の研修への参加度別】



★職場における人権問題の研修への参加度別でみると、他に比べ、「何回か参加した」で「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が高くなっています。

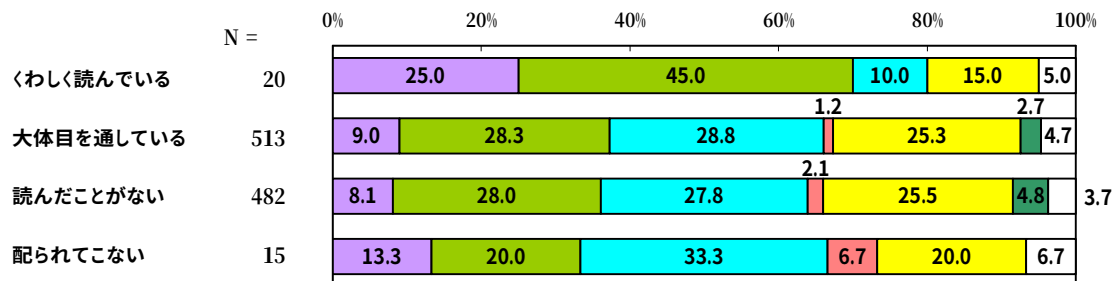
【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が高く、「どう言えばよいのか分からない」の割合が低くなっています。また、他に比べ、国民の権利を一部誤解している人で「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が高くなっています。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】

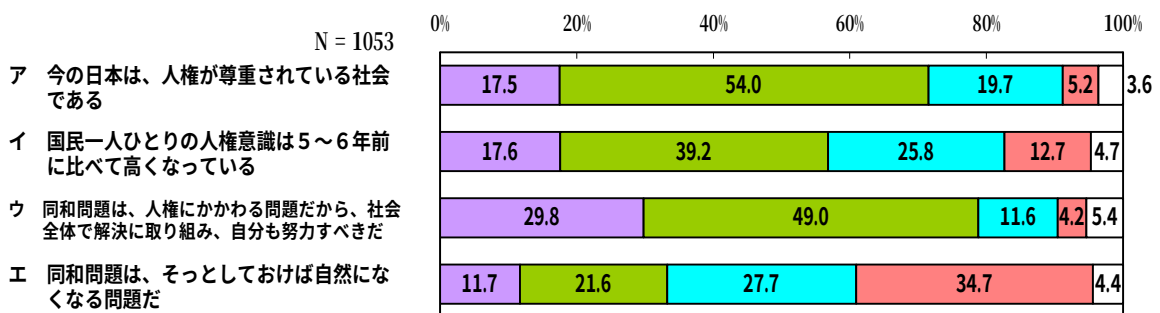
- 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う
- 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う
- 慎重に考えたほうがよいと言う
- あきらめるように言う
- どう言えばよいかわからない
- その他
- 無回答



★「広報かわにし」のコラムの精読度別でみると、他に比べ、「くわしく読んでいる」で「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」の割合が高く、「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が低くなっています。

問 7 日本の社会での人権や同和問題について、次のような意見について、あなたはどう思いますか。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答



★「ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である」、「ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で解決に取り組み、自分も努力すべきだ」については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う人”の割合が高く、7割を超えています。「エ 同和問題は、そっとしておけば自然になる問題だ」については、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない人”の割合が6割を超えているものの、“そう思う人”の割合も3割と、一定程度みられます。

問 7-加

ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い う	え ば ど ち ら か と い う な い	そう 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	17.5	54.0	19.7	5.2	3.6
性 別	男性	419	23.4	55.6	14.6	5.0	1.4
	女性	628	13.5	53.3	23.1	5.3	4.8
年 齢 別	20 歳代	70	18.6	48.6	25.7	7.1	—
	30 歳代	136	8.1	59.6	24.3	6.6	1.5
	40 歳代	173	9.8	55.5	28.3	4.6	1.7
	50 歳代	144	13.9	57.6	20.8	7.6	—
	60 歳代	235	17.0	57.4	18.7	4.7	2.1
	70 歳以上	288	28.8	47.9	11.1	3.5	8.7

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、約8割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代以上で“そう思う人”の割合が高く、7割を超えています。

イ 国民一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い う	え ば ど ち ら か と い う な い	そう 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	17.6	39.2	25.8	12.7	4.7
性 別	男性	419	18.9	40.1	24.3	13.8	2.9
	女性	628	16.9	38.9	26.8	11.9	5.6
年 齢 別	20 歳代	70	7.1	35.7	40.0	17.1	—
	30 歳代	136	5.1	29.4	46.3	17.6	1.5
	40 歳代	173	10.4	41.6	30.6	15.6	1.7
	50 歳代	144	16.0	37.5	30.6	15.3	0.7
	60 歳代	235	20.0	44.7	19.6	10.6	5.1
	70 歳以上	288	29.5	39.9	12.8	8.0	9.7

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で6割を超えています。

ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で解決に取り組み、自分も努力すべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	ど ち ら か い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	29.8	49.0	11.6	4.2	5.4
性 別	男性	419	33.2	47.0	10.5	6.2	3.1
	女性	628	27.7	50.3	12.4	2.9	6.7
年 齢 別	20 歳代	70	27.1	54.3	14.3	2.9	1.4
	30 歳代	136	21.3	51.5	18.4	7.4	1.5
	40 歳代	173	21.4	58.4	14.5	4.0	1.7
	50 歳代	144	37.5	42.4	14.6	4.2	1.4
	60 歳代	235	28.1	51.9	10.6	3.8	5.5
	70 歳以上	288	37.5	42.0	5.6	3.5	11.5

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、大きな差異はみられません。

エ 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	ど ち ら か い え ば そ う 思 う	ど ち ら か い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	11.7	21.6	27.7	34.7	4.4
性 別	男性	419	14.1	21.5	28.2	33.4	2.9
	女性	628	10.2	21.7	27.5	35.5	5.1
年 齢 別	20 歳代	70	8.6	11.4	42.9	35.7	1.4
	30 歳代	136	11.8	14.0	26.5	47.1	0.7
	40 歳代	173	7.5	20.8	28.9	40.5	2.3
	50 歳代	144	7.6	19.4	30.6	40.3	2.1
	60 歳代	235	11.5	23.4	28.9	33.6	2.6
	70 歳以上	288	17.0	28.1	21.5	23.3	10.1

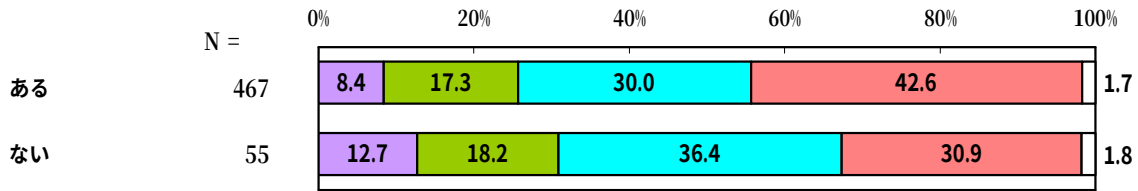
★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が高くなる傾向がみられ、70 歳以上で4割を超えています。また、30 歳代の「そう思う」の割合が70 歳以上に次いで高くなっています。

問 7-クズ

問 8

【人権教育を受けた経験の有無別】

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答

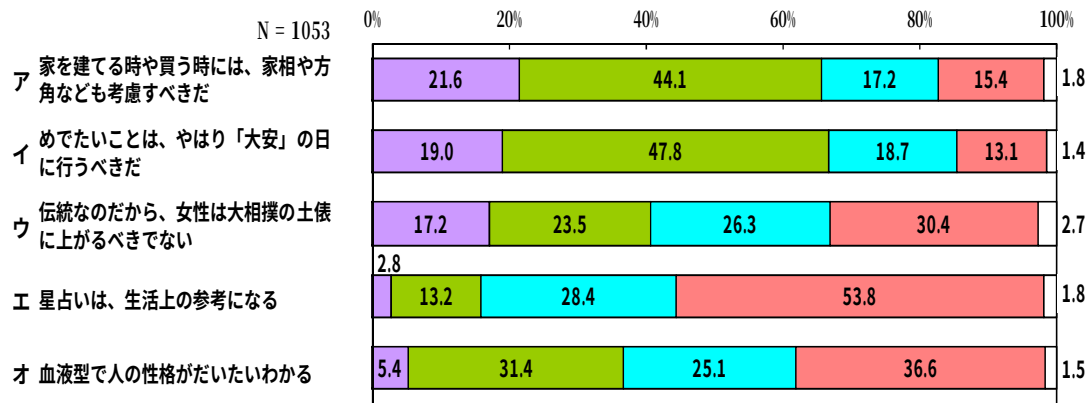


※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、ないに比べ、あるで「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない人”の割合がやや高く、約7割となっています。

問 8 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★「ア 家を作る時や買うときには、家相や方角なども考慮すべきだ」、「イ めでたいことは、やはり「大安」の日に行うべきだ」については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う人”の割合が高く、6割を超えています。

ア 家を建てる時や買うときには、家相や方角なども考慮すべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	21.6	44.1	17.2	15.4	1.8
性 別	男性	419	19.8	41.5	16.9	20.3	1.4
	女性	628	22.8	45.9	17.4	12.1	1.9
年 齢 別	20 歳代	70	27.1	42.9	20.0	10.0	—
	30 歳代	136	17.6	48.5	18.4	15.4	—
	40 歳代	173	23.1	51.4	16.8	8.1	0.6
	50 歳代	144	18.8	49.3	13.9	15.3	2.8
	60 歳代	235	20.4	35.7	23.0	20.0	0.9
	70 歳以上	288	23.3	42.4	13.2	17.4	3.8

★性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う人”の割合が高く、約7割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代で「そう思う」の割合が最も高くなっています。

イ めでたいことは、やはり「大安」の日に行うべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	19.0	47.8	18.7	13.1	1.4
性 別	男性	419	18.9	48.9	17.4	13.8	1.0
	女性	628	19.3	47.0	19.7	12.6	1.4
年 齢 別	20 歳代	70	14.3	41.4	30.0	14.3	—
	30 歳代	136	13.2	48.5	22.8	15.4	—
	40 歳代	173	15.6	52.0	23.1	9.2	—
	50 歳代	144	12.5	48.6	19.4	17.4	2.1
	60 歳代	235	20.9	48.5	16.2	14.0	0.4
	70 歳以上	288	26.7	45.5	13.5	11.1	3.1

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代、30 歳代、50 歳代で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない人”の割合が高く、約4割となっています。

問 8-㍻

ウ 伝統なのだから、女性は大相撲の土俵に上がるべきでない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	17.2	23.5	26.3	30.4	2.7
性 別	男性	419	20.0	22.7	25.5	29.8	1.9
	女性	628	15.3	24.0	26.9	30.9	2.9
年 齢 別	20 歳代	70	11.4	17.1	28.6	42.9	—
	30 歳代	136	15.4	19.9	30.9	33.8	—
	40 歳代	173	13.3	23.1	31.8	31.2	0.6
	50 歳代	144	16.7	17.4	21.5	41.0	3.5
	60 歳代	235	16.2	23.4	26.8	31.9	1.7
	70 歳以上	288	22.9	30.6	22.2	19.1	5.2

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で“そう思う人”の割合が高く、5割を超えています。一方、20 歳代で“そう思わない人”の割合が高く、7割を超えています。

エ 星占いは、生活上の参考になる

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	2.8	13.2	28.4	53.8	1.8
性 別	男性	419	3.1	11.7	26.7	57.0	1.4
	女性	628	2.5	14.3	29.5	51.9	1.8
年 齢 別	20 歳代	70	1.4	20.0	22.9	55.7	—
	30 歳代	136	2.9	16.9	35.3	44.9	—
	40 歳代	173	2.9	17.9	36.4	42.8	—
	50 歳代	144	1.4	13.2	29.9	53.5	2.1
	60 歳代	235	1.3	10.2	25.1	63.0	0.4
	70 歳以上	288	4.9	9.4	23.6	58.0	4.2

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、50 歳未満で“そう思う人”の割合が高く、約2割となっています。

オ 血液型で人の性格がだいたいわかる

【性別・年齢別】

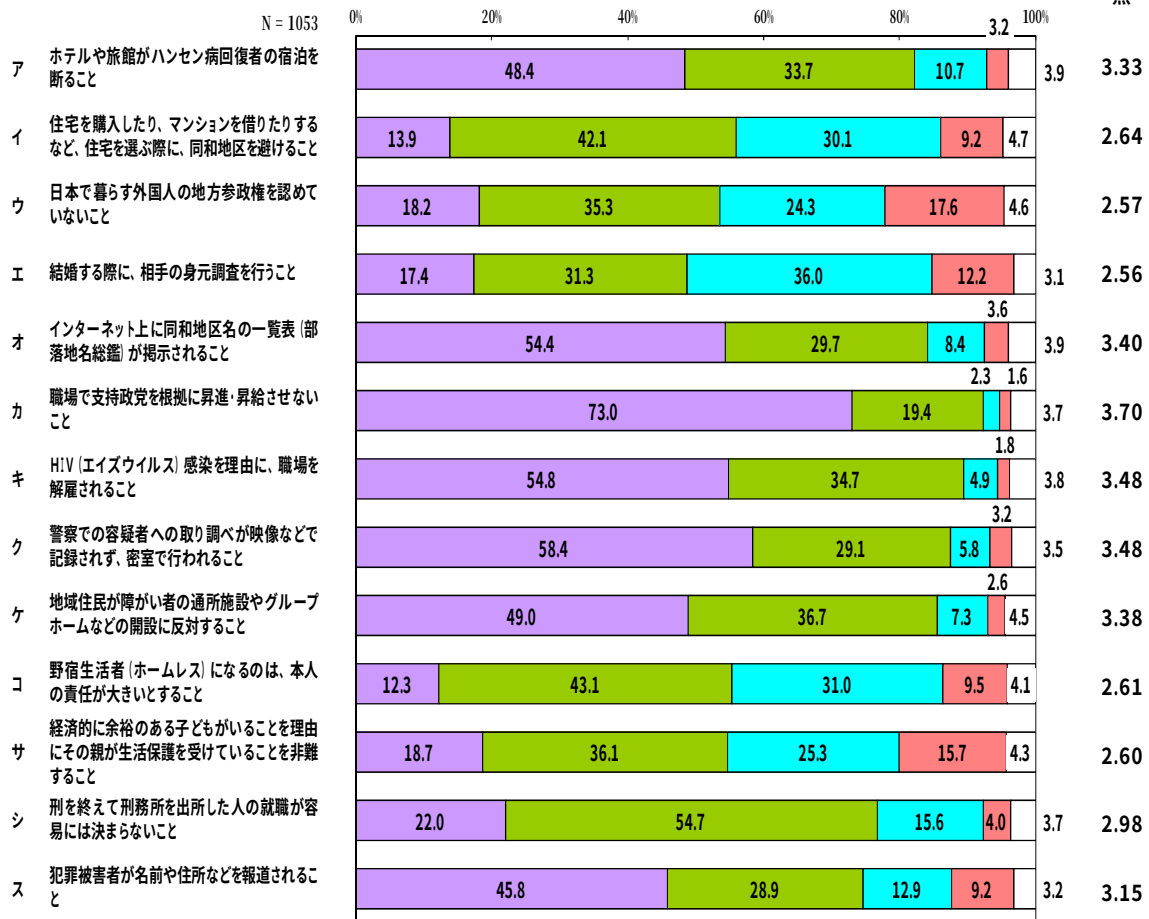
単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	どちらかとい えはそう思う	ど ち ら か い え は そ う 思 わ な い	そう 思 わ な い	無 回 答
総 数		1053	5.4	31.4	25.1	36.6	1.5
性 別	男性	419	5.7	26.5	27.0	39.6	1.2
	女性	628	5.3	34.9	23.9	34.6	1.4
年 齢 別	20 歳代	70	7.1	25.7	30.0	37.1	—
	30 歳代	136	4.4	30.9	33.1	31.6	—
	40 歳代	173	3.5	38.7	28.9	28.3	0.6
	50 歳代	144	4.2	31.3	26.4	34.7	3.5
	60 歳代	235	3.0	31.9	20.9	43.8	0.4
	70 歳以上	288	9.0	28.8	20.8	38.9	2.4

★性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う人”の割合が高く、約4割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で“そう思う人”の割合が高く、4割を超えています。

問9 次のような事柄について、あなたはどの程度問題があると思いますか。

- ☐ 問題あり
☐ どちらかといえば問題なし
☐ 無回答
- ☐ どちらかといえば問題あり
☐ 問題なし



※平均評価点は、以下の手順で得点化し、算出しています。

得点

問題あり	4 点
どちらかといえば問題あり	3 点
どちらかといえば問題なし	2 点
問題なし	1 点

※平均評価点 = (4 点 × 「問題あり」の回答者数 + 3 点 × 「どちらかといえば問題あり」の回答者数 + 2 点 × 「どちらかといえば問題なし」の回答者数 + 1 点 × 「問題なし」の回答者数) ÷ 無回答を除いた設問の回答総数

★「ア ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること」、「オ インターネット上に同和地区名の一覧表（部落地名総鑑）が掲示されること」、「カ 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと」、「キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、職場を解雇されること」、「ク 警察での容疑者への取り調べが映像などで記録されず、密室で行われること」、「ケ 地域住民が障がい者の通所施設やグループホームなどの開設に反対すること」については、「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」をあわせた“問題ありと思う人”の割合が高く、特に「カ 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと」、「キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、職場を解雇されること」では約9割となっています。

ア ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること

【性別・年齢別】

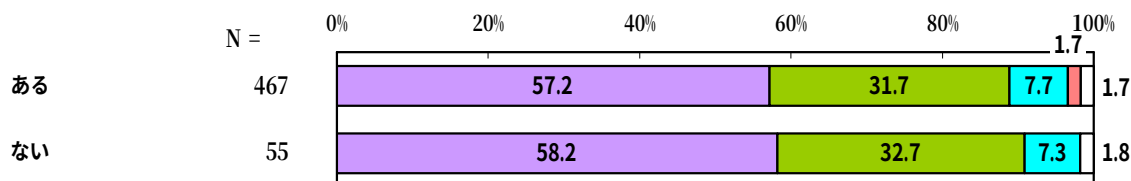
単位：％

区 分		数 有 効 回 答 (件)	問 題 あり	ど ち ら か い え ば か 問 題 あり	ど ち ら か い え ば か 問 題 なし	問 題 なし	無 回 答	平 均 点 (点) 評 価
総 数		1053	48.4	33.7	10.7	3.2	3.9	3.33
性 別	男性	419	48.7	33.2	11.2	3.8	3.1	3.31
	女性	628	48.4	34.2	10.4	2.9	4.1	3.34
年 齢 別	20 歳代	70	52.9	35.7	10.0	1.4	—	3.40
	30 歳代	136	58.1	30.9	7.4	2.9	0.7	3.45
	40 歳代	173	53.2	33.5	10.4	1.2	1.7	3.41
	50 歳代	144	63.9	28.5	3.5	0.7	3.5	3.61
	60 歳代	235	45.5	38.3	9.8	3.4	3.0	3.30
	70 歳以上	288	35.1	34.0	17.0	6.3	7.6	3.06

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、“問題ありと思う人”の割合は、50 歳代が高く、70 歳以上が低くなっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

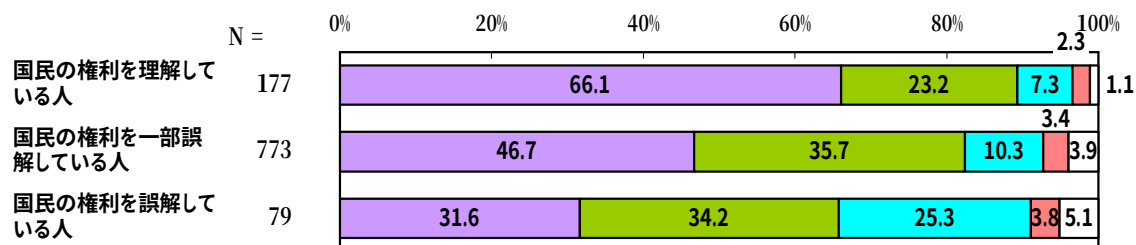
- 問題あり ■ どちらかといえば問題あり
■ どちらかといえば問題なし ■ 問題なし
□ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、経験の有無による差は、ほとんどみられません。

【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

問 9-㏰

イ 住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に同和地区を避けること

【性別・年齢別】

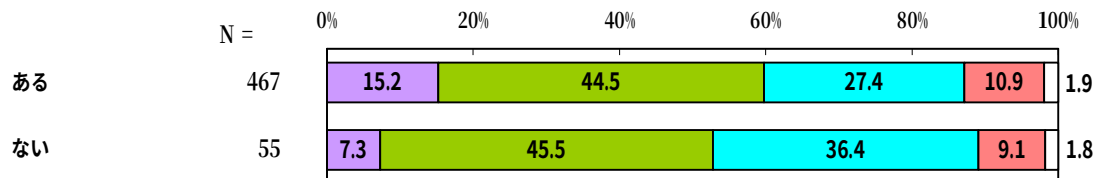
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	13.9	42.1	30.1	9.2	4.7	2.64
性別	男性	419	13.6	38.4	34.6	10.3	3.1	2.57
	女性	628	13.9	44.7	27.2	8.6	5.6	2.68
年齢別	20 歳代	70	14.3	47.1	30.0	7.1	1.4	2.70
	30 歳代	136	14.7	39.0	29.4	16.2	0.7	2.53
	40 歳代	173	9.2	49.7	28.9	11.0	1.2	2.58
	50 歳代	144	20.1	42.4	25.7	7.6	4.2	2.78
	60 歳代	235	13.2	40.9	33.6	6.8	5.5	2.64
	70 歳以上	288	13.2	39.6	30.6	8.3	8.3	2.63

★性別でみると、男性に比べ、女性で“問題ありと思う人”の割合が高く、約 6 割となっています。年齢別でみると、20 歳代、50 歳代で“問題ありと思う人”の割合が高く、6 割を超えています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

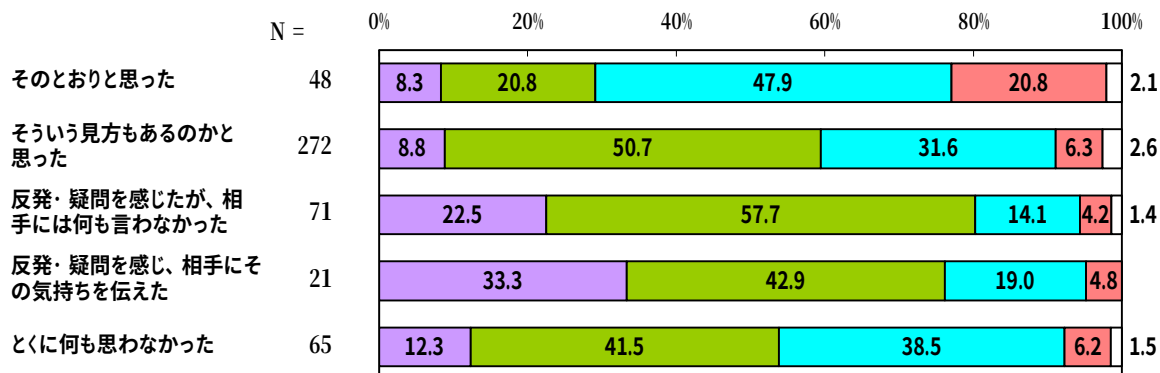
- 問題あり
 ■ どちらかといえば問題あり
 ■ どちらかといえば問題なし
 ■ 問題なし
 □ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

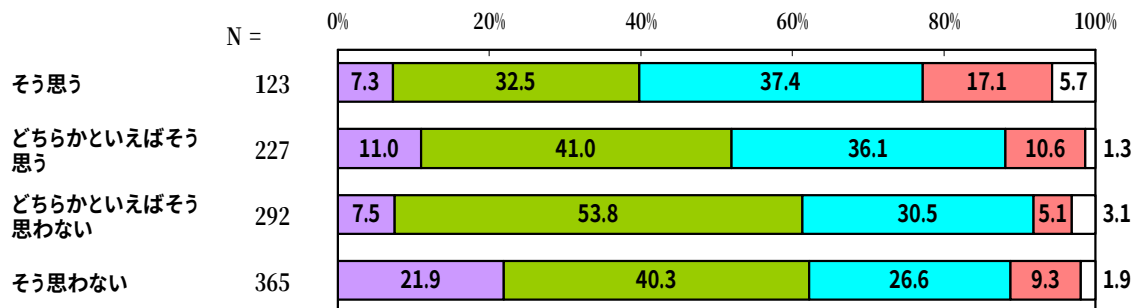
★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ない」に比べ、「ある」で“問題ありと思う人”の割合が高く、約 6 割となっています。とくに、「問題あり」の割合は、「ある」が「ない」の 2 倍もの大きさになっています。

【同和問題に関する発言を聞いたときの感じ方別】



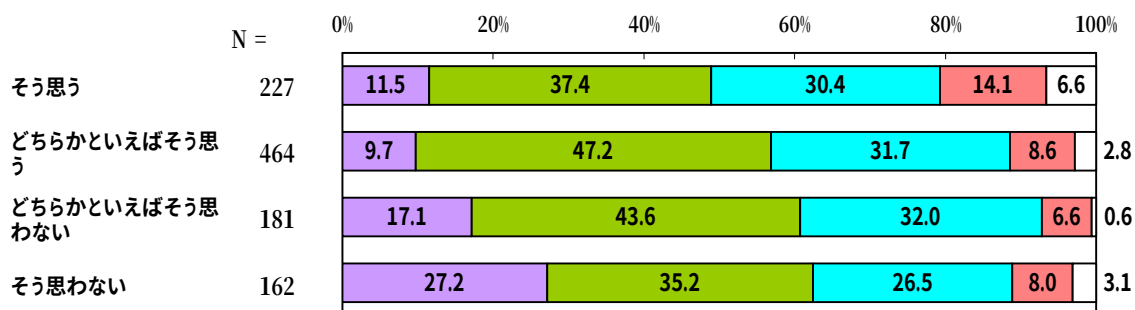
★他に比べ、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」、「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」で“問題ありと思う人”の割合が高く、約8割となっています。また、「そのとおりと思った」で「問題なし」の割合が高くなっています。

【「同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ」という考え方への感じ方別】



★「同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ」と思わない人ほど“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

【「家を建てる時や買う時には、家相や方角なども考慮すべきだ」という考え方への感じ方別】

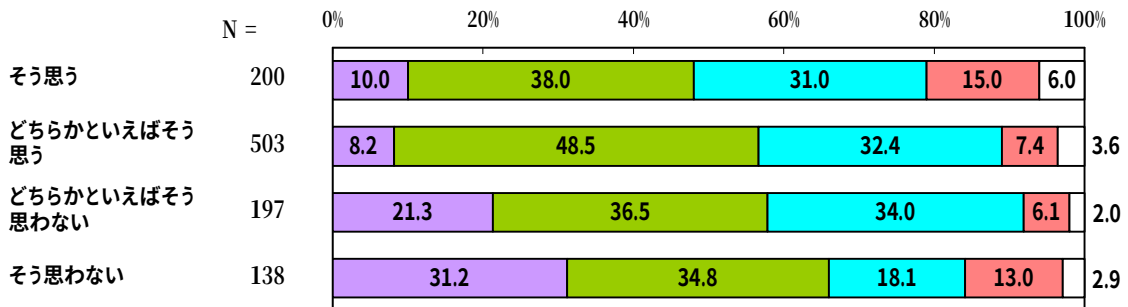


★「家を建てる時や買う時には、家相や方角なども考慮すべきだ」と思わない人ほど“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

問 9-ｸｽ

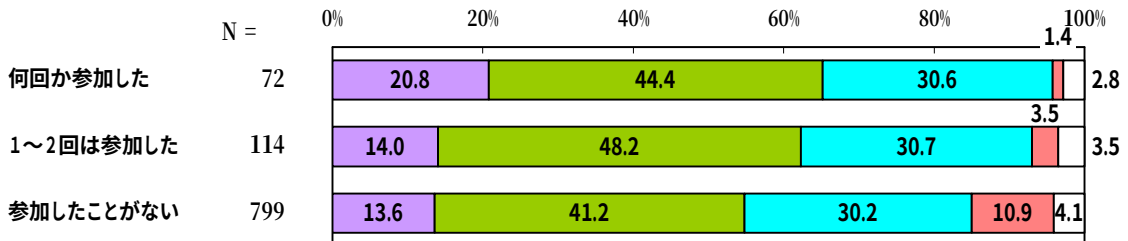
【「めでたいことは、やはり「大安」の日に行くべきだ」という考え方への感じ方別】

■ 問題あり
 ■ どちらかといえば問題あり
 ■ どちらかといえば問題なし
 ■ 問題なし
 □ 無回答



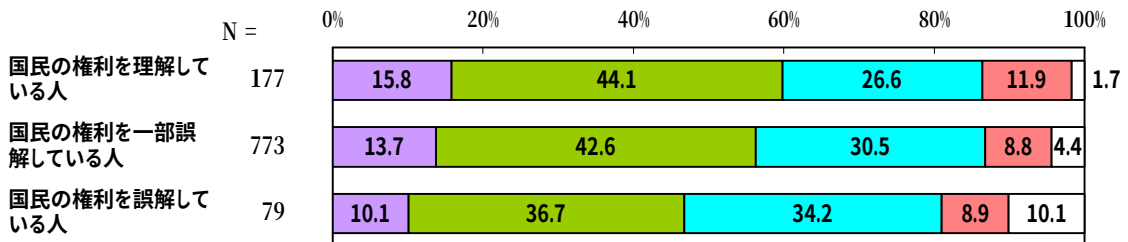
★「家を建てる時や買う時には、家相や方角なども考慮すべきだ」と思わない人ほど“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

【人権問題の研修会参加度別】



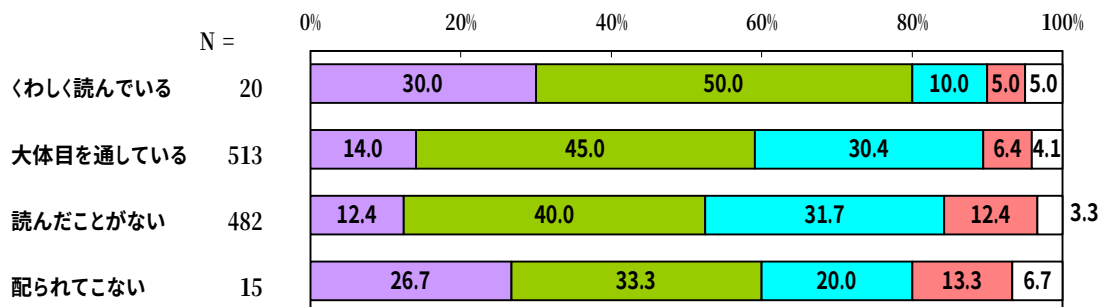
★人権問題の研修会参加度別でみると、参加した回数が多い人ほど“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

【国民の権利の理解度別】



★理解度が高くなるにつれ“問題ありと思う人”の割合が高くなっています。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】



★他に比べ、「くわしく読んでいる」で“問題ありと思う人”の割合が高く、8割となっています。

ウ 日本で暮らす外国人の地方参政権を認めていないこと

【性別・年齢別】

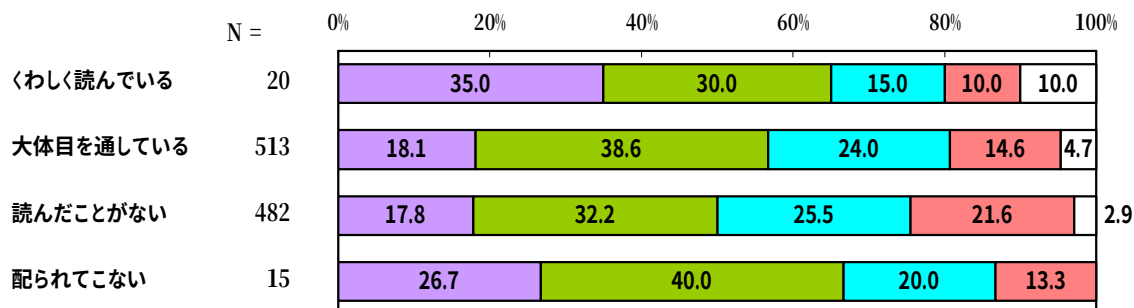
単位：％

区 分		数 有 効 回 答 (件)	問 題 あ り	問 題 あ り と どちら か とい え ば	問 題 な し と どちら か とい え ば	問 題 な し	無 回 答	点 平 均 (点) 評 価
総 数		1053	18.2	35.3	24.3	17.6	4.6	2.57
性 別	男性	419	20.8	31.0	23.4	22.7	2.1	2.51
	女性	628	16.6	38.5	24.8	14.2	5.9	2.61
年 齢 別	20 歳代	70	24.3	40.0	21.4	14.3	—	2.74
	30 歳代	136	20.6	38.2	18.4	21.3	1.5	2.59
	40 歳代	173	13.3	37.0	31.2	16.2	2.3	2.49
	50 歳代	144	25.7	40.3	16.0	14.6	3.5	2.80
	60 歳代	235	16.2	33.2	29.4	16.2	5.1	2.52
	70 歳以上	288	16.7	31.9	23.6	20.1	7.6	2.49

★性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかといえば問題なし」と「問題なし」をあわせた“問題なしと思う人”の割合が高く、約5割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、50歳代で“問題ありと思う人”の割合が高く、6割を超えています。

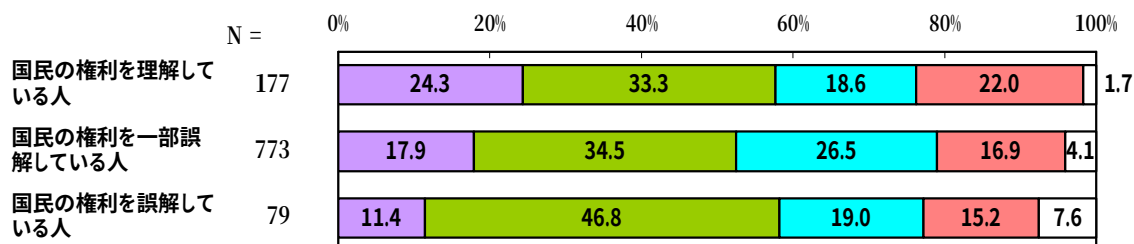
【「広報かわにし」のコラムの精読度別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



★くわしく読んでいる人は、“問題ありと思う人”の割合が高くなっていますが、配られてこない人もそれに次いで高くなっています。

【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、国民の権利を理解している人ほど「問題あり」の割合が高くなっています。

問 9-7

エ 結婚する際に、相手の身元調査を行うこと

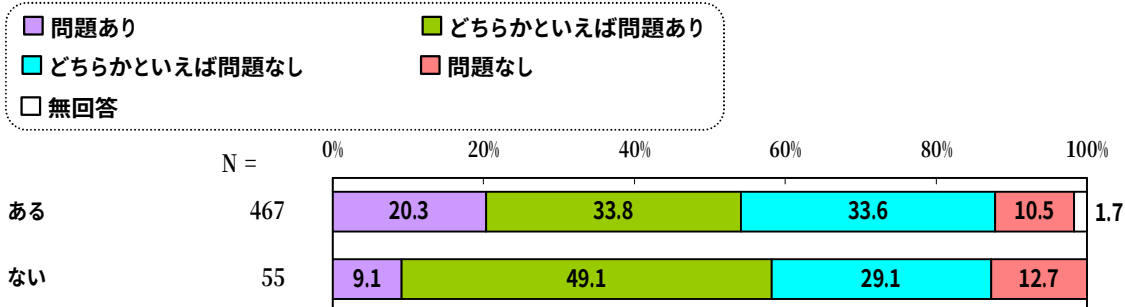
【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効 回答 数 (件)	問題 あり	い ど ち ら か と あ り	い ど ち ら か と な し	問題 なし	無 回 答	平 均 評 価 点 (点)
総 数	1053	17.4	31.3	36.0	12.2	3.1	2.56
性 別							
男性	419	21.0	26.0	37.5	14.3	1.2	2.54
女性	628	15.0	34.9	35.2	10.8	4.1	2.56
年 齢 別							
20 歳代	70	24.3	34.3	30.0	11.4	—	2.71
30 歳代	136	19.1	36.0	31.6	13.2	—	2.61
40 歳代	173	15.0	35.3	39.3	8.7	1.7	2.58
50 歳代	144	21.5	35.4	28.5	11.1	3.5	2.70
60 歳代	235	19.1	30.2	34.5	13.6	2.6	2.56
70 歳以上	288	12.8	25.3	42.7	13.5	5.6	2.40

★性別でみると、女性に比べ、男性で「問題あり」の割合がやや高いものの、“問題なしと思う人”の割合も高く、5割を超えています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で“問題なしと思う人”の割合が高く、約6割となっています。

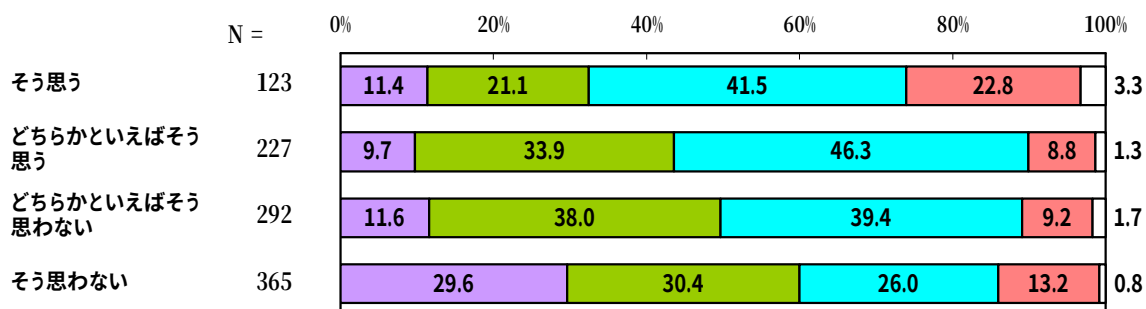
【人権教育を受けた経験の有無別】



※人権教育を受けた経験については、60歳以上の人を除いて集計しています。

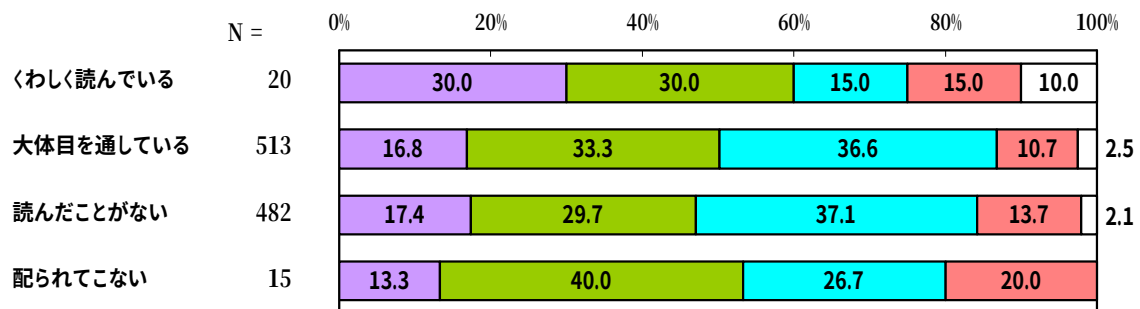
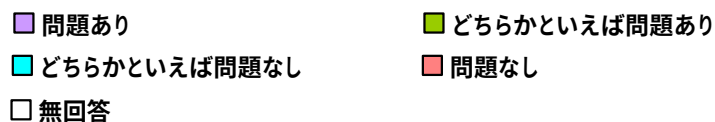
★「ない」に比べ、「ある」で“問題ありと思う人”の割合が高く、5割を超えています。

【「同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ」という考え方への感じ方別】



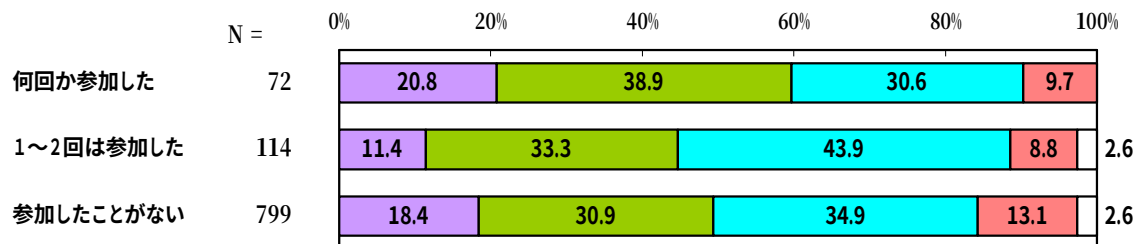
★「そう思わない」については、「問題あり」という回答が非常に多くなっています。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】



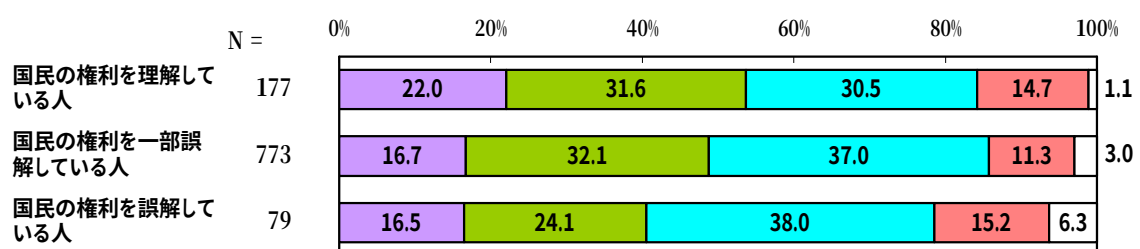
★「広報かわにし」のコラムの精読度別でみると、他に比べ、「読んだことがない」で“問題ありと思わない人”の割合が高く、5割を超えています。

【人権問題の研修会参加度別】



★人権問題の研修会参加度別でみると、他に比べ、「1～2回は参加した」で“問題ありと思う人”の割合が低くなっています。

【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ“問題ありと思う人”の割合が高くなっており、「国民の権利を理解している人」で5割を超えています。

問9-加ズ

オ インターネット上に同和地区名の一覧表（部落地名総鑑）が掲示されること

【性別・年齢別】

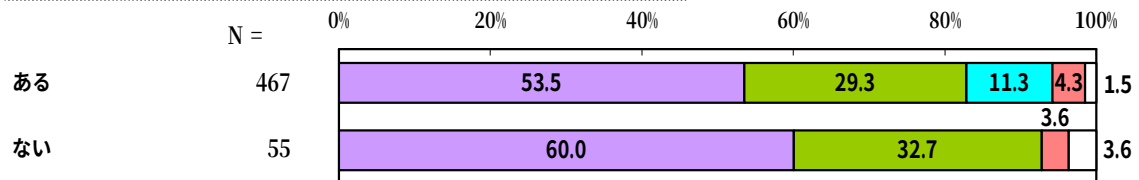
単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	問題 あり	い ど ち ら か い え ば 問 題 と な し	ど ち ら か い え ば 問 題 と な し	問題 なし	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数		1053	54.4	29.7	8.4	3.6	3.9	3.40
性 別	男性	419	53.9	29.6	9.5	4.3	2.6	3.37
	女性	628	55.1	29.8	7.5	3.2	4.5	3.43
年 齢 別	20 歳代	70	55.7	30.0	10.0	4.3	—	3.37
	30 歳代	136	50.7	31.6	13.2	3.7	0.7	3.30
	40 歳代	173	46.8	34.7	12.1	4.6	1.7	3.26
	50 歳代	144	66.0	21.5	4.9	4.2	3.5	3.55
	60 歳代	235	56.2	30.6	7.2	2.1	3.8	3.46
	70 歳以上	288	54.2	29.5	5.6	3.8	6.9	3.44

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、50 歳未満の各年齢層で“問題なしと思う人”の割合が高くなっています。「問題あり」が最も高いのは50 歳代で、66％でした。

【人権教育を受けた経験の有無別】

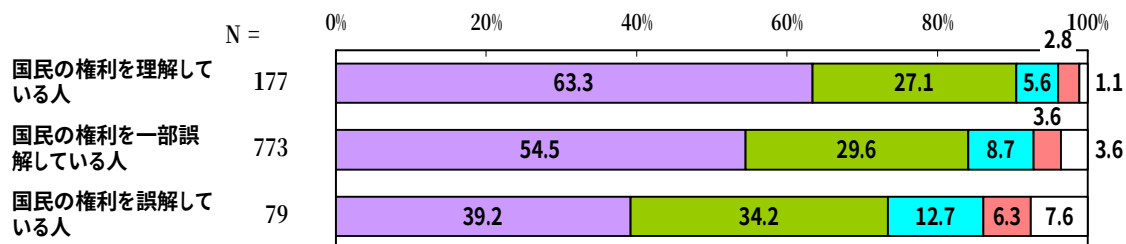
- 問題あり ■ どちらかといえば問題あり
■ どちらかといえば問題なし ■ 問題なし
■ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ある」に比べ、「ない」で“問題ありと思う人”の割合が高く、約9割となっています。

【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ“問題ありと思う人”の割合が高くなっており、「国民の権利を理解している人」で約9割となっています。

力 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと

【性別・年齢別】

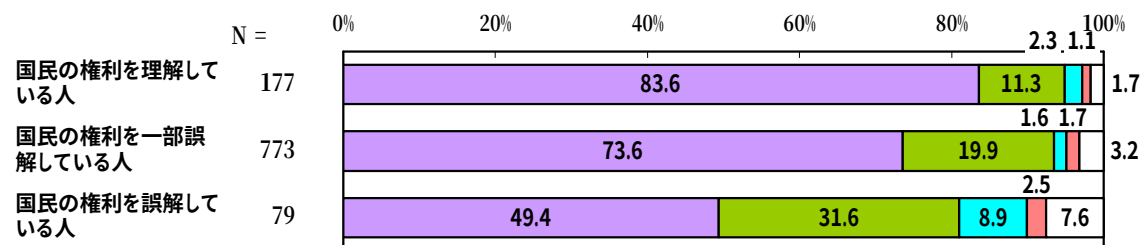
単位：％

区 分	有効回答数 (件)	問題あり	いどちら えば問題と あり	いどちら えば問題と なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数	1053	73.0	19.4	2.3	1.6	3.7	3.70
性 別							
男性	419	73.3	20.0	3.6	1.4	1.7	3.68
女性	628	72.9	19.1	1.4	1.8	4.8	3.71
年 齢 別							
20 歳代	70	70.0	27.1	2.9	—	—	3.67
30 歳代	136	77.2	19.1	2.2	—	1.5	3.76
40 歳代	173	74.0	20.2	2.9	1.2	1.7	3.70
50 歳代	144	83.3	11.8	0.7	1.4	2.8	3.82
60 歳代	235	74.5	20.0	0.9	0.4	4.3	3.76
70 歳以上	288	65.3	20.8	3.5	4.2	6.3	3.57

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で「問題あり」の割合が低く、50 歳代でそれが高くなっています。

【国民の権利の理解度別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、他に比べ、「国民の権利を誤解している人」で“問題ありと思う人”の割合が低くなっています。

問 9-㏲

キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、職場を解雇されること

【性別・年齢別】

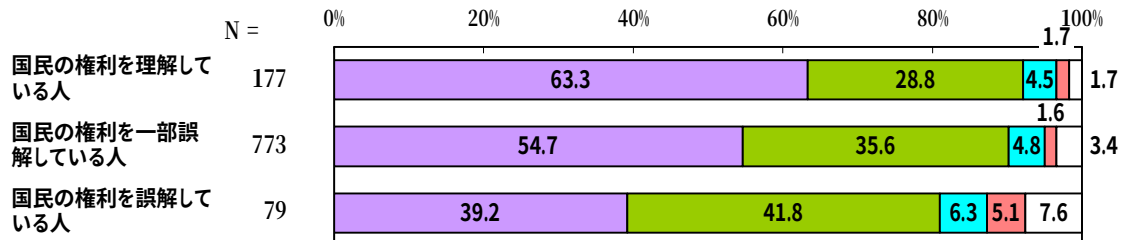
単位：％

区 分		(件) 有効 回答数	問題 あり	あり いど えち ばら か 題と	ないど えち ばら か 題と	問題 なし	無 回 答	(点) 平 均 評 価 点
総 数		1053	54.8	34.7	4.9	1.8	3.8	3.48
性 別	男性	419	53.2	35.6	6.4	2.4	2.4	3.43
	女性	628	55.7	34.4	4.0	1.4	4.5	3.51
年 齢 別	20 歳代	70	64.3	32.9	1.4	1.4	—	3.60
	30 歳代	136	65.4	27.9	2.9	1.5	2.2	3.61
	40 歳代	173	56.6	37.0	3.5	1.7	1.2	3.50
	50 歳代	144	61.8	30.6	2.8	2.8	2.1	3.55
	60 歳代	235	53.6	38.3	3.4	0.4	4.3	3.52
	70 歳以上	288	43.8	36.8	10.1	2.8	6.6	3.30

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、年齢が若くなるほど、「問題あり」の割合は、おおむね上昇する傾向がみられます。

【国民の権利の理解度別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、他に比べ、「国民の権利を誤解している人」で、“問題ありと思う人”の割合が低くなっています。

ク 警察での容疑者への取り調べが映像などで記録されず、密室で行われること

【性別・年齢別】

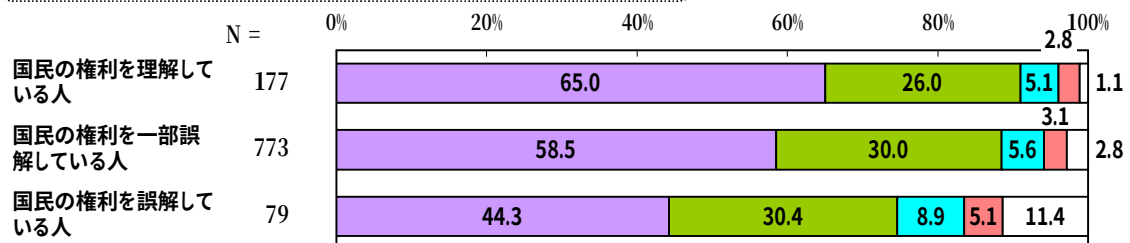
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかとい えは問題あり	どちらかとい えは問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	58.4	29.1	5.8	3.2	3.5	3.48
性 別	男性	419	57.8	29.8	6.4	4.3	1.7	3.43
	女性	628	58.9	28.7	5.4	2.5	4.5	3.51
年 齢 別	20 歳代	70	65.7	27.1	5.7	1.4	—	3.57
	30 歳代	136	61.8	28.7	5.9	2.9	0.7	3.50
	40 歳代	173	60.1	30.6	5.2	2.3	1.7	3.51
	50 歳代	144	63.2	26.4	4.2	2.8	3.5	3.55
	60 歳代	235	58.3	30.2	5.1	3.0	3.4	3.49
	70 歳以上	288	51.7	29.5	7.6	4.9	6.3	3.37

★性別でみると、大きな差異はなく、“問題ありと思う人”の割合は 8 割を超えています。年齢別では、年齢が若くなるほど、「問題あり」の割合が上昇する傾向がみられます。

【国民の権利の理解度別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、国民の権利の理解が高いほど、「問題あり」の割合が高くなっています。

問 9-ケ

ケ 地域住民が障がい者の通所施設やグループホームなどの開設に反対すること

【性別・年齢別】

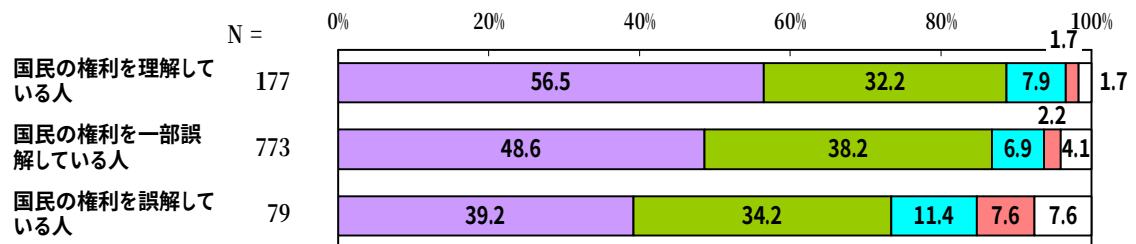
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	49.0	36.7	7.3	2.6	4.5	3.38
性 別	男性	419	49.2	36.3	8.4	3.1	3.1	3.36
	女性	628	49.0	36.9	6.7	2.2	5.1	3.40
年 齢 別	20 歳代	70	45.7	45.7	5.7	2.9	—	3.34
	30 歳代	136	47.8	40.4	8.8	1.5	1.5	3.37
	40 歳代	173	43.4	42.2	10.4	2.3	1.7	3.29
	50 歳代	144	56.3	35.4	3.5	1.4	3.5	3.52
	60 歳代	235	51.5	35.7	6.8	1.3	4.7	3.44
	70 歳以上	288	48.6	31.3	7.3	4.9	8.0	3.34

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で“問題ありと思う人”の割合が低く、8割未満となっています。

【国民の権利の理解度別】

- 問題あり
- どちらかといえば問題あり
- どちらかといえば問題なし
- 問題なし
- 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、国民の権利の理解が高いほど、「問題あり」の割合が高く、「国民の権利を誤解している人」で、“問題なしと思う人”の割合が約 2 割となっています。

コ 野宿生活者（ホームレス）になるのは、本人の責任が大きいとすること

【性別・年齢別】

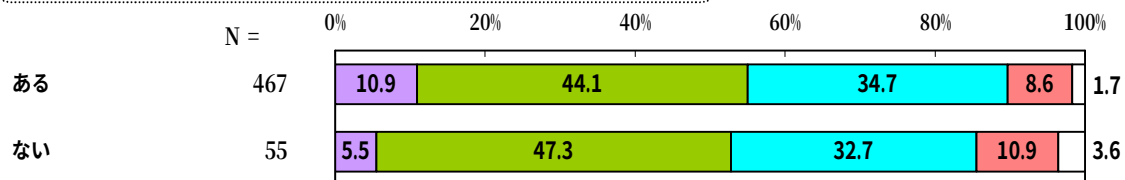
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	12.3	43.1	31.0	9.5	4.1	2.61
性別	男性	419	12.2	41.1	31.7	12.4	2.6	2.54
	女性	628	12.4	44.6	30.6	7.6	4.8	2.65
年齢別	20 歳代	70	14.3	38.6	38.6	7.1	1.4	2.61
	30 歳代	136	5.1	46.3	36.0	12.5	—	2.44
	40 歳代	173	11.0	40.5	38.7	8.1	1.7	2.55
	50 歳代	144	12.5	50.0	25.7	7.6	4.2	2.70
	60 歳代	235	10.6	44.7	29.8	10.6	4.3	2.58
	70 歳以上	288	17.4	40.3	25.7	9.7	6.9	2.70

★性別でみると、女性に比べ、男性で「問題なし」の割合が高くなっています。年齢別でみると、「問題あり」の割合は 30 歳代で 5.1%と、最も低く、70 歳以上で 17.4%と、高くなっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

- 問題あり ■ どちらかといえば問題あり
■ どちらかといえば問題なし ■ 問題なし
■ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、人権教育を受けたことがある人では、「問題あり」という回答が 10.9%と、受けたことがない人の約 2 倍となっています。

問 9-㍑

サ 経済的に余裕のある子どもがいることを理由にその親が生活保護を受けていることを非難すること

【性別・年齢別】

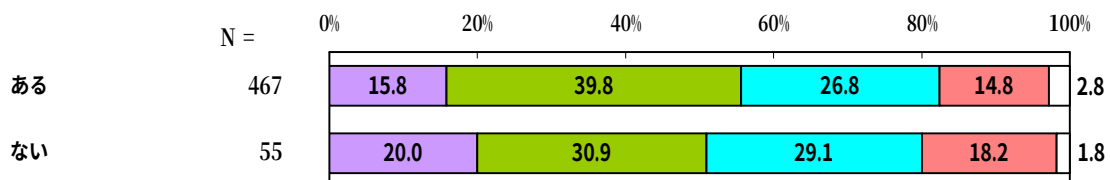
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかとい えは問題あり	どちらかとい えは問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	18.7	36.1	25.3	15.7	4.3	2.60
性 別	男性	419	22.4	33.2	24.8	17.7	1.9	2.62
	女性	628	16.2	38.2	25.6	14.3	5.6	2.60
年 齢 別	20 歳代	70	17.1	47.1	24.3	10.0	1.4	2.72
	30 歳代	136	17.6	31.6	27.9	21.3	1.5	2.46
	40 歳代	173	14.5	37.0	30.1	15.6	2.9	2.52
	50 歳代	144	16.7	43.8	23.6	11.8	4.2	2.68
	60 歳代	235	18.7	40.0	23.0	14.9	3.4	2.65
	70 歳以上	288	23.6	28.5	24.0	17.0	6.9	2.63

★性別でみると、「問題あり」の割合が男性でやや高いものの、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代、50 歳代、60 歳代で“問題ありと思う人”の割合が高く、約6割となっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ある」に比べ、「ない」で“問題なしと思う人”の割合が高い一方で、「問題あり」の割合は、「ない」に比べて「ある」のほうが4ポイントほど低くなっています。

シ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易には決まらないこと

【性別・年齢別】

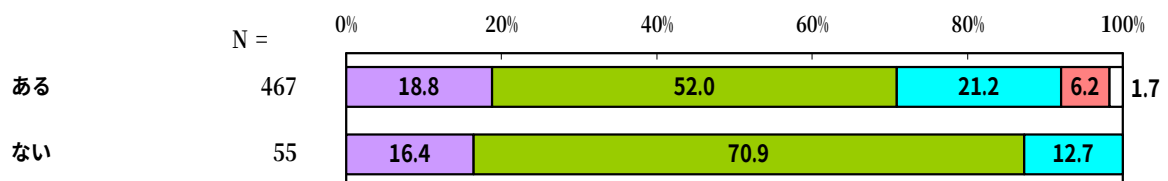
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	22.0	54.7	15.6	4.0	3.7	2.98
性別	男性	419	24.1	53.7	14.8	5.7	1.7	2.98
	女性	628	20.7	55.4	16.2	2.9	4.8	2.99
年齢別	20 歳代	70	14.3	55.7	22.9	7.1	—	2.77
	30 歳代	136	19.1	44.9	26.5	8.8	0.7	2.75
	40 歳代	173	15.0	53.2	24.3	5.8	1.7	2.79
	50 歳代	144	25.0	62.5	8.3	1.4	2.8	3.14
	60 歳代	235	21.7	59.1	12.3	3.0	3.8	3.04
	70 歳以上	288	28.5	52.8	10.1	2.1	6.6	3.15

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、50 歳未満で“問題なしと思う人”の割合が高く、3 割以上となっており、「問題あり」は 50 歳未満の各年齢層でそれぞれ 20％を下回っています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ない」に比べ、「ある」で“問題なしと思う人”の割合が高く、その割合の大きさは、「ない」のその 2 倍以上となっています。

問 9-㌵

ス 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること

【性別・年齢別】

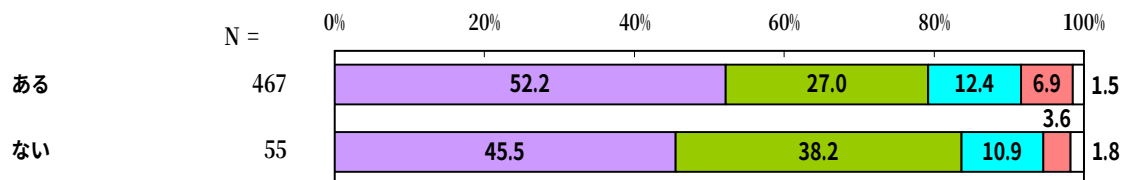
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	問題あり	どちらかとい えは問題あり	どちらかとい えは問題なし	問題なし	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	45.8	28.9	12.9	9.2	3.2	3.15
性 別	男性	419	42.7	30.5	14.3	10.7	1.7	3.07
	女性	628	47.8	27.9	12.1	8.3	4.0	3.20
年 齢 別	20 歳代	70	51.4	27.1	11.4	8.6	1.4	3.23
	30 歳代	136	55.1	24.3	14.7	5.9	—	3.29
	40 歳代	173	48.6	28.3	14.5	6.9	1.7	3.21
	50 歳代	144	52.1	31.9	7.6	5.6	2.8	3.34
	60 歳代	235	46.0	28.9	10.2	11.9	3.0	3.12
	70 歳以上	288	35.4	30.6	16.3	12.2	5.6	2.94

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、50 歳代で“問題ありと思う人”の割合が高く、8割を超えています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

- ☐ 問題あり ☐ どちらかといえば問題あり
☐ どちらかといえば問題なし ☐ 問題なし
☐ 無回答

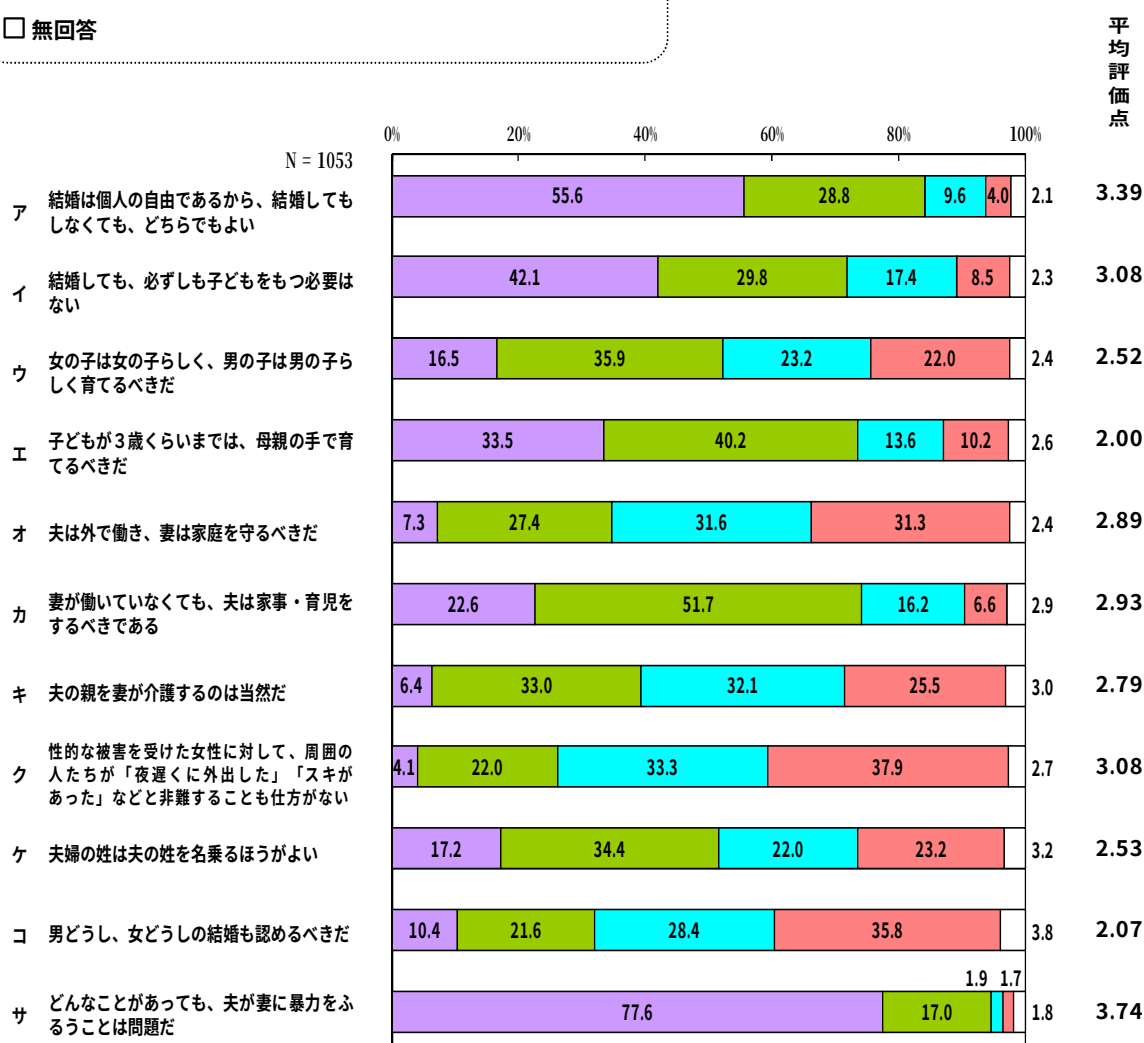


※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ない」に比べ、「ある」で「問題あり」の割合がやや高いものの、“問題なしと思う人”の割合も高く、「ない」のそれを 5 ポイントほども上回っています。

問 10 次のような日常生活に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくても、どちらでもよい」、「イ 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない」、「カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきである」、「サ どんなことがあっても、夫が妻に暴力をふるうことは問題だ」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う人”の割合が高く、とくに「サ どんなことがあっても、夫が妻に暴力をふるうことは問題だ」で9割を超えています。一方、「エ 子どもが3歳くらいまでは、母親の手で育てるべきだ」については、“そう思う人”の割合は7割を超えています。

※平均評価点は、以下の手順で得点化し、算出しています。

得点 (ア、イ、カ、コ、サ)

そう思う	4点
どちらかといえばそう思う	3点
どちらかといえばそう思わない	2点
思わない	1点

得点 (ウ、エ、オ、キ、ク、ケ)

そう思う	1点
どちらかといえばそう思う	2点
どちらかといえばそう思わない	3点
思わない	4点

※平均評価点 = 4点 (1点) × 「そう思う」の回答者数 + 3点 (2点) × 「どちらかといえばそう思う」の回答者数 + 2点 (3点) × 「どちらかといえばそう思わない」の回答者数 + 1点 (4点) × 「思わない」の回答者数 / 無回答を除いた設問の回答総数

問 10-クズ

ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくても、どちらでもよい

【性別・年齢別】

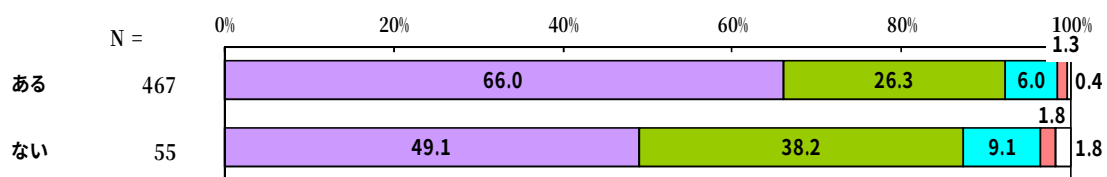
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	55.6	28.8	9.6	4.0	2.1	3.39
性 別	男性	419	49.6	32.0	12.4	5.0	1.0	3.27
	女性	628	59.6	26.9	7.8	3.3	2.4	3.46
年 齢 別	20 歳代	70	77.1	20.0	1.4	1.4	—	3.73
	30 歳代	136	66.2	27.9	5.9	—	—	3.60
	40 歳代	173	60.1	30.6	5.8	2.9	0.6	3.49
	50 歳代	144	61.1	27.1	9.7	0.7	1.4	3.51
	60 歳代	235	48.9	33.2	12.3	4.3	1.3	3.28
	70 歳以上	288	45.1	27.8	13.5	8.7	4.9	3.15

★性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかというと思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない人”の割合が高く、約2割となっています。年齢別でみると、年齢が若くなるほど、「そう思う」の割合が高くなっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない
 ■ 無回答



★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ない」に比べ、「ある」で“問題ありと思う人”の割合が高く、約8割となっています。

イ 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数		1053	42.1	29.8	17.4	8.5	2.3	3.08
性 別	男性	419	34.6	29.6	24.1	10.5	1.2	2.89
	女性	628	47.0	30.3	13.1	7.2	2.5	3.20
年 齢 別	20 歳代	70	62.9	31.4	4.3	1.4	—	3.56
	30 歳代	136	61.8	25.0	11.0	2.2	—	3.46
	40 歳代	173	49.1	32.4	12.1	5.8	0.6	3.26
	50 歳代	144	47.2	32.6	14.6	4.2	1.4	3.25
	60 歳代	235	34.5	33.6	20.9	9.8	1.3	2.94
	70 歳以上	288	27.1	26.0	25.3	16.0	5.6	2.68

★性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う人”の割合が高く、約8割となっています。年齢別でみると、年齢が若くなるにつれ「そう思う」の割合が高くなっており、特に20歳代で“そう思う人”は、9割を超えています。一方、70歳以上で“そう思わない人”の割合が高く、4割を超えています。

ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数		1053	16.5	35.9	23.2	22.0	2.4	2.52
性 別	男性	419	24.8	38.9	20.8	14.1	1.4	2.24
	女性	628	11.1	34.2	24.8	27.2	2.5	2.70
年 齢 別	20 歳代	70	4.3	25.7	28.6	41.4	—	3.07
	30 歳代	136	8.8	38.2	26.5	25.7	0.7	2.70
	40 歳代	173	9.2	35.8	31.2	23.1	0.6	2.69
	50 歳代	144	10.4	36.8	26.4	25.0	1.4	2.67
	60 歳代	235	18.7	37.9	21.3	20.9	1.3	2.45
	70 歳以上	288	29.2	35.8	15.3	14.2	5.6	2.15

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、6割を超えています。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「そう思う」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で“そう思う人”の割合が6割を超えています。

問 10-ⅴ

エ 子どもが3歳くらいまでは、母親の手で育てるべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう思う	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わない	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	33.5	40.2	13.6	10.2	2.6	2.00
性 別	男性	419	36.0	38.9	15.8	8.1	1.2	1.96
	女性	628	32.2	41.2	12.3	11.3	3.0	2.03
年 齢 別	20 歳代	70	17.1	55.7	12.9	14.3	—	2.24
	30 歳代	136	25.7	33.1	21.3	18.4	1.5	2.33
	40 歳代	173	22.0	45.7	20.2	11.6	0.6	2.22
	50 歳代	144	29.9	43.8	16.0	9.0	1.4	2.04
	60 歳代	235	39.1	37.4	14.0	7.7	1.7	1.90
	70 歳以上	288	46.2	36.8	4.9	6.6	5.6	1.70

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で“ そう思う人 ”の割合が高く、8 割を超えています。一方、30 歳代で“ そう思わない人 ”の割合が高く、約4 割となっています。

オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

【性別・年齢別】

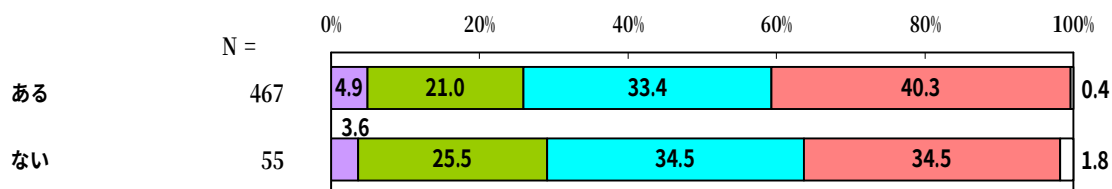
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらか いえばそう 思う	どちらか いえばそう 思わない	い そう 思わな	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	7.3	27.4	31.6	31.3	2.4	2.89
性 別	男性	419	10.0	32.2	30.3	25.8	1.7	2.73
	女性	628	5.6	24.4	32.3	35.2	2.5	3.00
年 齢 別	20 歳代	70	4.3	12.9	38.6	44.3	—	3.23
	30 歳代	136	3.7	25.7	28.7	41.9	—	3.09
	40 歳代	173	2.9	20.8	37.6	37.6	1.2	3.11
	50 歳代	144	8.3	22.2	30.6	38.2	0.7	2.99
	60 歳代	235	8.1	30.6	33.6	26.4	1.3	2.79
	70 歳以上	288	11.5	36.1	26.0	20.5	5.9	2.59

★性別でみると、女性に比べ、男性で“ そう思う人 ”の割合が高く、4 割を超えています。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“ そう思う人 ”の割合が高くなっており、特に 70 歳以上で約5 割となっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、大きな差異はみられません。

力 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきである

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう	どちらか といえば そう	そう 思わな	無回答	平均 評価 点
総 数		1053	22.6	51.7	16.2	6.6	2.9	2.93
性別	男性	419	20.5	54.9	15.5	6.9	2.1	2.91
	女性	628	24.2	49.8	16.7	6.2	3.0	2.95
年齢別	20 歳代	70	24.3	61.4	12.9	1.4	—	3.09
	30 歳代	136	29.4	55.9	8.1	5.9	0.7	3.10
	40 歳代	173	23.7	60.1	10.4	4.0	1.7	3.05
	50 歳代	144	32.6	47.9	13.9	4.9	0.7	3.09
	60 歳代	235	20.9	48.9	22.1	6.4	1.7	2.86
	70 歳以上	288	15.3	46.9	20.8	10.4	6.6	2.72

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が低くなっており、60 歳以上で 7 割未満となっています。

問 10-㍻

キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い	え ば そ う 思 わ ない	ど ち ら か と い	そ う 思 わ ない	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数	1053	6.4	33.0	32.1	25.5	3.0			2.79
性 別	男性	419	8.4	38.2	33.2	18.1	2.1		2.62
	女性	628	5.1	29.6	31.5	30.4	3.3		2.90
年 齢 別	20 歳代	70	2.9	18.6	34.3	44.3	—		3.20
	30 歳代	136	2.9	25.7	36.0	35.3	—		3.04
	40 歳代	173	2.9	28.9	38.7	27.2	2.3		2.92
	50 歳代	144	3.5	29.2	32.6	32.6	2.1		2.96
	60 歳代	235	7.2	36.6	28.5	26.0	1.7		2.74
	70 歳以上	288	11.8	41.7	28.1	11.5	6.9		2.42

★性別でみると、女性に比べ、男性で“ そう思う人 ”の割合が高く、約5割となっています。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“ そう思う人 ”の割合が高くなっており、特に 70 歳以上で5割を超えています。

ク 性的な被害を受けた女性に対して、周囲の人たちが「夜遅くに外出した」「スキがあった」などと非難することも仕方がない

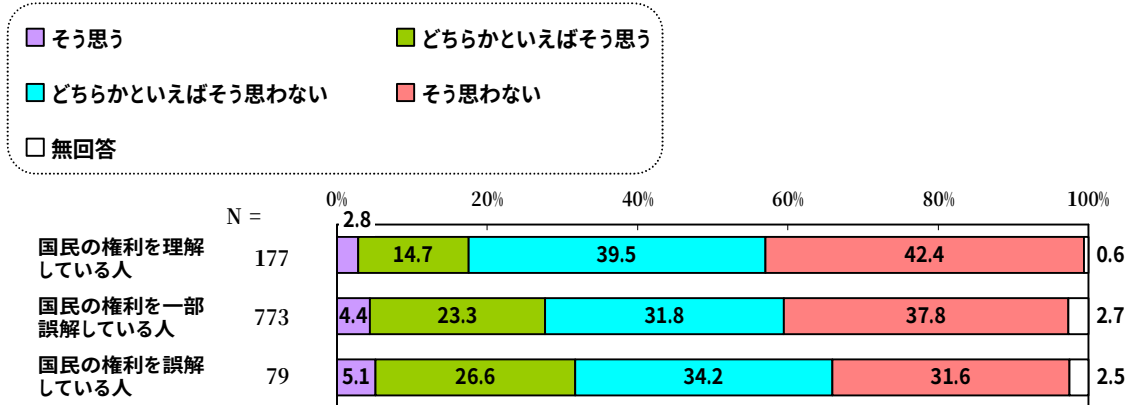
【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い	え ば そ う 思 わ ない	ど ち ら か と い	そ う 思 わ ない	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数	1053	4.1	22.0	33.3	37.9	2.7			3.08
性 別	男性	419	5.5	21.7	33.4	37.9	1.4		3.05
	女性	628	3.0	22.5	33.4	38.1	3.0		3.10
年 齢 別	20 歳代	70	—	12.9	41.4	45.7	—		3.33
	30 歳代	136	2.9	14.7	32.4	49.3	0.7		3.29
	40 歳代	173	—	22.0	31.8	45.1	1.2		3.23
	50 歳代	144	2.8	13.2	33.3	50.0	0.7		3.31
	60 歳代	235	4.7	25.1	37.9	30.6	1.7		2.96
	70 歳以上	288	8.0	29.9	29.5	26.7	5.9		2.80

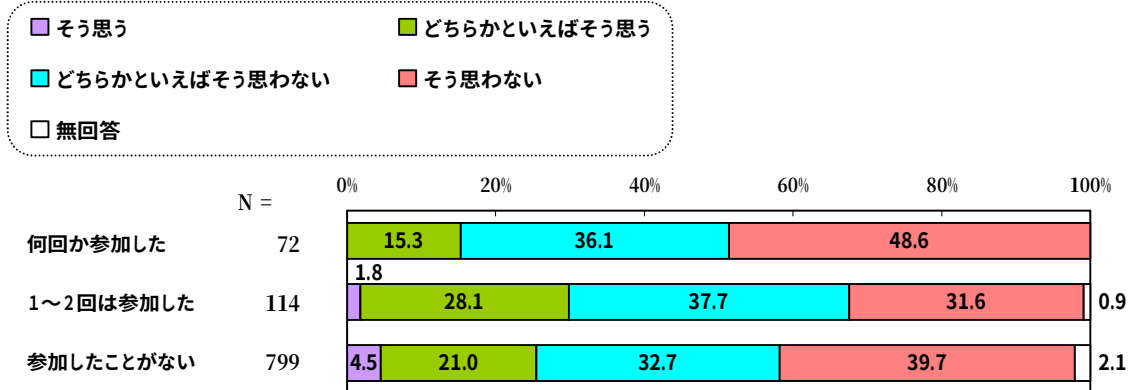
★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で“ そう思う人 ”の割合が高く、約4割となっています。一方、20 歳代、30 歳代、50 歳代では、“ そう思う人 ”の割合は20%を下回っています。

【国民の権利の理解度別】



★他に比べ、「国民の権利を理解している人」で“そう思わない人”の割合が高く、8割を超えています。

【人権問題の研修会参加度別】



★他に比べ、「何回か参加した」で“そう思わない人”の割合が高く、8割を超えています。

ケ 夫婦の姓は夫の姓を名乗るほうがよい

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有 効 回 答 数 (件)	そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平 均 評 価 点 (点)
総 数		1053	17.2	34.4	22.0	23.2	3.2	2.53
性 別	男 性	419	23.4	38.4	19.1	17.2	1.9	2.31
	女 性	628	13.1	32.0	24.2	26.9	3.8	2.68
年 齢 別	20 歳 代	70	2.9	32.9	28.6	35.7	—	2.97
	30 歳 代	136	10.3	36.8	25.0	25.0	2.9	2.67
	40 歳 代	173	9.2	34.1	26.6	28.3	1.7	2.75
	50 歳 代	144	11.8	36.1	20.8	29.9	1.4	2.70
	60 歳 代	235	19.1	35.3	19.6	24.3	1.7	2.50
	70 歳 以 上	288	29.9	33.0	19.1	11.5	6.6	2.13

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、約6割となっています。年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が高くなる傾向がみられ、70 歳以上で6割を超えています。

問 10-㏍

コ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう思う	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わない	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	10.4	21.6	28.4	35.8	3.8	2.07
性 別	男性	419	5.3	14.6	29.6	48.9	1.7	1.76
	女性	628	14.0	26.3	27.7	27.2	4.8	2.28
年 齢 別	20 歳代	70	20.0	34.3	24.3	20.0	1.4	2.55
	30 歳代	136	23.5	30.9	25.7	18.4	1.5	2.60
	40 歳代	173	12.1	35.8	30.6	19.7	1.7	2.41
	50 歳代	144	16.0	25.0	24.3	31.3	3.5	2.27
	60 歳代	235	4.3	13.6	36.6	42.6	3.0	1.79
	70 歳以上	288	3.5	10.1	25.0	54.5	6.9	1.60

★性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う人”の割合が高く、約4割となっています。年齢別でみると、年齢が若くなるにつれ“そう思う人”の割合が高くなる傾向がみられ、20 歳代、30 歳代で5割を超えています。

サ どんなことがあっても、夫が妻に暴力をふるうことは問題だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらか いえ ばそう 思う	どちらか いえ ばそう 思わない	い そ う 思 わ な	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	77.6	17.0	1.9	1.7	1.8	3.74
性 別	男性	419	70.9	22.2	3.1	2.9	1.0	3.63
	女性	628	82.5	13.7	1.1	0.8	1.9	3.81
年 齢 別	20 歳代	70	78.6	21.4	—	—	—	3.79
	30 歳代	136	80.1	16.2	2.2	1.5	—	3.75
	40 歳代	173	78.0	19.1	1.2	1.2	0.6	3.75
	50 歳代	144	80.6	16.7	0.7	1.4	0.7	3.78
	60 歳代	235	76.6	16.6	3.4	2.1	1.3	3.70
	70 歳以上	288	75.7	16.0	2.1	2.1	4.2	3.72

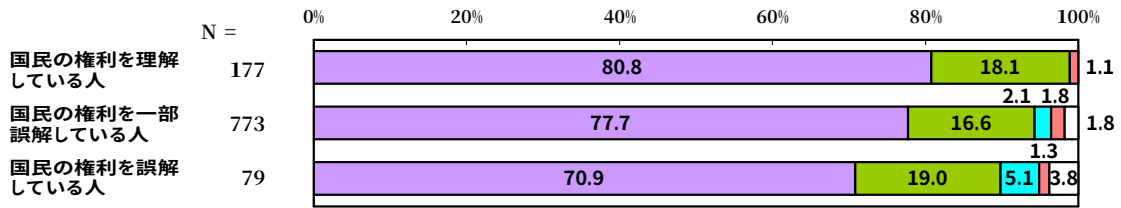
★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でも、大きな差異はみられません。

問 10-ｸｽ

問 11

【国民の権利の理解度別】

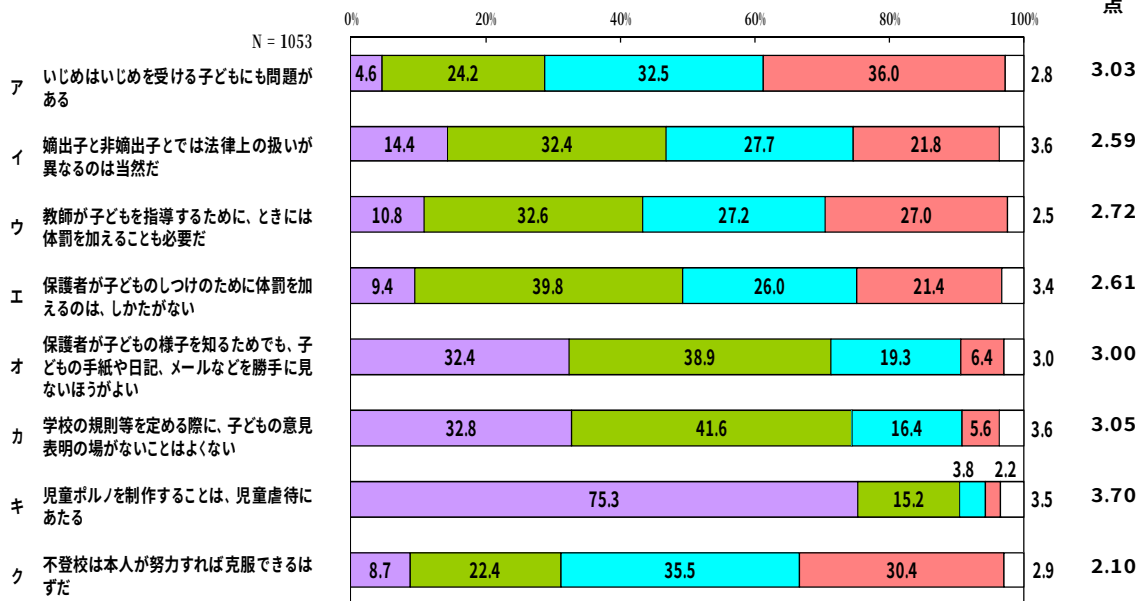
- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が高くなっています。

問 11 次のような子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★「オ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい」、「カ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない」、「キ 児童ポルノを制作することは、児童虐待にあたる」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う人”の割合が高く、特に「キ 児童ポルノを制作することは、児童虐待にあたる」で約9割となっています。

※平均評価点は、以下の手順で得点化し、算出しています。

得点（オ、カ、キ）		得点（ア、イ、ウ、エ、ク）	
そう思う	4点	そう思う	1点
どちらかといえばそう思う	3点	どちらかといえばそう思う	2点
どちらかといえばそう思わない	2点	どちらかといえばそう思わない	3点
思わない	1点	思わない	4点

※平均評価点＝4点（1点）×「そう思う」の回答者数＋3点（2点）×「どちらかといえばそう思う」の回答者数＋2点（3点）×「どちらかといえばそう思わない」の回答者数＋1点（4点）×「思わない」の回答者数／無回答を除いた設問の回答総数

問 11-ｸｽ

ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある

【性別・年齢別】

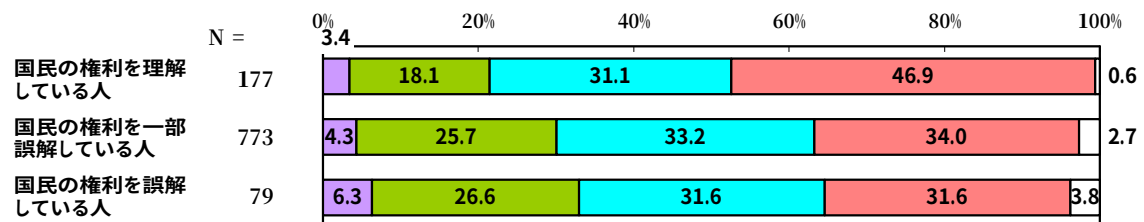
単位：％

区 分		数 有 効 回 答 (件)	そ う 思 う	ど ち ら か い え ば そ う 思 う	ど ち ら か い え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	点 平 (点) 均 評 価
総 数		1053	4.6	24.2	32.5	36.0	2.8	3.03
性 別	男性	419	5.7	22.9	31.3	38.4	1.7	3.04
	女性	628	3.7	25.3	33.4	34.6	3.0	3.02
年 齢 別	20 歳代	70	4.3	24.3	34.3	35.7	1.4	3.03
	30 歳代	136	4.4	22.8	39.7	32.4	0.7	3.01
	40 歳代	173	2.3	28.9	34.7	31.8	2.3	2.98
	50 歳代	144	1.4	27.1	31.9	38.2	1.4	3.08
	60 歳代	235	5.1	20.4	31.1	41.7	1.7	3.11
	70 歳以上	288	6.9	24.0	29.2	34.7	5.2	2.97

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、大きな差異はみられません。

【国民の権利の理解度別】

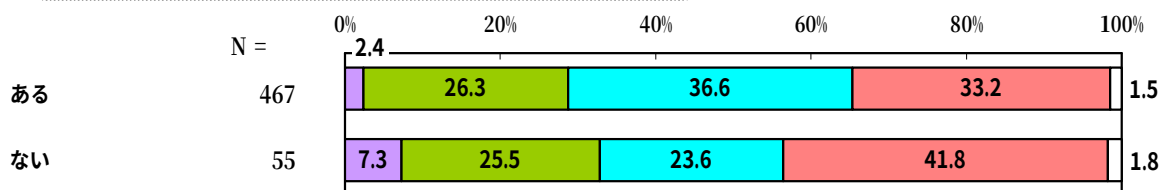
- ☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない
 ☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、理解度が高くなるにつれ“そう思わない人”の割合が高くなっており、国民の権利を理解している人で約8割となっています。

【人権教育を受けた経験の有無別】

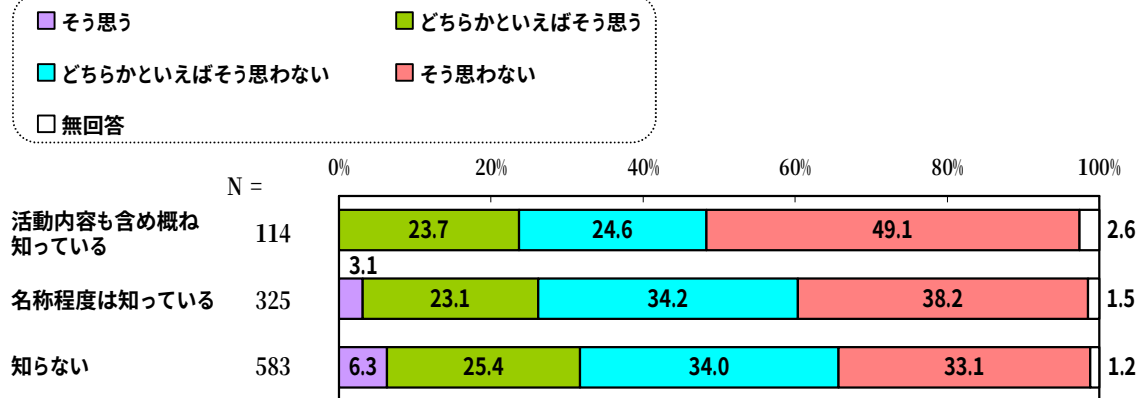
- ☐ そう思う
 ☐ どちらかといえばそう思う
 ☐ どちらかといえばそう思わない
 ☐ そう思わない
 ☐ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

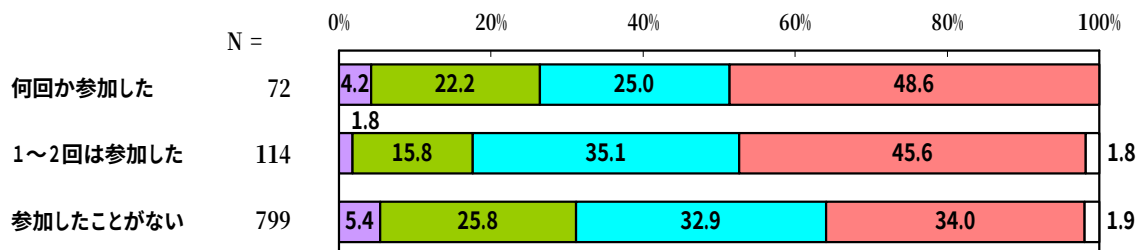
★人権教育を受けた経験の有無別でみると、大きな差異はみられません。

【子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別】



★子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別でみると、他に比べ、「知らない」で“そう思う人”の割合が高く、3割を超えています。

【人権問題の研修会参加度別】



★人権問題の研修会参加度別でみると、他に比べ、「参加したことがない」で“そう思う人”の割合が高く、3割を超えています。しかし、「何回か参加した」と「1～2回は参加した」を比べると、“そう思う人”の割合は、「何回か参加した」のほうが高くなっています。

イ 嫡出子（婚姻関係にある男女の間に生まれた子）と非嫡出子（婚姻関係にない男女の間に生まれた子）とでは法律上の扱いが異なるのは当然だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数	そう思う	い ど ち か い え ば そ う と	い ど ち か い え ば そ う と	い そ う 思 わ な	無回答	平均 （点） 評価点
総 数		1053	14.4	32.4	27.7	21.8	3.6	2.59
性 別	男性	419	13.8	29.6	28.6	25.5	2.4	2.67
	女性	628	15.0	34.4	27.4	19.3	4.0	2.53
年 齢 別	20 歳代	70	12.9	25.7	28.6	32.9	—	2.81
	30 歳代	136	11.8	29.4	36.0	22.1	0.7	2.69
	40 歳代	173	13.3	34.7	30.1	20.8	1.2	2.59
	50 歳代	144	15.3	34.7	25.0	24.3	0.7	2.59
	60 歳代	235	14.0	33.6	27.2	21.3	3.8	2.58
	70 歳以上	288	17.0	32.3	24.0	18.8	8.0	2.48

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思わない人”の割合が高く、5割を超えています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代、30 歳代で“そう思わない人”の割合が高く、約6割となっています。

問 11-㌵

ウ 教師が子どもを指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ

【性別・年齢別】

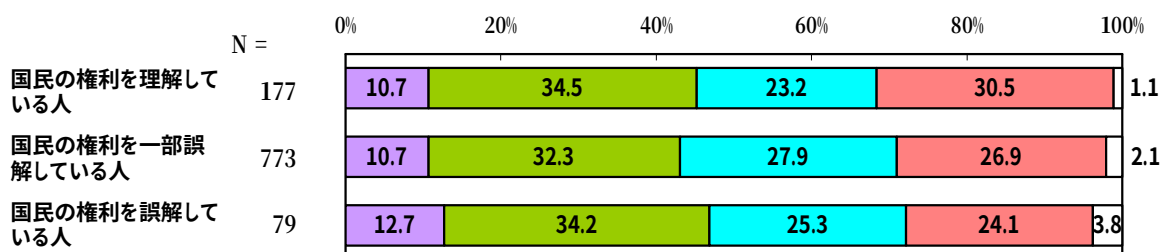
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい ええばそう 思う	どちらかとい ええばそう 思わない	い そう思わな	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	10.8	32.6	27.2	27.0	2.5	2.72
性 別	男性	419	13.4	37.2	23.2	0.6	1.2	2.61
	女性	628	9.2	29.8	29.9	28.2	2.9	2.79
年 齢 別	20 歳代	70	10.0	24.3	35.7	30.0	—	2.86
	30 歳代	136	7.4	33.8	36.8	21.3	0.7	2.73
	40 歳代	173	12.7	37.6	26.6	22.5	0.6	2.59
	50 歳代	144	14.6	28.5	27.1	28.5	1.4	2.70
	60 歳代	235	8.9	35.3	24.3	30.2	1.3	2.77
	70 歳以上	288	11.5	31.6	23.3	27.8	5.9	2.72

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、約5割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、40 歳代で“そう思う人”の割合が高く、約5割となっています。一方、20 歳代で“そう思わない人”の割合が高く、6割を超えています。

【国民の権利の理解度別】

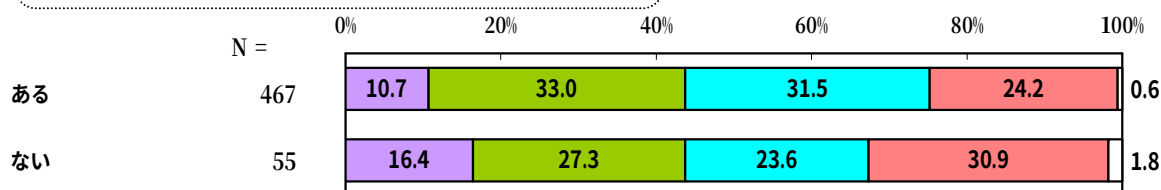
- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、大きな差異はみられません。

【人権教育を受けた経験の有無別】

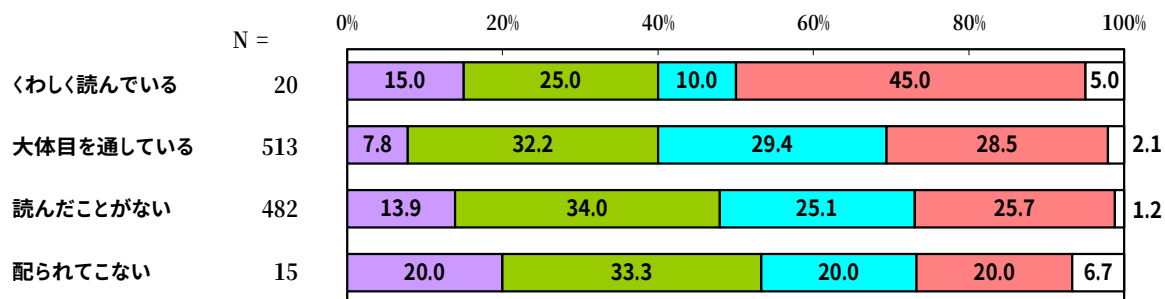
- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



※人権教育を受けた経験については、60 歳以上の人を除いて集計しています。

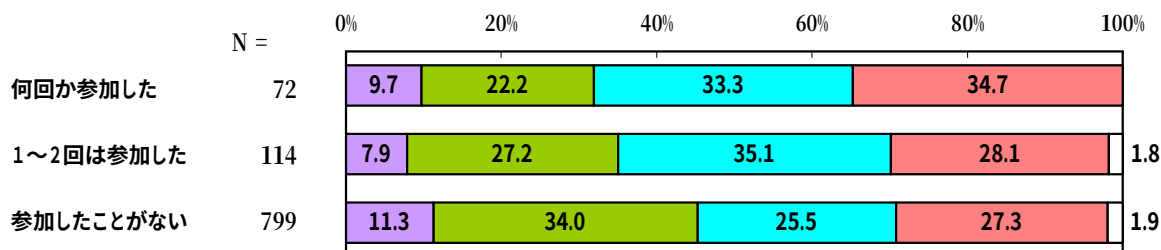
★人権教育を受けた経験の有無別でみると、大きな差異はみられませんが、人権教育を受けたことがない人のほうが、「そう思う」と「そう思わない」の割合がそれぞれ高くなっています。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】



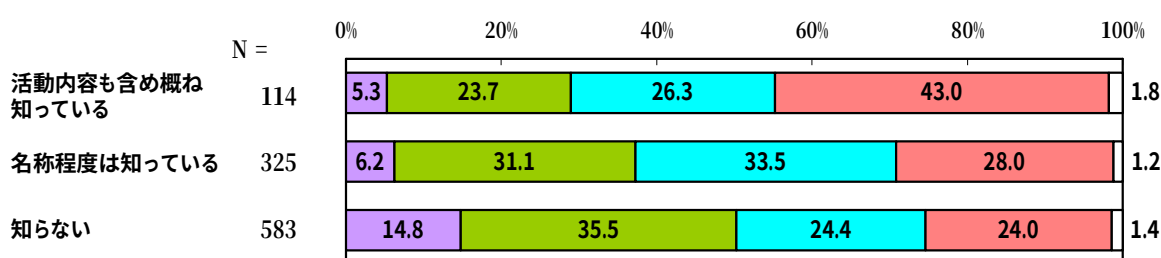
★「広報かわにし」のコラムの精読度別でみると、他に比べ、「読んだことがない」、「配られてこない」で“そう思う人”の割合が高く、約5割となっています。

【人権問題の研修会参加度別】



★人権問題の研修会参加度別でみると、他に比べ、「参加したことがない」で“そう思う人”の割合が高く、4割を超えています。

【子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別】



★子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別でみると、他に比べ、「知らない」で“そう思う人”の割合が高く、5割を超えています。

問 11-㍻

エ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えるのは、しかたがない

【性別・年齢別】

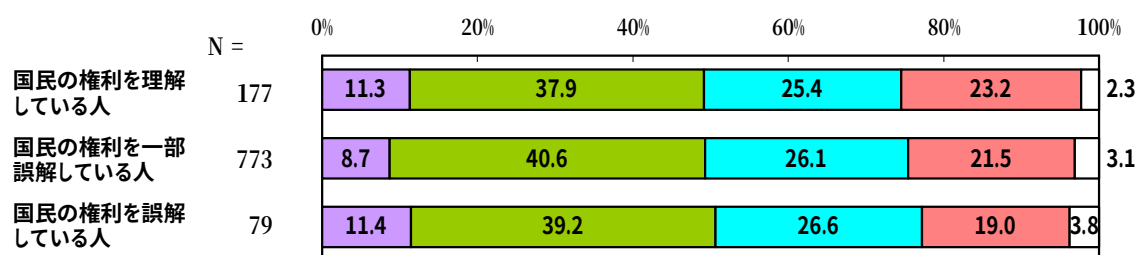
単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらか い え ば そ う 思 う	どちらか い え ば そ う 思 わ ない	い そ う 思 わ な	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	9.4	39.8	26.0	21.4	3.4	2.61
性 別	男性	419	12.4	42.0	24.1	19.3	2.1	2.51
	女性	628	7.3	38.7	27.4	22.8	3.8	2.68
年 齢 別	20 歳代	70	7.1	35.7	31.4	25.7	—	2.76
	30 歳代	136	8.8	41.9	30.9	15.4	2.9	2.55
	40 歳代	173	9.8	42.2	27.7	19.1	1.2	2.57
	50 歳代	144	13.9	33.3	27.8	22.2	2.8	2.60
	60 歳代	235	8.1	43.0	22.6	24.7	1.7	2.65
	70 歳以上	288	8.7	39.9	23.3	21.2	6.9	2.61

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、5割を超えています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で“そう思わない人”の割合が高く、約6割となっています。また、50歳代で「そう思う」の割合が高くなっています。

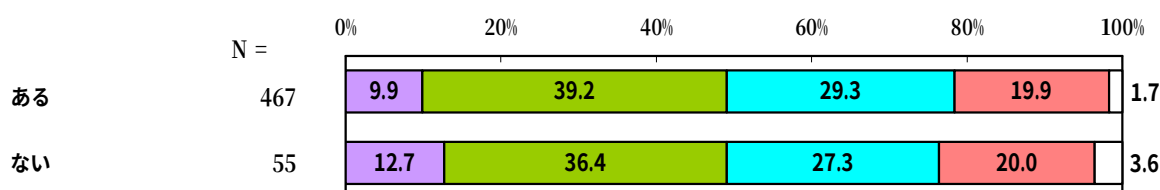
【国民の権利の理解度別】

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★国民の権利の理解度別でみると、大きな差異はみられません。

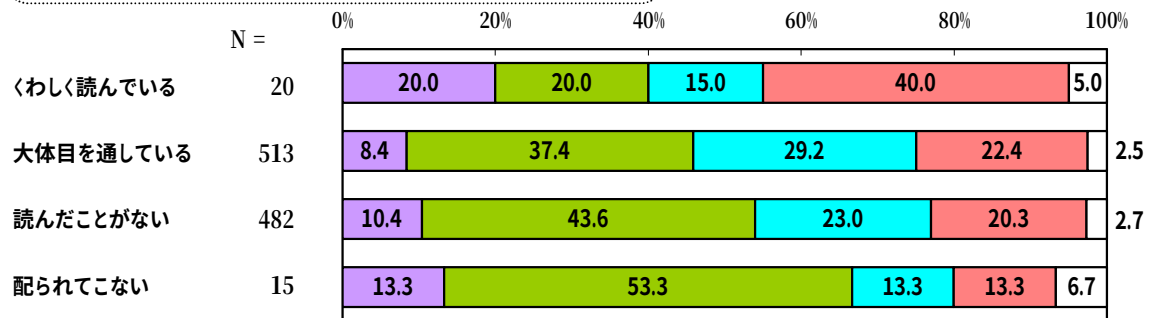
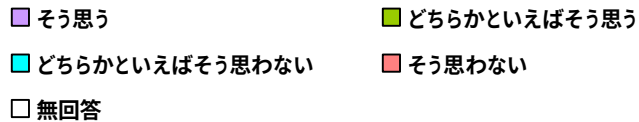
【人権教育を受けた経験の有無別】



※人権教育を受けた経験については、60歳以上の人を除いて集計しています。

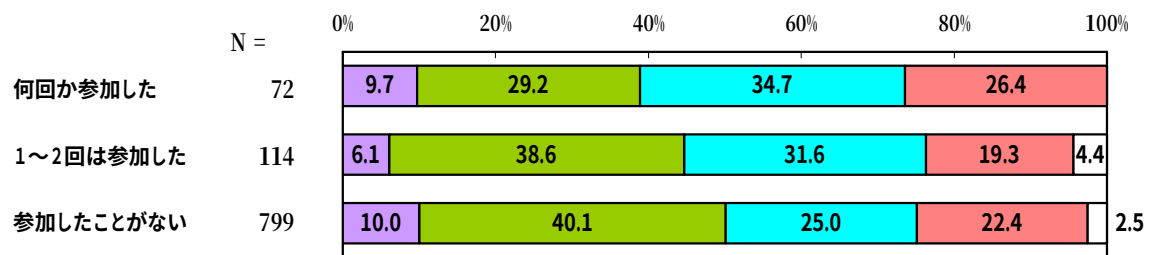
★人権教育を受けた経験の有無別でみると、大きな差異はみられません。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】



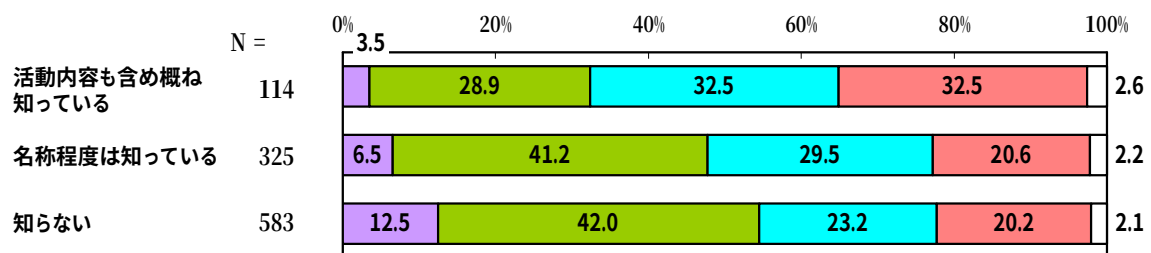
★「広報かわにし」のコラムの精読度別でみると、他に比べ、「読んだことがない」、「配られていない」で“そう思う人”の割合が高くなっています。

【人権問題の研修会参加度別】



★人権問題の研修会参加度別でみると、他に比べ、「参加したことがない」で“そう思う人”の割合が高くなり、「参加したことがない」で約 5 割となっています。

【子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別】



★子ども人権オンブズパーソン制度の認知度別でみると、他に比べ、「知らない」で“そう思う人”の割合が高く、5 割を超えています。

問 11-㍻

オ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう思う	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わない	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	32.4	38.9	19.3	6.4	3.0	3.00
性 別	男性	419	33.7	37.2	21.7	5.5	1.9	3.01
	女性	628	31.7	40.3	17.8	6.8	3.3	3.00
年 齢 別	20 歳代	70	50.0	32.9	12.9	4.3	—	3.29
	30 歳代	136	30.9	43.4	19.1	6.6	—	2.99
	40 歳代	173	25.4	41.6	24.3	8.1	0.6	2.85
	50 歳代	144	36.8	38.9	16.7	6.3	1.4	3.08
	60 歳代	235	31.9	35.7	22.1	6.8	3.4	2.96
	70 歳以上	288	31.6	39.6	17.0	5.2	6.6	3.04

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代で“ そう思う人 ”の割合が高く、8 割を超えています。

カ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない

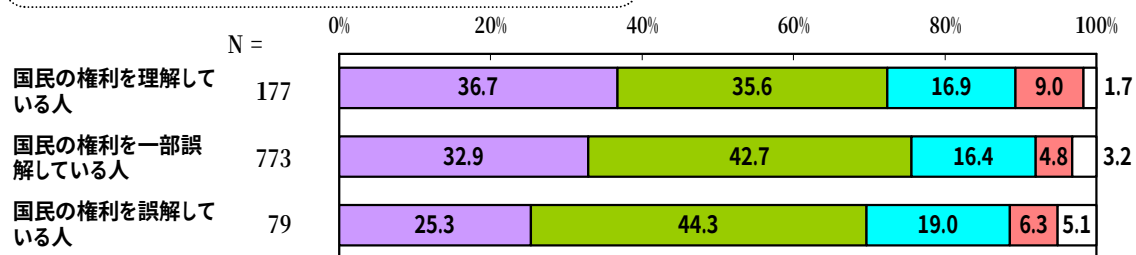
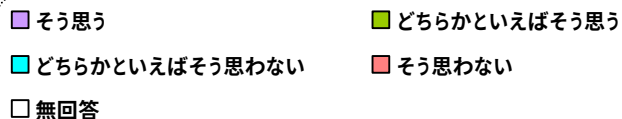
【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	いそう 思わな	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	32.8	41.6	16.4	5.6	3.6	3.05
性 別	男性	419	32.5	42.0	17.2	6.0	2.4	3.03
	女性	628	33.1	41.6	15.9	5.4	4.0	3.07
年 齢 別	20 歳代	70	31.4	45.7	20.0	2.9	—	3.06
	30 歳代	136	33.1	41.9	17.6	6.6	0.7	3.02
	40 歳代	173	24.3	40.5	26.0	7.5	1.7	2.83
	50 歳代	144	38.9	37.5	16.0	6.9	0.7	3.09
	60 歳代	235	35.7	43.8	11.1	6.8	2.6	3.11
	70 歳以上	288	33.0	41.3	13.9	3.1	8.7	3.14

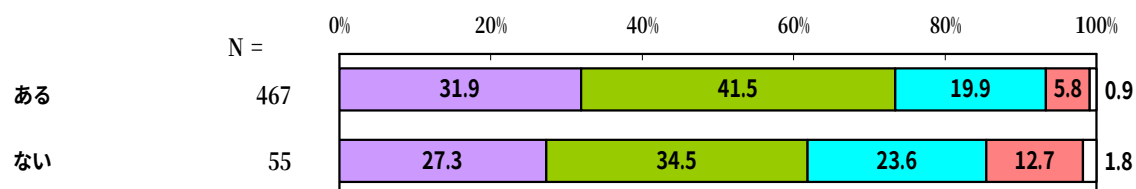
★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、40 歳代で“ そう思わない人 ”の割合が高く、3 割を超えています。

【国民の権利の理解度別】



★国民の権利の理解度別でみると、他に比べ、「国民の権利を誤解している人」で“そう思う人”の割合が低く、7割未満となっています。

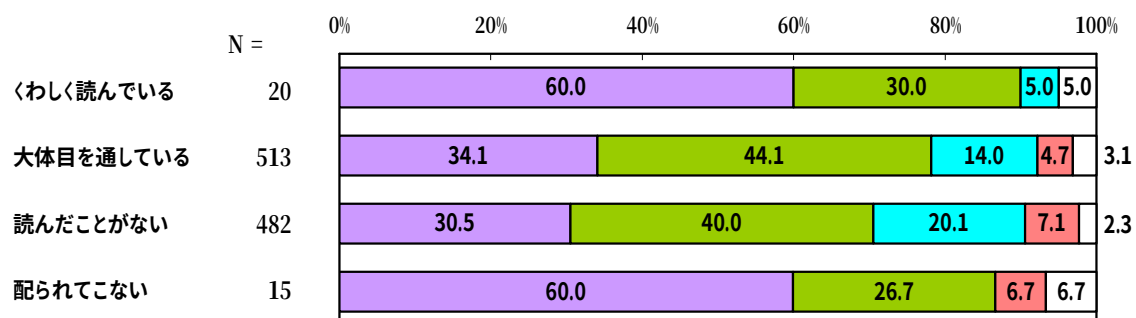
【人権教育を受けた経験の有無別】



※人権教育を受けた経験については、60歳以上の人を除いて集計しています。

★人権教育を受けた経験の有無別でみると、「ない」に比べ、「ある」で“そう思う”の割合が高く、7割を超えています。

【「広報かわにし」のコラムの精読度別】



★「広報かわにし」のコラムの精読度別でみると、他に比べ、「くわしく読んでいる」、「配られてこない」で“そう思う人”の割合が高く、約9割となっています。

問 11-㍻

キ 児童ポルノを制作することは、児童虐待にあたる

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	い ど ち ら か う と 思 う	い ど ち ら か う と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評価 点 (点)
総 数		1053	75.3	15.2	3.8	2.2	3.5	3.70
性 別	男性	419	69.9	18.6	6.2	3.1	2.1	3.59
	女性	628	79.1	13.1	2.2	1.6	4.0	3.77
年 齢 別	20 歳代	70	65.7	22.9	7.1	4.3	—	3.50
	30 歳代	136	72.1	19.9	4.4	2.9	0.7	3.62
	40 歳代	173	79.2	16.2	1.7	2.3	0.6	3.73
	50 歳代	144	81.9	13.9	1.4	2.1	0.7	3.77
	60 歳代	235	77.0	14.0	4.7	1.3	3.0	3.72
	70 歳以上	288	72.6	12.5	4.2	2.1	8.7	3.70

★性別でも年齢別でも、“そう思う人”が大半を占めますが、性別で見ると、女性に比べ、男性で“そう思わない人”の割合が高くなっています。年齢別で見ると、他の年齢に比べ、20 歳代で“そう思わない人”の割合が高くなっています。

ク 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ

【性別・年齢別】

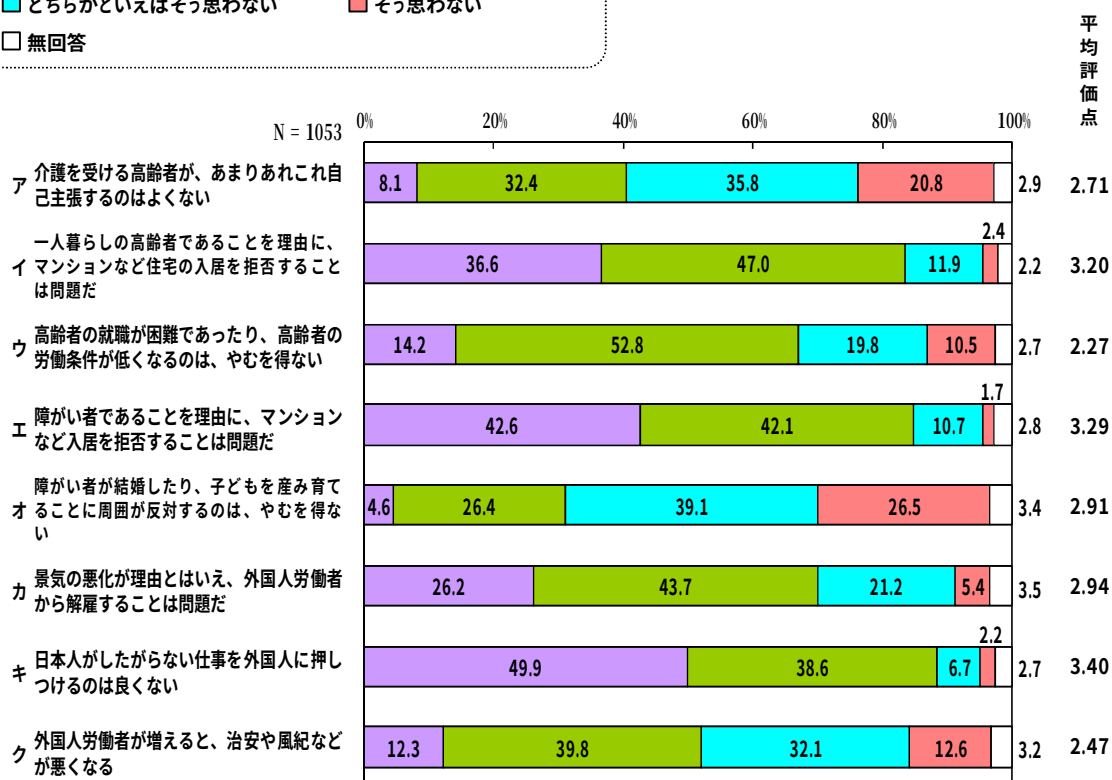
単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	い ど ち ら か う と 思 う	い ど ち ら か う と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	平均 評価 点 (点)
総 数		1053	8.7	22.4	35.5	30.4	2.9	2.90
性 別	男性	419	9.5	24.6	34.1	29.6	2.1	2.86
	女性	628	8.3	21.0	36.6	31.1	3.0	2.93
年 齢 別	20 歳代	70	2.9	14.3	40.0	42.9	—	3.23
	30 歳代	136	2.2	23.5	41.2	32.4	0.7	3.04
	40 歳代	173	4.0	23.1	42.2	28.9	1.7	2.98
	50 歳代	144	6.3	14.6	41.0	36.8	1.4	3.10
	60 歳代	235	6.4	21.7	34.9	34.0	3.0	3.00
	70 歳以上	288	19.1	28.1	25.7	21.5	5.6	2.53

★性別で見ると、大きな差異はみられません。年齢別で見ると、他の年齢に比べ、70 歳以上で“そう思う人”の割合が高く、約5割となっています。

問 12 次のような高齢者や障がい者、外国人に関する意見について、あなたはどのように思いますか。

- ☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う
☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない
☐ 無回答



★「イ 一人暮らしの高齢者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ」、「エ 障がい者であることを理由に、マンションなど入居を拒否することは問題だ」、「キ 日本人がしたがる仕事を外国人に押しつけるのは良くない」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う人”の割合が高く、8割を超えています。一方、「ウ 高齢者の就職が困難であったり、高齢者の労働条件が低くなるのは、やむを得ない」では、“そう思う人”の割合が7割近くあり、「ク 外国人労働者が増えると、治安や風紀などが悪くなる」でも“そう思う人”の割合は5割を超えています。

※平均評価点は、以下の手順で得点化し、算出しています。

得点 (イ、エ、カ、キ)		得点 (ア、ウ、オ、ク)	
そう思う	4 点	そう思う	1 点
どちらかといえばそう思う	3 点	どちらかといえばそう思う	2 点
どちらかといえばそう思わない	2 点	どちらかといえばそう思わない	3 点
思わない	1 点	思わない	4 点

※平均評価点＝4点（1点）×「そう思う」の回答者数＋3点（2点）×「どちらかといえばそう思う」の回答者数＋2点（3点）×「どちらかといえばそう思わない」の回答者数＋1点（4点）×「思わない」の回答者数／無回答を除いた設問の回答総数

問 12-㏲

ア 介護を受ける高齢者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		(件) 有効 回答 数	そう 思う	いど えち えば らか と 思 う	いど えち えば らか と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	(点) 平 均 評 価 点
総 数		1053	8.1	32.4	35.8	20.8	2.9	2.71
性 別	男性	419	9.5	37.2	35.3	15.8	2.1	2.59
	女性	628	7.2	29.1	36.5	24.2	3.0	2.80
年 齢 別	20 歳代	70	1.4	28.6	40.0	30.0	—	2.99
	30 歳代	136	5.9	25.0	44.1	24.3	0.7	2.87
	40 歳代	173	5.2	24.3	43.4	23.7	3.5	2.89
	50 歳代	144	5.6	28.5	36.1	29.9	—	2.90
	60 歳代	235	4.7	36.6	34.9	21.7	2.1	2.75
	70 歳以上	288	16.7	40.3	27.4	10.1	5.6	2.33

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、約5割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で“そう思う人”の割合が高く、約6割となっています。

イ 一人暮らしの高齢者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		(件) 有効 回答 数	そう 思う	えど ち ら か と い え ば そ う 思 う	えど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	(点) 平 均 評 価 点
総 数		1053	36.6	47.0	11.9	2.4	2.2	3.20
性 別	男性	419	37.0	46.3	11.7	3.3	1.7	3.19
	女性	628	36.3	47.8	11.9	1.8	2.2	3.21
年 齢 別	20 歳代	70	31.4	47.1	20.0	1.4	—	3.09
	30 歳代	136	24.3	59.6	14.0	2.2	—	3.06
	40 歳代	173	28.9	56.6	12.1	1.2	1.2	3.15
	50 歳代	144	40.3	43.8	13.9	2.1	—	3.22
	60 歳代	235	41.7	45.5	8.9	2.1	1.7	3.29
	70 歳以上	288	42.7	38.2	10.1	3.8	5.2	3.26

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で“そう思わない人”の割合が高く、2割を超えています。

ウ 高齢者の就職が困難であったり、高齢者の労働条件が低くなるのは、やむを得ない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう思う	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わない	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	14.2	52.8	19.8	10.5	2.7	2.27
性 別	男性	419	15.0	50.1	20.8	12.4	1.7	2.31
	女性	628	13.9	54.6	19.3	9.4	2.9	2.25
年 齢 別	20 歳代	70	5.7	62.9	21.4	10.0	—	2.36
	30 歳代	136	14.7	58.1	22.8	4.4	—	2.17
	40 歳代	173	9.2	54.9	25.4	9.2	1.2	2.35
	50 歳代	144	11.8	52.1	20.8	13.9	1.4	2.37
	60 歳代	235	13.6	52.8	17.9	13.6	2.1	2.32
	70 歳以上	288	21.2	47.2	16.0	10.4	5.2	2.16

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で「そう思う」の割合が高く、2 割を超えています。

エ 障がい者であることを理由に、マンションなど入居を拒否することは問題だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効回答数 (件)	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わな い	無回答	平均評価点 (点)
総 数		1053	42.6	42.1	10.7	1.7	2.8	3.29
性 別	男性	419	42.5	41.5	11.5	2.4	2.1	3.27
	女性	628	42.8	42.7	10.2	1.3	3.0	3.31
年 齢 別	20 歳代	70	41.4	47.1	10.0	—	1.4	3.32
	30 歳代	136	39.0	44.1	15.4	0.7	0.7	3.22
	40 歳代	173	35.3	49.7	12.7	0.6	1.7	3.22
	50 歳代	144	45.1	45.8	6.3	2.1	0.7	3.35
	60 歳代	235	50.6	38.7	8.5	0.4	1.7	3.42
	70 歳以上	288	42.0	36.5	11.1	4.2	6.3	3.24

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみても、大きな差はありませんが、平均評価点は、30 歳代と 40 歳代で低くなっています。

問 12-㏍

オ 障がい者が結婚したり、子どもを産み育てることに周囲が反対するのは、やむを得ない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効 回答 数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平 均 評 価 点 (点)
総 数	1053	4.6	26.4	39.1	26.5	3.4	2.91
性 別							
男性	419	4.8	24.1	39.6	28.9	2.6	2.95
女性	628	4.5	28.0	39.0	24.8	3.7	2.87
年 齢 別							
20 歳代	70	2.9	27.1	47.1	22.9	—	2.90
30 歳代	136	2.9	34.6	42.6	18.4	1.5	2.78
40 歳代	173	3.5	28.3	43.9	22.5	1.7	2.87
50 歳代	144	5.6	25.0	37.5	31.3	0.7	2.95
60 歳代	235	4.3	25.1	37.9	31.1	1.7	2.97
70 歳以上	288	6.3	23.3	35.4	27.4	7.6	2.91

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、30 歳代で“ そう思う人 ”の割合が高く、約 4 割となっています。

カ 景気の悪化が理由とはいえ、外国人労働者から解雇することは問題だ

【性別・年齢別】

単位：％

区 分	有効 回答 数 (件)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	平 均 評 価 点 (点)
総 数	1053	26.2	43.7	21.2	5.4	3.5	2.94
性 別							
男性	419	26.5	42.5	20.8	7.9	2.4	2.90
女性	628	26.0	44.9	21.3	3.8	4.0	2.97
年 齢 別							
20 歳代	70	38.6	38.6	17.1	5.7	—	3.10
30 歳代	136	27.2	39.7	23.5	8.1	1.5	2.87
40 歳代	173	21.4	51.4	19.7	5.8	1.7	2.90
50 歳代	144	25.7	41.0	25.7	7.6	—	2.85
60 歳代	235	28.1	43.4	21.7	3.4	3.4	3.00
70 歳以上	288	24.7	44.4	19.1	4.5	7.3	2.96

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代で“ そう思う人 ”の割合が高く、約 8 割となっています。

キ 日本人がしたがない仕事を外国人に押しつけるのは良くない

【性別・年齢別】

単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	え ば ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数		1053	49.9	38.6	6.7	2.2	2.7	3.40
性 別	男性	419	46.3	40.8	8.8	2.6	1.4	3.33
	女性	628	52.7	36.8	5.4	1.9	3.2	3.45
年 齢 別	20 歳代	70	55.7	32.9	8.6	2.9	—	3.41
	30 歳代	136	50.7	33.8	7.4	5.1	2.9	3.34
	40 歳代	173	39.3	51.4	6.4	1.2	1.7	3.31
	50 歳代	144	50.0	42.4	4.9	2.1	0.7	3.41
	60 歳代	235	52.8	37.4	6.8	0.9	2.1	3.45
	70 歳以上	288	53.1	33.0	6.9	2.4	4.5	3.43

★性別でみると、大きな差異はみられません。年齢別でも、大きな差はありませんが、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で“そう思わない人”の割合が高くなっています。また、40歳代で「そう思う」の割合が他の年齢層での割合よりも10ポイント以上も低くなっています。

ク 外国人労働者が増えると、治安や風紀などが悪くなる

【性別・年齢別】

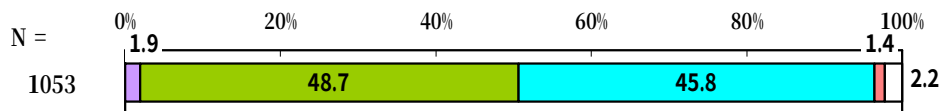
単位：％

区 分		有効 回答 数 (件)	そう 思う	い え ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	平均 評 価 点 (点)
総 数		1053	12.3	39.8	32.1	12.6	3.2	2.47
性 別	男性	419	13.1	43.0	29.8	11.9	2.1	2.41
	女性	628	11.6	37.6	33.9	13.2	3.7	2.51
年 齢 別	20 歳代	70	7.1	31.4	34.3	27.1	—	2.81
	30 歳代	136	12.5	27.9	42.6	15.4	1.5	2.62
	40 歳代	173	11.0	42.2	33.5	11.0	2.3	2.46
	50 歳代	144	13.9	40.3	31.9	13.2	0.7	2.45
	60 歳代	235	11.9	45.1	30.2	9.4	3.4	2.38
	70 歳以上	288	13.5	41.0	28.1	11.5	5.9	2.40

★性別でみると、女性に比べ、男性で“そう思う人”の割合が高く、約6割となっています。年齢別でみると、他の年齢に比べ、年齢が高くなるにつれ“そう思う人”の割合が高く、60歳代で約6割となっています。

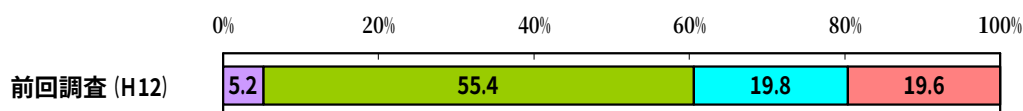
問 13 「広報かわにし」は毎月発行していますが、その中の人権啓発シリーズ「生きる」というコラムをあなたはお読みですか。

■ くわしく読んでいる ■ 大体目を通して ■ 読んだことがない
■ 配られてこない ■ 無回答



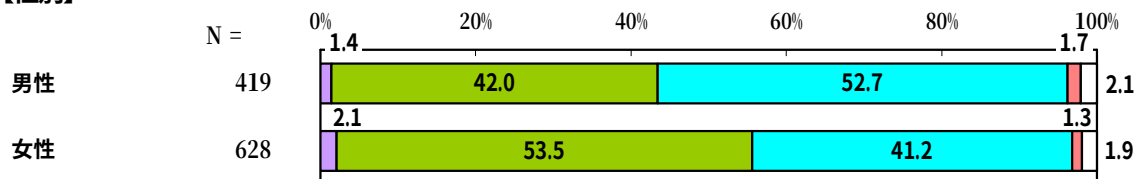
【前回調査（H12）】

■ くわしく読んでいる ■ 大体目を通して ■ 読んだことがない
■ 配られてこない・無回答



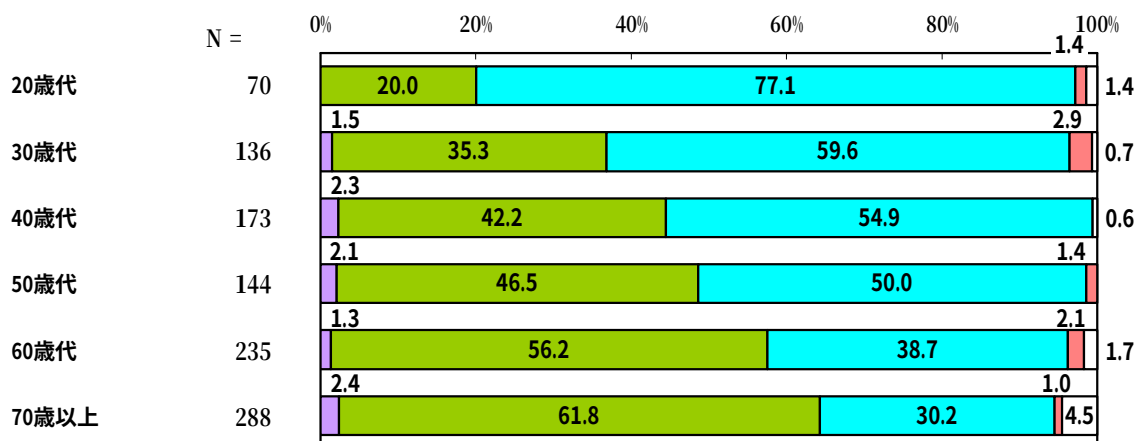
★「大体目を通して」の割合が48.7%と最も高く、次いで「読んだことがない」の割合が45.8%となっています。前回調査（H12）と比較すると、「読んだことがない」が26ポイント増加しています。

【性別】



★性別でみると、男性に比べ、女性で「大体目を通して」の割合が高く、5割を超えています。一方、男性で「読んだことがない」の割合が高く、5割を超えています。

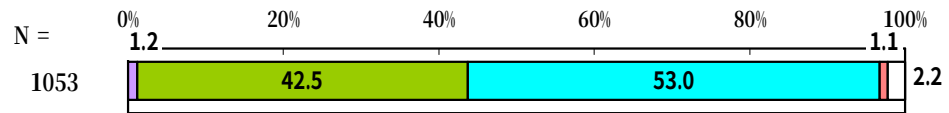
【年齢別】



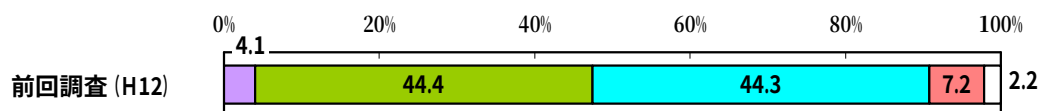
★年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「大体目を通して」の割合が高くなっており、60歳以上で約6割となっています。

問 14 「広報かわにし」の中で、「人権問題特集」、「男女共同参画特集」を発行していますが、あなたは、お読みですか。

■ くわしく読んでいる ■ 大体目を通してしている ■ 読んだことがない
■ 配られてこない ■ 無回答

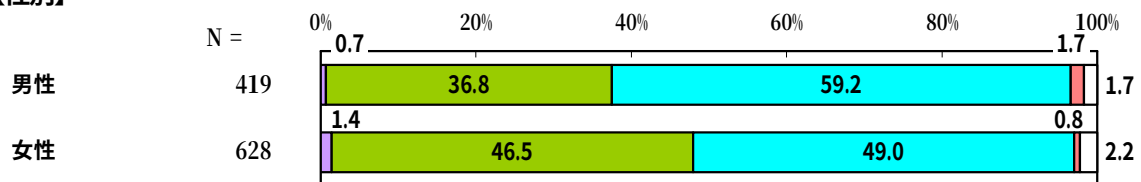


【前回調査 (H12)】



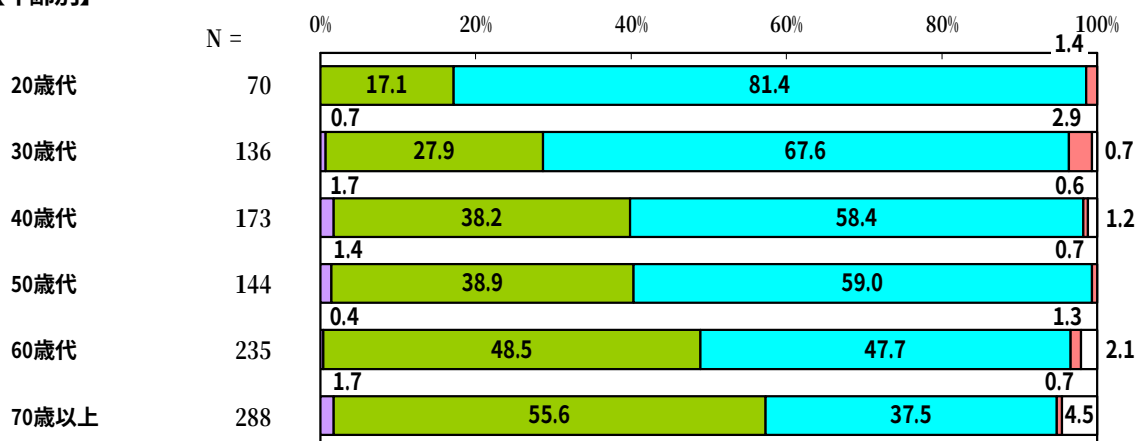
★「読んだことがない」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「大体目を通してしている」の割合が 42.5%となっています。前回調査 (H12) と比較すると、「読んだことがない」が 8.7 ポイント増加しています。

【性別】



★性別でみると、男性に比べ、女性で「大体目を通してしている」の割合が高く、約 6 割となっています。一方、男性で「読んだことがない」の割合が高く、約 6 割となっています。

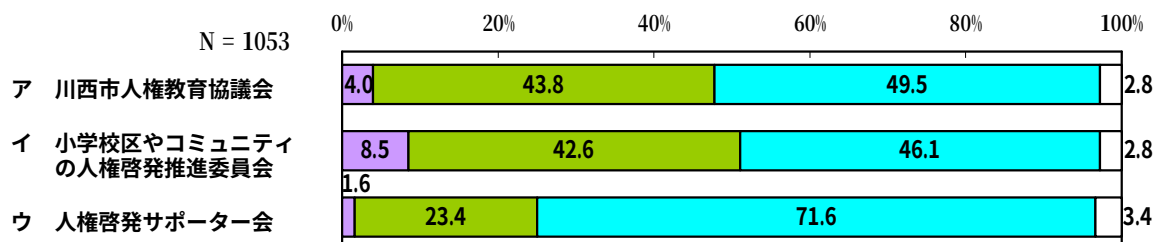
【年齢別】



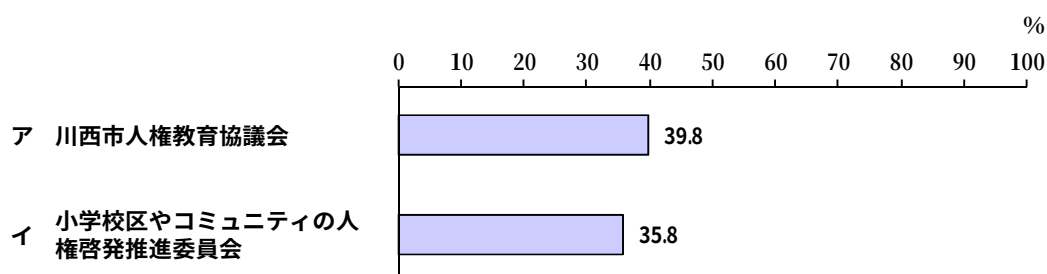
★年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「大体目を通してしている」の割合が高くなっており、70 歳以上で 5 割を超えています。一方、20 歳代で「読んだことがない」の割合が高くなっており、8 割を超えています。

問 15 川西市では人権問題の解決のため、市民が主体となった学習啓発活動が取り組まれています、次の団体・組織など、どの程度知っていますか。

■ 活動内容も含め概ね知っている ■ 名称程度は知っている
■ 知らない □ 無回答



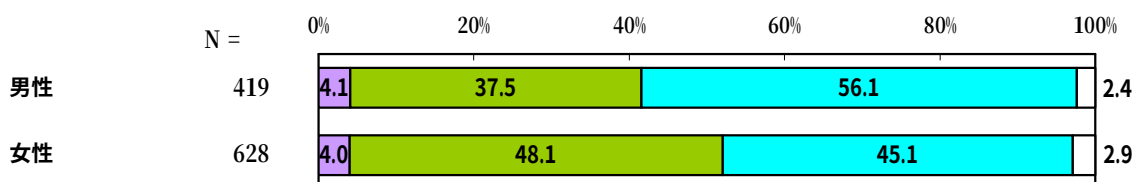
【前回調査（H12）】（※知っている人の割合）



★「ア 川西市人権教育協議会」、「イ 小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会」で「名称程度は知っている」の割合が高く、「イ 小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会」で「活動内容も含め概ね知っている」と「名称程度は知っている」をあわせた“知っている人”の割合が5割を超えています。前回調査（H12）と比較すると、“知っている人”が「ア 川西市人権教育協議会」で 8 ポイント、「イ 小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会」で 15.3 ポイント増加しています。

ア 川西市人権教育協議会

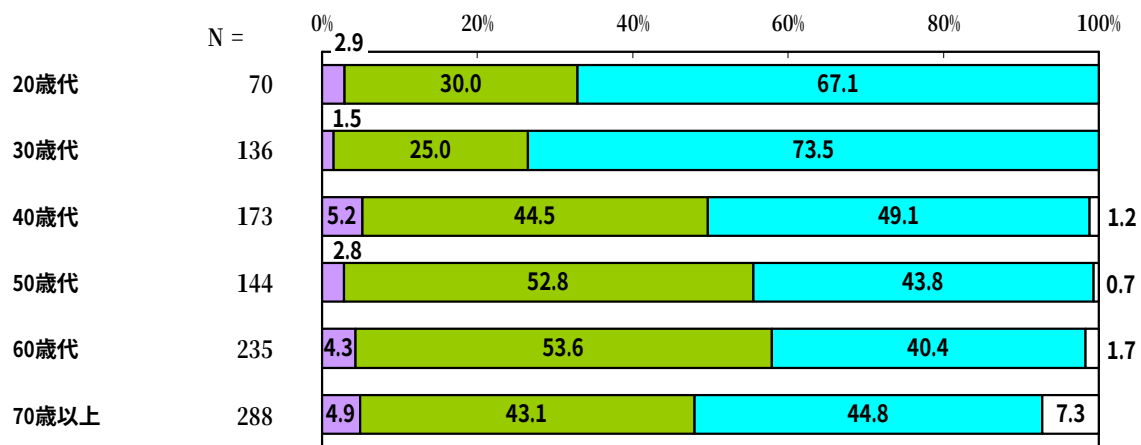
【性別】



★性別でみると、男性に比べ、女性で「名称程度は知っている」の割合が高く、約5割となっています。一方、男性で「知らない」の割合が高く、約6割となっています。

【年齢別】

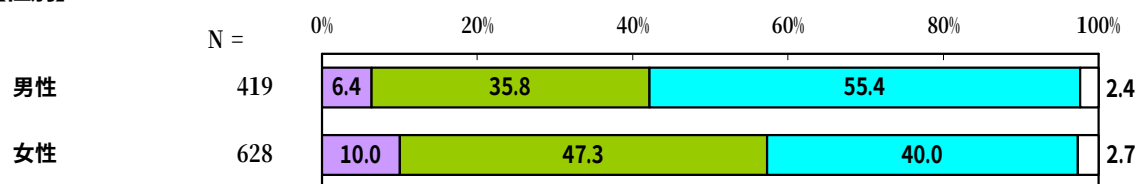
■ 活動内容も含め概ね知っている ■ 名称程度は知っている
■ 知らない □ 無回答



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「名称程度は知っている」の割合が高く、5割を超えています。一方、20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高く、約7割となっています。

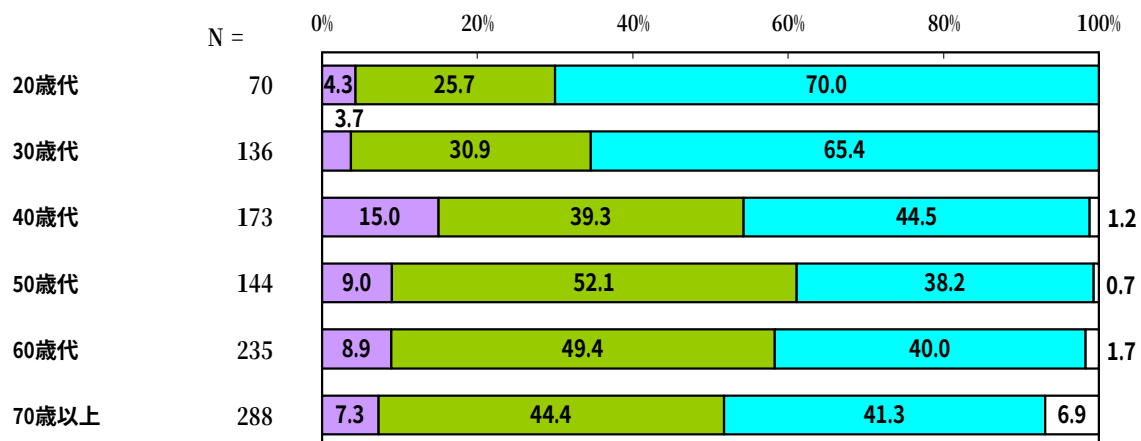
イ 小学校やコミュニティの人権啓発推進委員会

【性別】



★性別でみると、男性に比べ、女性で「名称程度は知っている」の割合が高く、約5割となっています。一方、男性で「知らない」の割合が高く、5割を超えています。

【年齢別】

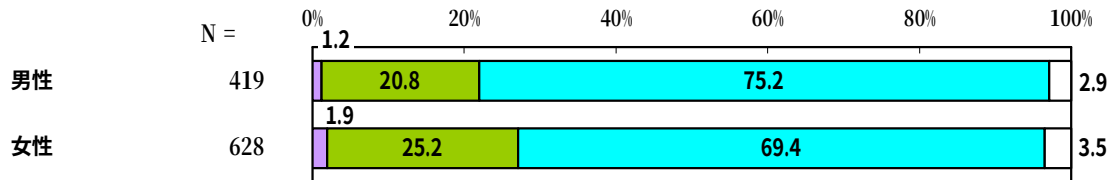


★年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「名称程度は知っている」の割合が高く、約5割りとなっています。また、40歳代で「活動内容も含め概ね知っている」の割合が高くなっています。一方、20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高く、6割を超えています。

ウ 人権啓発サポーター会

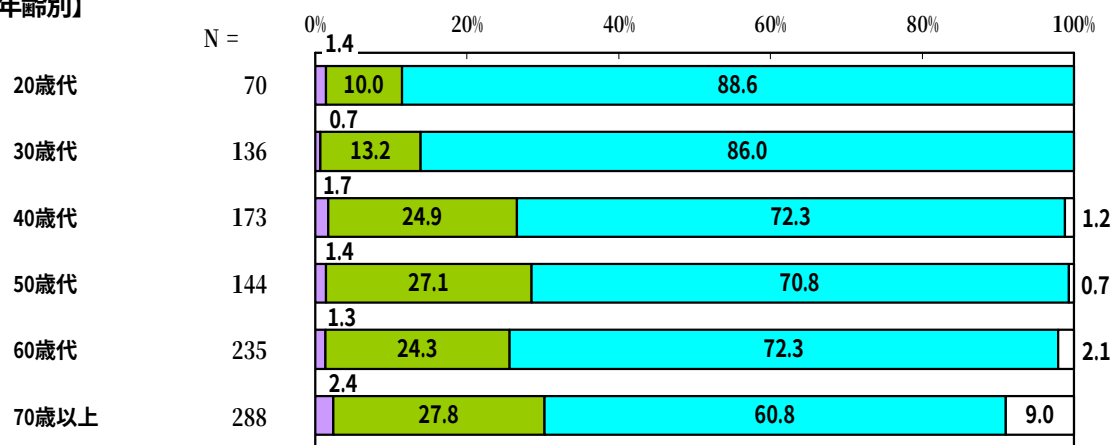
【性別】

☐ 活動内容も含め概ね知っている ☐ 名称程度は知っている
☐ 知らない ☐ 無回答



★性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、7割を超えています。

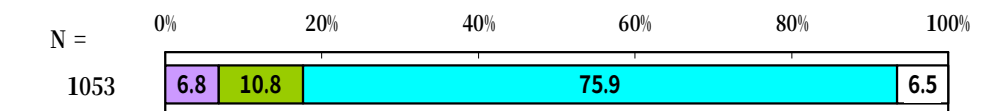
【年齢別】



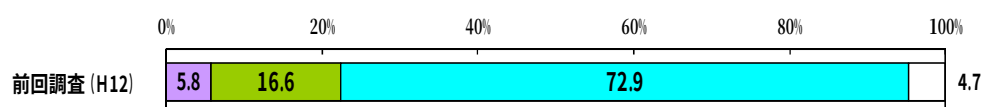
★年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高く、約9割となっています。

問 16 市（教育委員会）や団体などが主催している人権に関する講演会、研修会などに、参加したことがありますか。

☐ 何回か参加した ☐ 1～2回は参加した ☐ 参加したことがない ☐ 無回答



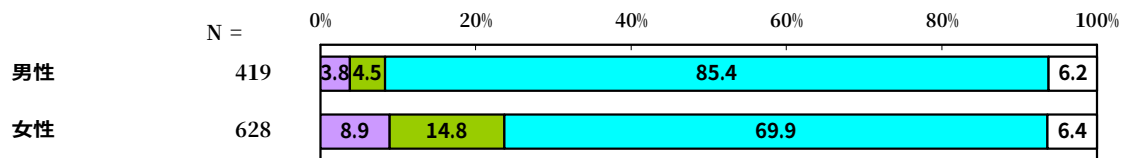
【前回調査（H12）】



★「参加したことがない」の割合が75.9%と最も高く、次いで「1～2回は参加した」の割合が10.8%となっています。前回調査（H12）と比較すると、「1～2回は参加した」が5.8ポイント減少しています。

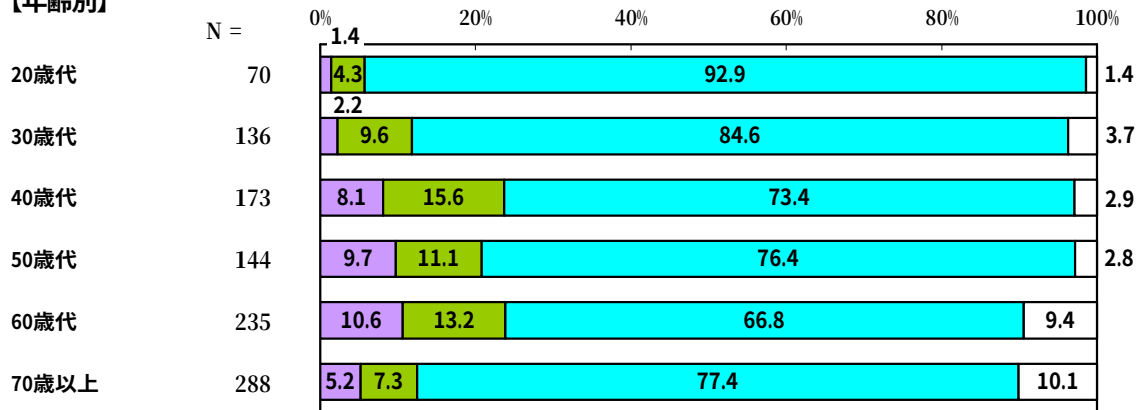
【性別】

■ 何回か参加した ■ 1～2回は参加した ■ 参加したことがない □ 無回答



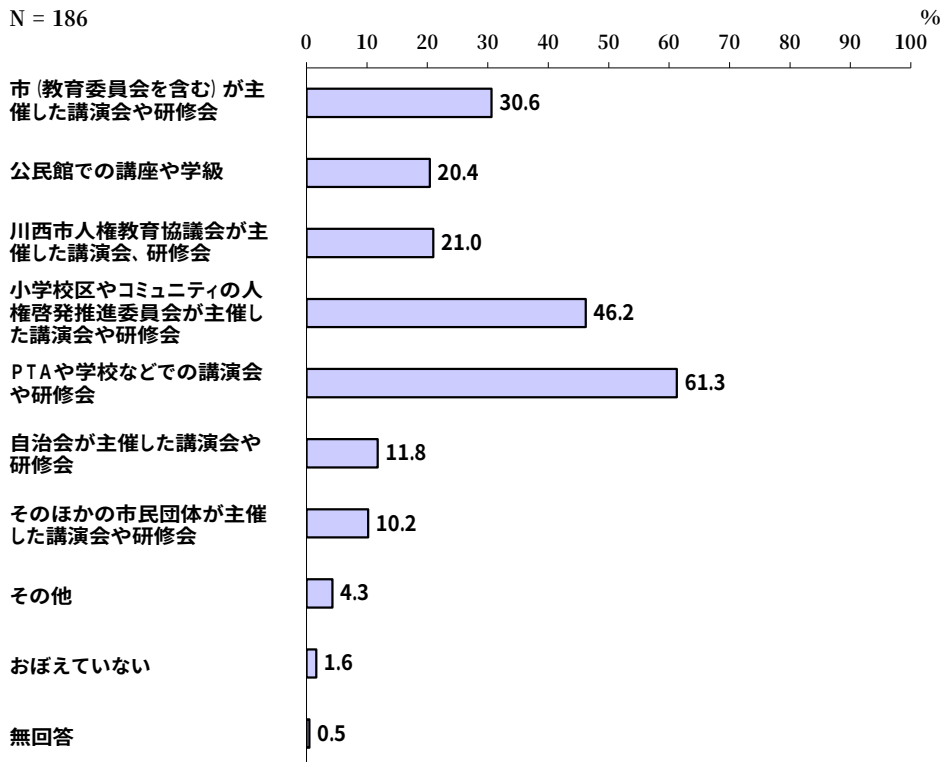
★性別でみると、男性に比べ、女性で「1～2回は参加した」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「参加したことがない」の割合が高く、8割を超えています。

【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で「参加したことがない」の割合が高く、8割を超えています。

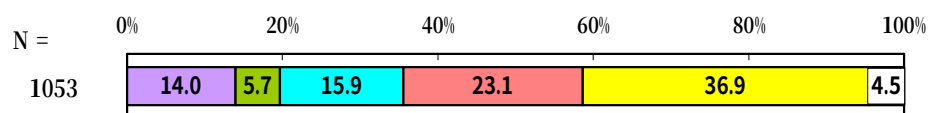
問 16 - (1) 問 16 で「1. 何回か参加した」「2. 1～2回は参加した」と回答された方にお聞きします。それはどのような種類のものでしたか。



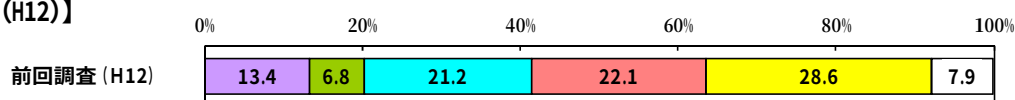
★「PTAや学校などでの講演会や研修会」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会が主催した講演会や研修会」の割合が 46.2%、「市 (教育委員会を含む) が主催した講演会や研修会」の割合が 30.6%となっています。

問 17 あなたは、職場で実施されている人権問題の研修に参加したことがありますか。

- 何回か参加した
- 1～2回は参加した
- 参加したことはない
- 職場での「人権研修」は行われていない
- 職場はない（無職）
- 無回答

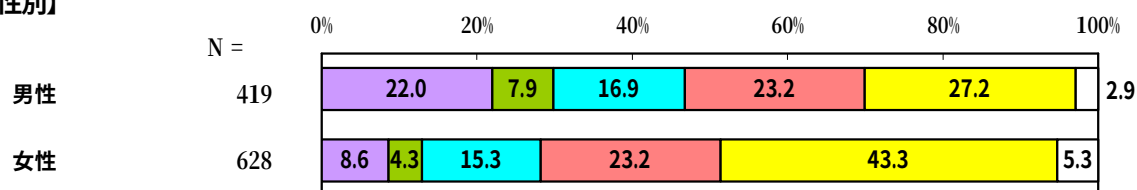


【前回調査（H12）】



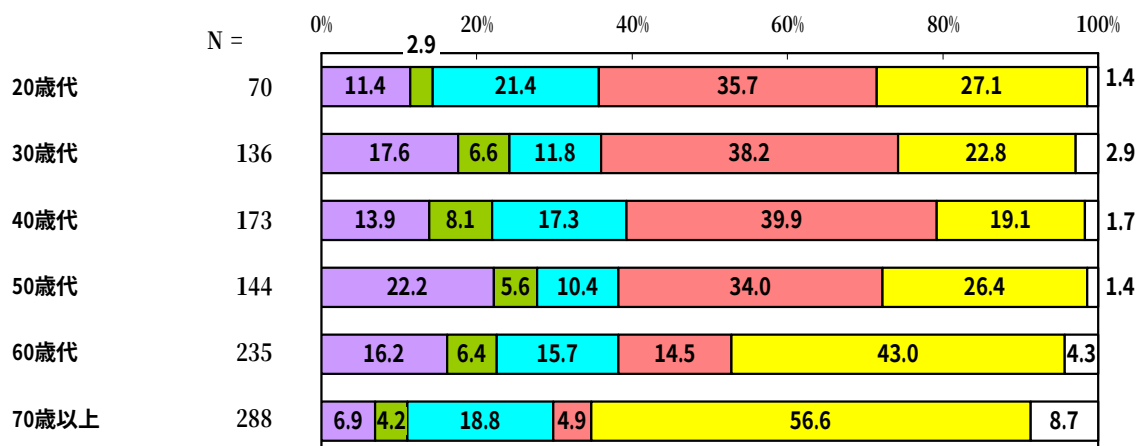
★「職場はない（無職）」の割合が36.9%と最も高く、次いで「職場での「人権研修」は行われていない」の割合が23.1%、「参加したことはない」の割合が15.9%となっています。前回調査（H12）と比較すると、「参加したことはない」が5.3ポイント減少しています。

【性別】



★性別でみると、女性に「職場はない（無職）」の割合が高く、男性では「何回か参加した」の割合が高くなっており、2割を超えています。

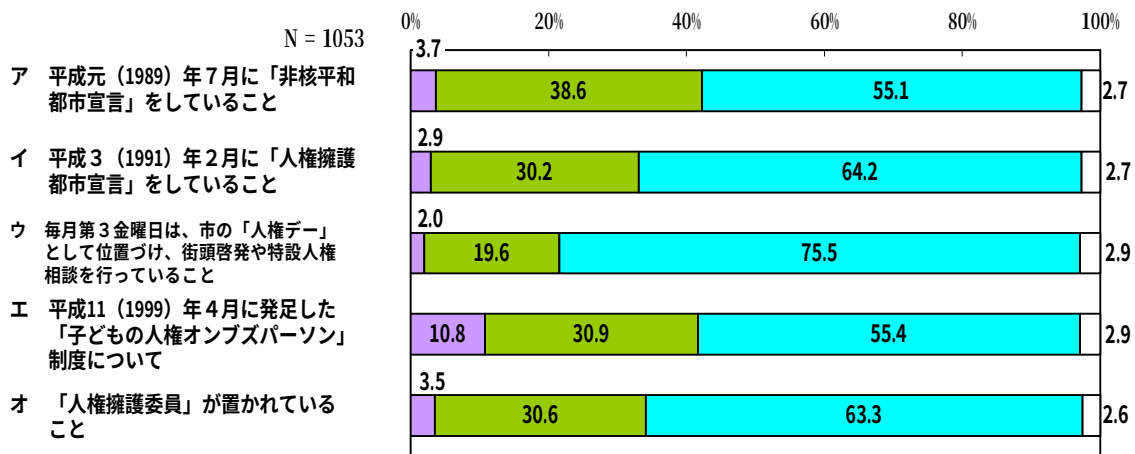
【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳未満の各年齢層で「職場での「人権研修」は行われていない」の割合が高く、3割を超えています。また、50歳代で「何回か参加した」の割合が高く、2割を超えています。

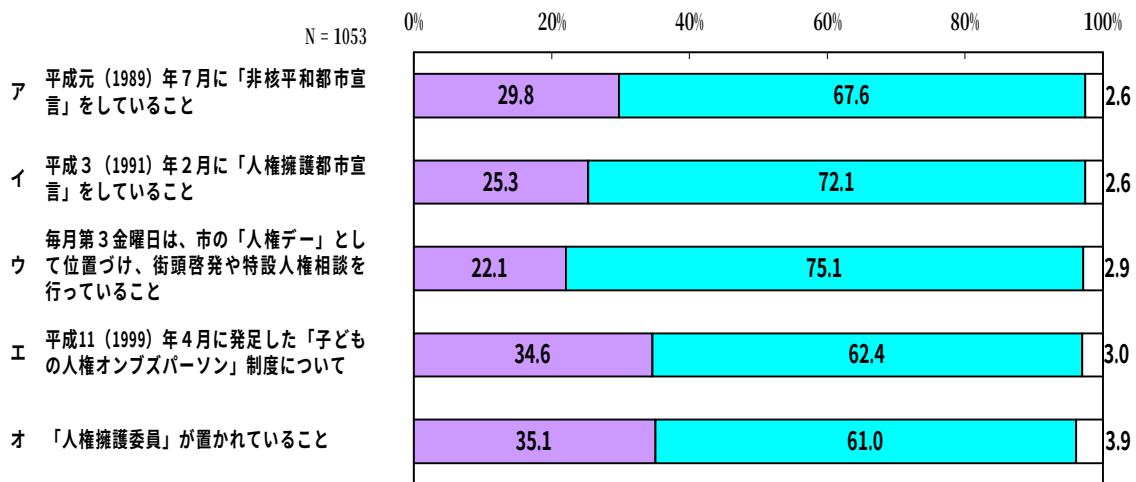
問 18 川西市の以下の宣言や取り組みについて、知っていますか。

☐ 活動内容も含め概ね知っている ☐ 名称程度は知っている
☐ 知らない ☐ 無回答



【前回調査(H12)】 ※ただし、「ウ 人権デー」については、「参加したことがある」と「参加したことはないが知っている」をあわせた割合を「知っている」としている。

☐ 知っている ☐ 知らない ☐ 無回答



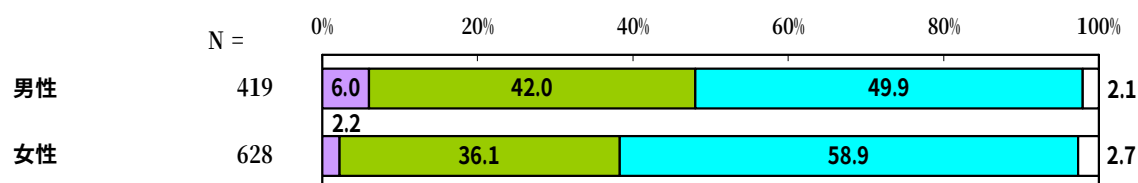
★「ア 平成元(1989)年7月に「非核平和都市宣言」をしていること」、「エ 平成11(1999)年4月に発足した「子どもの人権オンプズパーソン」制度について」で、「活動内容も含め概ね知っている」と「名称程度は知っている」をあわせた「知っている」の割合が高く、4割を超えています。前回調査(H12)と比較すると、「ア 平成元(1989)年7月に「非核平和都市宣言」をしていること」で「知っている」が12.5ポイント、「イ 平成3(1991)年2月に「人権擁護都市宣言」をしていること」で7.8ポイント、「エ 平成11(1999)年4月に発足した「子どもの人権オンプズパーソン」制度について」で7.1ポイント増加しています。

問 18-㏰

ア 平成元（1989）年7月に「非核平和都市宣言」をしていること

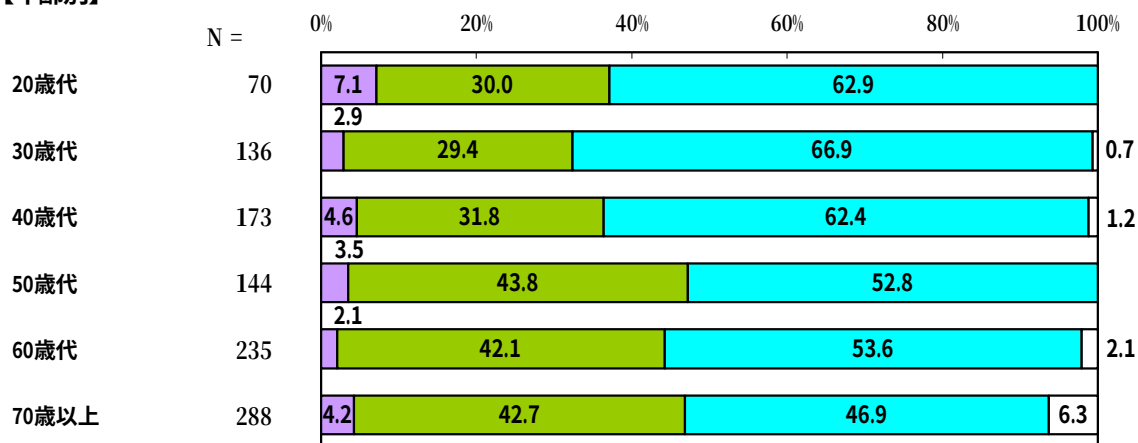
【性別】

☐ 活動内容も含め概ね知っている ☐ 名称程度は知っている
☐ 知らない ☐ 無回答



★性別でみると、女性に比べ、男性のほうが、「活動内容も含め概ね知っている」の割合がやや高くなっています。

【年齢別】

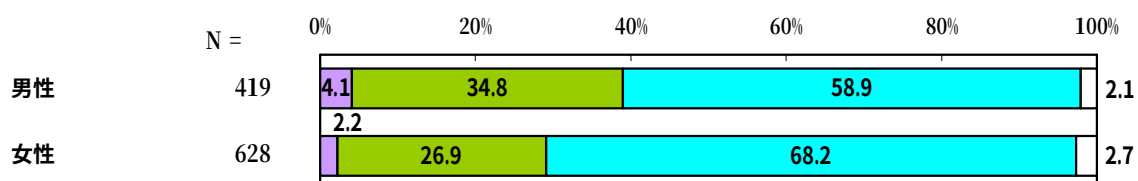


★年齢別でみると、他の年齢に比べ、50 歳以上で「名称程度は知っている」の割合が高く、4 割を超えています。また、50 歳未満で「知らない」の割合が高く、6 割を超えています。

イ 平成3（1991）年2月に「人権擁護都市宣言」をしていること

【性別】

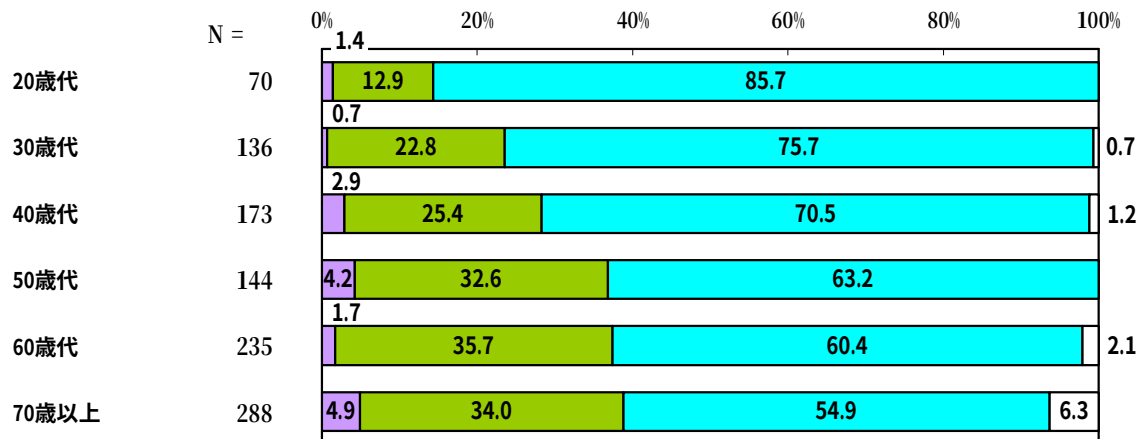
☐ 活動内容も含め概ね知っている ☐ 名称程度は知っている
☐ 知らない ☐ 無回答



★性別でみると、女性に比べ、男性で「名称程度は知っている」の割合が高く、3 割を超えています。また、男性に比べ、女性で「知らない」の割合が高く、約7 割となっています。

【年齢別】

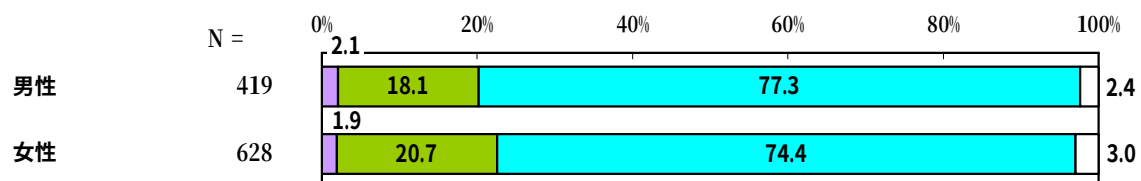
■ 活動内容も含め概ね知っている ■ 名称程度は知っている
■ 知らない □ 無回答



★年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなっており、20 歳代で8割を超えています。

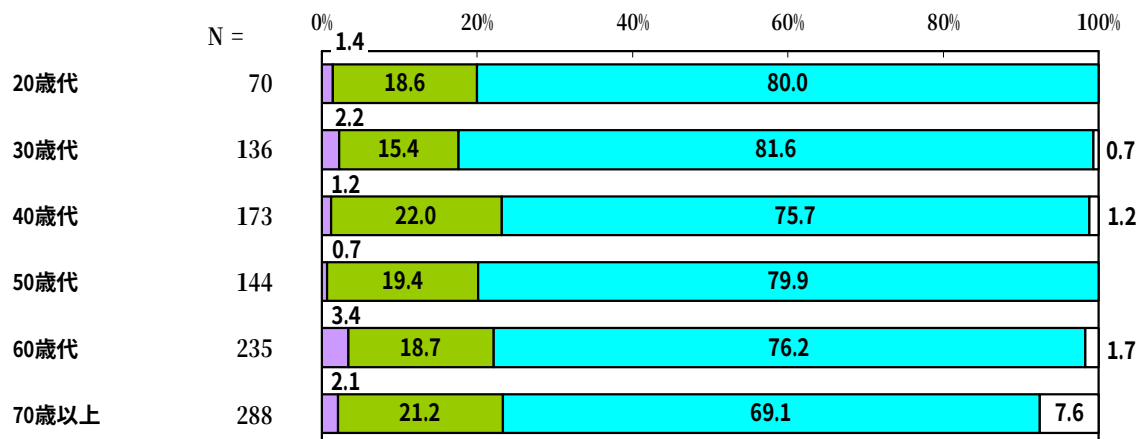
ウ 毎月第3金曜日は、市の人権デーとして位置づけ、街頭啓発や特設人権相談を行っていること

【性別】



★性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



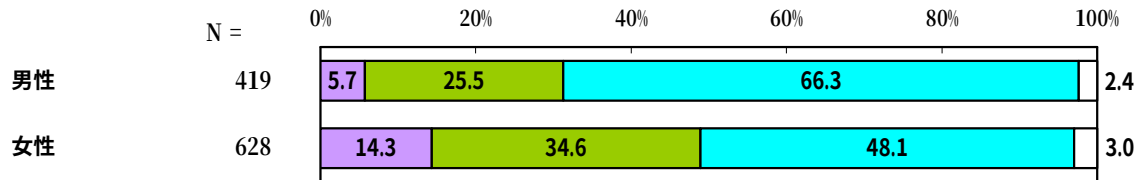
★年齢別でみると、他の年齢に比べ、70 歳以上で「知らない」の割合が低く、7割未満となっています。

問 18-ⅴ

エ 平成 11 (1999) 年 4 月に発足した「子どもの人権オンブズパーソン」制度について

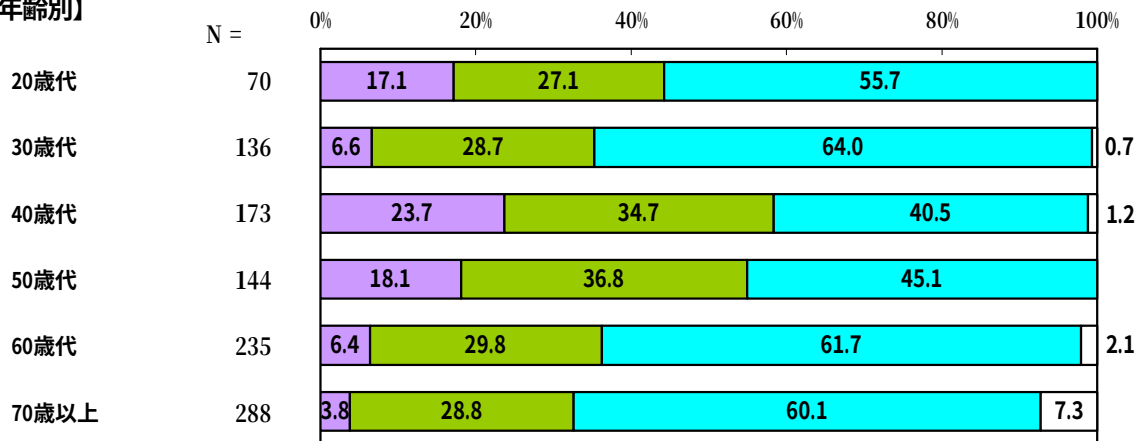
【性別】

■ 活動内容も含め概ね知っている ■ 名称程度は知っている
■ 知らない □ 無回答



★性別でみると、男性に比べ、女性で「活動内容も含め概ね知っている」「名称程度は知っている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、約 7 割となっています。

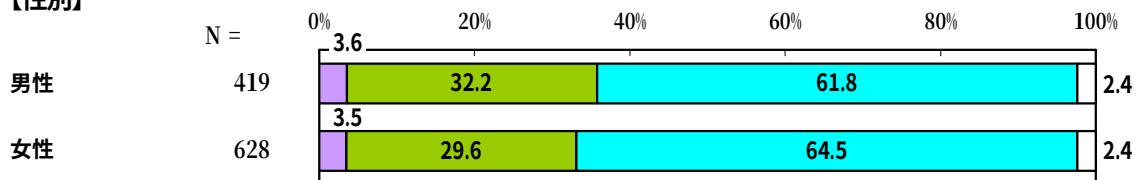
【年齢別】



★年齢別でみると、他の年齢に比べ、40 歳代、50 歳代で「活動内容も含め概ね知っている」の割合が高く、約 2 割となっています。一方、30 歳代、60 歳代、70 歳以上で「知らない」の割合が高く、6 割を超えています。

オ 「人権擁護委員」が置かれていること

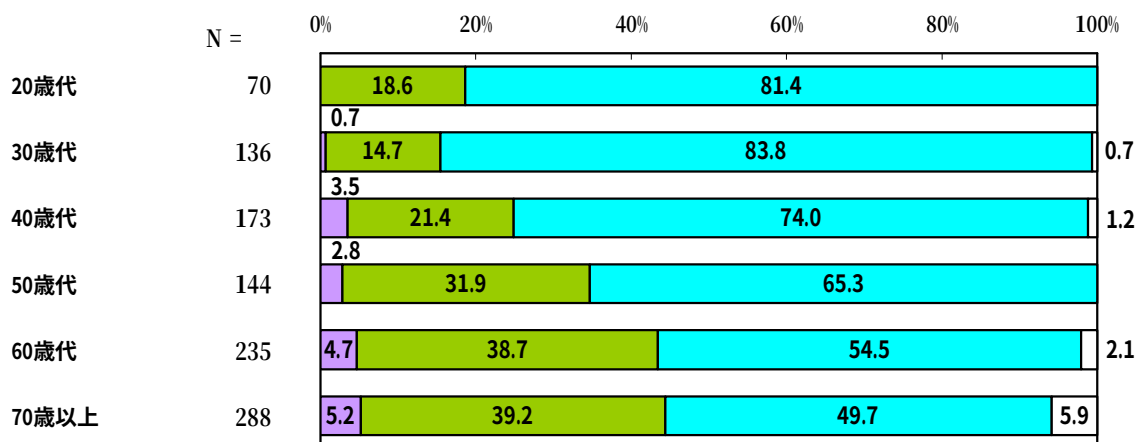
【性別】



★性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】

☐ 活動内容も含め概ね知っている ☐ 名称程度は知っている
☐ 知らない ☐ 無回答

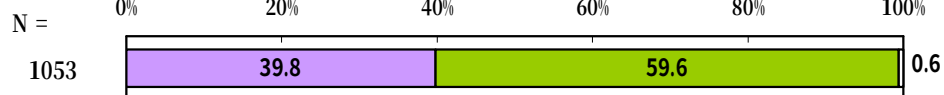


★年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「名称程度は知っている」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなる傾向がみられます

問 19 あなたご自身のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

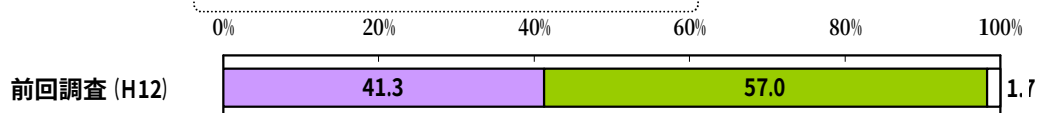
A. あなたの性別は

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他 ☐ 無回答



【前回調査 (H12)】

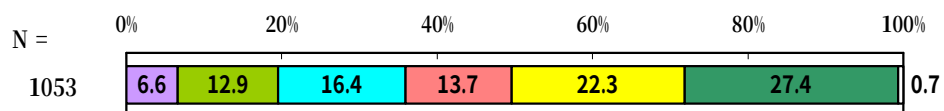
☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 無回答



★「男性」の割合が39.8%、「女性」の割合が59.6%となっています。前回調査（H12）と比較すると、大きな差異はみられません。

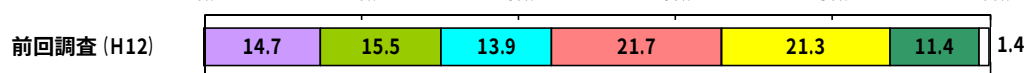
B. あなたの年齢は（満年齢）

☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代
☐ 70歳以上 ☐ 無回答



【前回調査 (H12)】

☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代
☐ 70歳以上 ☐ 無回答

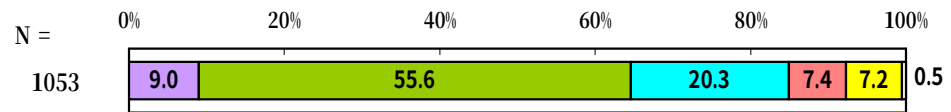


★「70歳以上」の割合が27.4%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が22.3%、「40歳代」の割合が16.4%となっています。前回調査（H12）と比較すると、「20歳代」で8.1ポイント、「50歳代」で8.0ポイント減少しています。

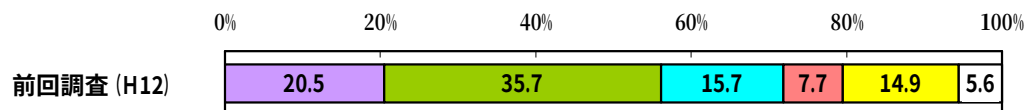
問 19-㏲

C. 川西市での居住年数は、通算で何年くらいですか

- 生まれてからずっと
- 20年以上
- 10～20年未満
- 5～10年未満
- 5年未満
- 無回答



【前回調査 (H12)】



★「20 年以上」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「10～20 年未満」の割合が 20.3%となっています。前回調査 (H12) と比較すると、「生まれてからずっと」で 11.5 ポイント、「5 年未満」で 7.7 ポイント減少しています。

【調査票に関すること】

- 1 問 7～問 12 の選択に関しては、4 つから選ぶ事が非常に難しかったです。十分な協力のできない回答内容となり、申し訳ないです。（男性 30 歳代）
- 2 設問自体に疑問のあるものが多くて、答えられない。（女性 60 歳代）
- 3 89 才の母には難しい質問ばかりです（代読、代筆しましたが）年齢を考えて送付してください。（女性 70 歳以上）
- 4 この市民調査の締め切り前にハガキで催促するのは税金のムダ使いです。同和地区は現在でも優遇されています(税金・祭り等)そういうものがある限り、皆の意識は変わらないのではないですか？（女性 40 歳代）
- 5 この調査用紙の本文にふりがながないのに、下記の部分にふりがながあるのはなぜなのでしょう。気になります。意図的に理解を含めた調査でしょうか。（女性 30 歳代）
- 6 私のような高齢者になぜアンケートを出しているのか。86 才。（女性 70 歳以上）

【提案等】

《人権全般》

- 7 北朝鮮や中国の人権無視も国から比べると、日本国民は充分人権が護られている。人権、人権と言いながら、問題をすりかえ、一部の人の特権を守るため政治的に利用されていないだろうか。こういった問題は、市で取り組むより教育の場で小さい時からしっかりとした道徳や人への思いやりから教えるべきだと思う。（男性 60 歳代）
- 8 法律にどうことが記載されているかわからないが、「差別をしたら」と法律をつくってしまえば良いと思う。差別等で悩んでいる人は思っている以上にたくさんいると思います。（女性 20 歳代）
- 9 職場や家庭で差別事象があった場合、見逃すことのないよう正面から、その事象に対し前向きに取り組む必要がある。特に職場ではその事象を取り上げ、当事者や関係者に対してねばり強い対応が必要である。私の職場では人権推進委員会を設け、具体的事例を研修材料などに用い、意識向上に努めている。積極的な取り組みをお願いします。（男性 50 歳代）
- 10 情報をもっと、オープンにしたらどうですか。（男性 60 歳代）
- 11 自治会活動に楽しく、明るいイベントを開催して、地域の方々がより一層コミュニケーションをはかったら良いと思います。人権問題と余り固くしない方が良い。（女性 60 歳代）

《人権啓発・人権教育》

- 12 人権問題はどうして起こったのかを歴史をたどり多くの方々に知ってもらうことが大事だと思う。（女性 40 歳代）
- 13 人権について同和問題だけでなく、色々な問題で一人ひとりが少しでも話す、交流する場が大切なように思います。しっかりがんばって下さい！（男性 50 歳代）

自由意見

- 14 市民が、もっと人権問題に目を向けるようなアピールの仕方を考えないといけないように思います。具体的には言えませんが、私も知らない事だらけです。不勉強で申し訳ありません。
(男性 70 歳以上)
- 15 ポスターやリーフレット等をもっと活用して啓発してください。 (女性 30 歳代)
- 16 もっとわかりやすい啓発活動をすべきです。若い世代の参加を心がけるべきで、何をしているのかが見えにくい。でも住みやすい街だと思っています。 (女性 50 歳代)
- 17 セミナーや勉強会があることを知らなかったのもう少し目に触れるところに表してもらいたいです。 (男性 30 歳代)
- 18 活動内容をもっと PR するべきである。 (男性 70 歳以上)
- 19 “広報かわにし”毎月配られていますので、繰り返し啓発していただきたいと思います。但し、解り易く、大きな字でと望みます。 (女性 70 歳以上)
- 20 倫理教育を小学時代からの実行かと思います。 (男性 70 歳以上)
- 21 未成年者のいじめや体罰による事件が相次ぐ昨今、先生や、その管理者の意識の低さが気になります。今後、小学校、中学校の先生の研修等を出来るだけ行ない、又、名ばかりのカウンセリングでなく、じっくりと児童、生徒に向かいあう機会を持てる様に指導して欲しい。
(女性 50 歳代)
- 22 直接的な人権教育でなくても、小さい時からの指導、全てが基本的な人権教育と言えるのではないのでしょうか。(女性 60 歳代)
- 23 低学年では頭で考える力、高学年では体で考える力をつける教育をして欲しい。人権問題もまた、自分の進む道も自分で決めることの出来る、人成りの人が育つと思う。
(男性 70 歳以上)
- 24 人権問題は少しでも小さな頃から行う方が良いと思います。おとなになってからでは考え方などなかなか変わらないため、素直な心のある子ども時代が良いと思います。
(男性 20 歳代)
- 25 人権教育については、人権ばかりをピックアップするのではなく、義務を果たしてこそその権利であると言うことも、併せて教育すべきです。 (女性 40 歳代)
- 26 人権をことさらに取り上げ、人権問題を解決するのは効果がうすいのではないか。「道徳」や「修身」全般の啓発を行うなかで、「人権問題」というその一部分が啓発されて行くのではないだろうか。 (男性 30 歳代)
- 27 人権について、小、中学校で、時間を取って知る機会や考える機会があったことは今でも良かったと思っています。おとなになってから考えるのは大変なので。現在はインターネットなど、昔とは違う問題も増えているので、まず子どもたちに正しい理解ができるようにしてあげて欲しいです。 (女性 30 歳代)
- 28 障がい者(児)の人が自分の身内だったらとか、不自由さを想像して相手の立場を思い、日々過ごしていく事を意識しながら生きていくと言う事を、教育の現場で植え付けていただけたらと思います。 (女性 50 歳代)
- 29 小中高での学校教育を通して、自分の考えをしっかりと発言できると同時に、他者の考えにも耳を傾け、認め合うよう子どもたちを指導して欲しい。そのためには、指導者側の質の向上が重要ではないかと思う。 (男性 40 歳代)
- 30 小学校教育につける。小学校低学年から毎日テーマを決めて少ない時間で周知させるように卒業までに目標を決めて 1 日 5 分位で、例えばワンフレーズで低学年の時期はここまで、

高学年の時はここまでと目標を計画し 6 年生の時は差別に関することは、全員が差別はよくないことの理解が深まるのではないですか。（男性 60 歳代）

- 31 小学校より道德教育に力をいれていくべきだと思う。（女性 70 歳以上）
- 32 私が子どもの頃は、土曜日も授業がありました。今は、そのような授業も無く、子ども達が学ぶ事もないように思います。近年、SNS による、いじめも多くあり、学校でも使い方の指導などしてほしいと思います。道德の授業で人としてのあり方を学ぶ事も必要だと思いますし、その時間を利用して SNS の利用についても専門の方に来ていただいて学べる場にしてはと思います。（女性 40 歳代）
- 33 最近は権利ばかり主張して、義務をおろそかにしている風潮が強いと感じています。幼少期、学校等での教育が大切なのではないかと思います。（女性 60 歳代）
- 34 特に子ども達の教育現場において、人権教育に力を入れて頂きたい。おとなになってから見識をあらためることは難しいので、小さい頃から身近な問題を取り上げて考えさせ、「和」の心を植えつけることが重要と考える。（女性 40 歳代）
- 35 子どもが小さいため外出の機会が限られ、地域の情報も子育てなど直接関係のあるところしか目にとまりにくいので、小学校や幼稚園で人権に関するお話や読み聞かせなどしてもらって子どもを通じて私たちも知るきっかけ、学ぶきっかけになると思います。
（女性 30 歳代）
- 36 学校での人権学習や道德の時間が少なく内容も分かりづらい。（私が子どもの頃はもう少し内容も濃く、時間も多くあり考える時間はかなりあった）子どもの様子を見ていてもいじめ等は分かるがそれ以外は余り知らないようだ。（女性 40 歳代）
- 37 こんな啓発やアンケートに税金を多額に費やすのではなく、親と学校が子どもが、小さい頃から「お友だちは皆一緒」「ごめんなさい」「ありがとう」「自分がされて嫌なことを人にしてはいけません」をしっかり教育すれば、人権問題はなくなると思います。
（女性 30 歳代）

《人権政策・市政》

- 38 人権問題等を書かれていましたが、市役所の再就職に年齢制限があるのは問題なのではないでしょうか。それこそが年齢差別ではないでしょうか。（女性 70 歳以上）
- 39 市としてどんなことをしているのか。多くの市民の目に届いていないのではないかと。といって税金の無駄遣いをせず、施策の費用対効果をよく考え進めて欲しい。（女性 20 歳代）
- 40 広報かわにしの中で、具体的な学習啓発活動が行われているのか掲載する月があってもよいと思う。仕事柄、人権意識を高め、そのことにどう取り組むのかということをしているため、主旨を理解し、記入したが、その他の方々の意識が、どの程度なのか理解にあわせて、市がこのアンケートをもとに、どう取り組んでいるのかということも、市民に知らせてほしい。市民への説明が不足しているように感じているから。（女性 40 歳代）
- 41 畦野の駅にはエスカレーターやエレベーターがついていますが一の鳥居駅にはプラットホームまで 30 段以上の階段があるのにありません。高齢者は年々増えている。自治会、老人会の役員の人いろいろな運動して下さっているがなかなか改善されないまま年月が流れ、困っています。（女性 70 歳以上）
- 42 地域での不平等をなくす。老人福祉センターのある地域(一の鳥居老人福祉センター、緑台老人福祉センター)と無い地域をなくし、各地域に老人福祉センターを開設してほしい。差別をなくせ！（男性 60 歳代）

- 43 もっと相談しやすい環境をお願いしたいです。（男性 40 歳代）
- 44 時々、市役所の福祉関係の部署があるところを通りますが、相談者の方のプライバシーは全く守られていませんし、相談を受けておられる職員の方の横へいな言動はただ通りすがりの自分でさえ、聞いてられないほどです。社会全体の人権意識向上のために、まず市職員の方に模範となっていたきたいです。啓発のあり方について、中学校の修学旅行にハンセン病回復者の方の療養所などを訪問することを組み入れるのはいかがでしょうか。私自身は高校が非常に人権問題に熱心に取り組んでいたため、意識が高まったと思います。中・高・大学生対象のワークショップなどを市主催でやられてはいかがでしょうか。成人対象では意識の高い人しか参加せず、全体の推進につながらないと思います。（女性 50 歳代）
- 45 これからも人権問題に活発に取り組んでください。学校の授業・会社等限られた年代ではなく、小・中・高・大学生・おとなの年齢、縦割りのミーティングで意見を出すのが必要だと思う。（女性 20 歳代）

《人権課題・同和問題 他》

- 46 同和教育、同和問題を知らない子どもに学校であえて教える必要はない。この事によって逆差別が促進されている面を忘れてはいけないと思います。（男性 30 歳代）
- 47 先日、所用で豊中市役所に出向いたところ、ちょうど「女性に対する暴力をなくす運動」期間中で、紫色のリボンとメッセージをツリーに結んで「暴力はいや」の気持ちを表していました。私も、そのアイディアに賛同したのでツリーにメッセージを結んでみました。最近、配偶者からの暴力、性犯罪、売買春、セクシャルハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力が増加しつつあると感じています。川西市も、特に、“女性に対する暴力をなくす運動”を活発に展開していった頂きたいと感じました。実は私も元夫に DV を受けていましたので、特に、その思いを強くしました。（女性 60 歳代）
- 48 成人した知的・身体障がい者の方が安心してくらしていけるよう願います。（女性 50 歳代）
- 49 特に高齢者が楽しく意見交換ができる場所を考える。団体行動が苦手な方は、呼びかけや定期訪問などでコミュニケーションをとる。いろんなボランティア活動を活発に運営する。（市の補助金等も必要ではないか？）スポーツ教育に力を入れる。（女性 50 歳代）

【感想等】

《人権全般》

- 50 今後「広報かわにし」の人権関係を精読したいと思います。子どもたちの作文では、よく読ませていただいています。終戦後、男女差別、人権問題がこんなに公的に又広く取り上げられ嬉しく思います。が、男女差別も未だ解決には至りません。基本的人権の守られる日本及び世界を 1 日も早く実現出来ます日のために生きていきたいと思います。（女性 70 歳以上）
- 51 人権問題の実感が無い。現状の活動で良いのではと思う。具体的に支障が生じれば、各ムーブメントに参画する様になると思います。（女性 70 歳以上）
- 52 人権は誰もが尊重されるものと理解している人は多いと思います。しかし、差別をされたり、人権侵害を受けた経験がないと身近なものとしてとらえることは出来ないと思います。（女性 40 歳代）
- 53 市民が不平等を感じることなく過ごせる社会をめざし、個人の存在を認め合って生活出来るよう、心がけたいものです。（女性 70 歳以上）

- 54 子どもへの虐待、障がい者への差別、母子、父子家庭や病気の理由による差別などの啓発等の必要性は感じますが、全て義務と権利の問題であり、一人の人間として義務をまじめに果たして生きている人間には、自然と人権も侵害されること無く生を終えていくものであり、人権問題についても、個々の自己責任に任せるべきである。税の分配は公平で、広い視野に立つべきです。現代においては同和地域の人々に対して法的に平等ですし、人々も日常生活において特別問題視していないので、特別扱いをする必要はないと思います。
(男性 70 歳以上)
- 55 鎖国時代以前は、外国から渡来人が住み着いて、技術や学問を伝えていた時代があったのに、単一民族のような思い込みで、人種差別や人権平等に反対の声を上げるのは時代錯誤だと思う。大戦後、せっかく獲得した自由平等の精神に反する考えは逆行だと思う。
(女性 70 歳以上)
- 56 今まで積極的に人権問題を考えたことがなかったので、このアンケートをきっかけに日常考えるようにしたいと思います。(男性 70 歳以上)
- 57 今の時代にこのような人権問題を取り上げるとは思いませんでした。このような事は無い事が当たり前の時代になるべきです。(女性 70 歳以上)
- 58 行動や活動は知られないと無意味に終わる。いかにして、知ってもらうのか常に考え行動していけないと何も変わらない。(女性 70 歳以上)
- 59 現在、自分自身が働いている中で、人権ということに、日本で普通に生きている中で、問題意識を持っていない。子どもが小学生のころ、不登校になった時ぐらしか問題を身近に感じていませんでした。他の人のことまで感じていないのが問題かと思いますが。
(男性 60 歳代)
- 60 義務を果たさずに権利ばかりを要求する人が多い。少し甘やかし過ぎるとむちゃになる。少しは奉仕の心を持ちたいと思う。(女性 70 歳以上)
- 61 家族という社会の基本単位を解体するかのような思想には反対です。女性の社会進出には賛成ですが、家庭の主婦として、子どもを守り育てる選択も尊重され、守られるべきです。このようなアンケートをとって頂けることは良いことと思います。ありがとうございました。
(男性 40 歳代)
- 62 まず家族が仲良くすること。それから、近所同志も仲良くすること。そして、地域も1つになって仲よくすること。国中、世界中が仲良くなれるのだと思います。いちばん小さな共同体の家族が仲よく、すべての始まりだと私は思っています。皆が仲よくなれば人権問題は解決すると思います。(女性 60 歳代)
- 63 一人ひとりが、もう少し他人に対する思いやりを自覚しなければならない。隣人の嫌がらせ、ご近所トラブルが多すぎる。私もできたら引っ越したいです。嫌がらせが多すぎてうんざりしています。(女性 50 歳代)
- 64 ハンセン病の人(岡山長島の愛生園)や HIV の人や部落の人という方々と関わり合いましたが、皆良い人たちばかりで、わざわざ人権うんぬんという方がおかしいと思う。
(女性 60 歳代)
- 65 すべての人が差別無く、平和に暮らせる事が何よりであるが、現実には差別はなくなる。永遠のテーマのように思います。(男性 70 歳以上)
- 66 こういうアンケートは無作為に選ばれますが、これではなんの結果も得られないと思います。なぜなら関係ないというのがほとんどです。もっと深く直接対話することだと思います。親から語り継がれるというのは一番恐ろしいことだと思います。(女性 50 歳代)
- 67 アンケートに答えてみて、「人権」は自分とは余り関係のないことと感じているということに気づかされた。自分が思っていたよりも人権問題の幅が広いと思った。(女性 20 歳代)

- 68 「差別をなくそう」という取り組みの中で、今まで知らなかった差別の実体を知る事がよくあります。それは、良いことなのでしょう？知らなければ何も感じず、何も考えなく通常であった事が知られることで、通常ではなくなる事もあります。若い世代は、何も知らないのではないのでしょうか？何も知らなければ、一生知らずに過ごす者もいるのではないのでしょうか。少し疑問です。（男性 30 歳代）

《同和問題》

- 70 本当かどうかはわからないが、同和地区の人は、公的援助を必要以上に不当に受けているというのを耳にしたことがある。それも差別の気持ちがあるからそんな言葉が出るのかも知れないが、なんとなく不透明なところもあると思う。小学校などで勉強した同和問題は昔の話を学んで、現在がどうであるかということは少ししか知らない。（女性 40 歳代）
- 71 同和問題を含め逆に言いがかりをつけ逆差別、逆転の人権問題が発生している気がする。現在の韓国や中国が反日運動をしているのと変わらない気がする。（男性 40 歳代）
- 72 同和問題は、過ぎ去った過去の問題だと感じている。人権問題と言っても現在どんな問題があるのか承知しない。我が国は人権が尊重されている良い国だと思う。解決しなければならない問題があるのかどうか。（男性 70 歳以上）
- 73 同和問題にお金を使いすぎ！（建物すべて含む）税金をもっと有効に使ってほしい！35 年程住んでいるが、図書館、病院などもっと便利な所に！（男性 40 歳代）
- 74 同和地区在住者が税制の優遇を受けている話を聞きました。本当なら逆に大問題で、人権問題は解決しないと思います。（男性 60 歳代）
- 75 同和地区とか、ほとんど風化しています。また、掘り返すことがよくないと思います。このアンケートもそのひとつです。（女性 30 歳代）
- 76 同和地区って川西にあるのですか。（女性 40 歳代）
- 77 同和地区の人間になりたいと思ったことはある。市営住宅が安い。働かなくても文句を言っていれば食べられること。（女性 70 歳以上）
- 78 同和問題については、小学校の道徳で知りました。それまで子どもは何も知らないのに、なぜわざわざ教えるのかと思いました。実際に差別はしないが、その後は意識してしまうようになりました。何も知らない子に目くじら立ててダメなんだと教えるから、何か気づいた子は、余計におもしろがったりするのではないのでしょうか。（女性 40 歳代）
- 79 東京に育ち同和問題について勉強をしませんでした。良く知らなかったです。川西に居住し、はじめて知った事で驚く事ばかりでした。私みたいな人もいないのではないのでしょうか。子どもが中学生～高校生の時は一緒に遊んでいたような気がします。（女性 70 歳以上）
- 80 中学校勤務の中で今まで地域のある学校へも勤務しそれなりの取り組みをしてきました。そんな中すごく苦勞をされてがんばっておられるといつも思っております。理屈ではすっともっていけないもどかしさがあると思います。何が出来るかは無いのですが応援しております。（男性 50 歳代）
- 81 川西市は私の知る限りでは、他の市町より同和地区が広いように思います。それだけに関係各位には他市町以上に人権問題にご留意取り組まれているのが理解できます。（男性 70 歳以上）
- 82 川西市に、30 年以上暮らしているが、人権教育に関する団体、委員会、運動など一切知らなかった。（本当に）川西市に 30 年以上暮らしているが、日本一良い町で…同和問題に関

して一切不都合を感じたことはないです。今でも、川西市に同和問題など存在するのですか？（女性 60 歳代）

83 昔は同和問題がありましたが、平成になり、なくなっていると思います。（女性 70 歳以上）

84 昔からの同和問題は、すぐに解決できることでは無い。川西市は同和問題に関して細かく取り組んでいるが、他市に比べて神経質になりすぎているように感じます。川西にそういう方たちが多いからかも知れませんが…。（女性 40 歳代）

85 人権問題、同和問題という言葉は、なまじっか無い方が良い。そっとしておけば自然となる問題と感じる。人権問題とか同和問題とかいう言葉は何？と若い世代から聞かれても正しく答えられる人がどれほどいるのか疑問に思う。（男性 70 歳以上）

86 私は川西に住んで 40 年以上になりますが、子どもが小学校へ行き川西市にも同和地区がある事を学んできて何も知らない私に教えてくれました。私たちの住んでいた愛媛県は近くに同和地区はありましたが、両親も同和地区の方と親しくしていました。教育によって差別されている事を知りました。あまり同和地区だと言って教育しない方が 50 年後 100 年後には自然に差別が無くなると思います。（女性 70 歳以上）

87 私はある市の保育所でアルバイトを 10 年ほど前にしていました。それまで 20 年間特に同和問題について特に深く感じることはなかったのですが、同和地区にある保育所に異動が決まり、知り合いの保育士に雰囲気は特殊だよと言われ、ときどきしながら初日を迎えたのを今でも覚えています。確かに子どもが少ない割に職員がいっぱいで、親からのクレームも多く先生方も疲れていました。子どもたちがケガをしないように必要以上に声をかけたり、私から見ても異常でした。地域に広げている保育所ではなかったため、狭い世界も感じました。入所している子の親も逆に地域に開放してほしいとのことで、理由は布団や制服、弁当を無償で支給されるという優遇があるからだそうです。そうすると、どう解決していけばいいかわかりません。私はずっと疑問を持ち続けていました。歩み寄れるように話を聞いていかなければならないでしょうが、難しい問題です。（女性 30 歳代）

88 私としては人権が守られていると思っている。同和問題はすでに過去のことになっているのでは。（男性 70 歳以上）

89 私が生まれ育つ過程で、あまり人権の事について気が付かずにいられた事は、幸せだったと思います。幼い頃から、辛い目にあって、苦労をされた方々の本を読んで、初めて同和問題を知りました。皆、同じ人間として、平等ですが、性格や顔や頭の良し悪しは十人十色で、家が金持ちか貧乏かで、子どもの育て方も違ってきます。人は、生まれた時から不平等です。（女性 60 歳代）

90 私は昭和 17 年大阪市内から久代へ家族で疎開して以来川西市で暮らしています。当時、川西小学校に転校、同和地区の事、いろいろ聞かされました。30 年前多田に引越しましたが、私のふる郷川西はすてきなところです。子どもたちは手元を離れましたが、いつ帰ってきて川西は最高と言っています。（女性 70 歳以上）

91 高校生の頃、同和地区の人に「私らが同和の人間やからばかにしてるのか。」と怒鳴られた事があります。それまでは同和の人というだけで差別してはいけないと考えていましたが、同和地区に住む人たちがそれを笠に着て人を恫喝するのであれば、同和地区の人とは関わらない方が良く考えるようになりました。なので、啓発すべきは同和地区に住む人達自身だと考えます。（女性 30 歳代）

92 だいぶ前から人権問題(同和)は全々聞かないのに同和地区の人たちに色々優遇しすぎでまるで逆差別されているみたい。（女性 60 歳代）

93 このようなアンケートなどで同和地区があることを、川西市が問題として取り上げていることこそが問題。よくは分かりませんが、税金などの優遇があったりする（他の地域で聞きます）のでは、いつまでたっても消えないことだと思います。すべての地域で何も言われなくなることを願います。（女性 50 歳代）

自由意見

- 94 20代で、小学校の時に同和問題の教育を受けましたが、市内にそのような地区があるとは最近まで知りませんでした。若い世代はそのような事は気にしないと思うし、そっとしておけば良いのではと思います。（女性 20歳代）
- 95 10才の頃、大阪府に引っ越して来て、初めて同和という言葉、意味を知った。子どもの頃は知らなければ知らない方が差別しないで生活できると思っていたが、おとなになれば、知識があって良かったと思う事もある。正直、同和地区が校区内にないのに何故学んでいるか理解できなかったし、いやな授業だった。しょっちゅうあった気がする。子どもには、知識として知っておいてほしいが、小学生の間はひんばんに授業がなくても良いと思う。大阪府の小学校は、勉強は学習塾まかせで、人権問題、戦争等の授業ばかりに力が入っていた、と子どもながらに思っていた。兵庫県はそうでないと期待しています。（女性 30歳代）
- 96 「同和問題」という言葉をいまだに使うことが問題だと思います。（男性 20歳代）

《外国人・子ども・女性・他》

- 97 時代に逆行するかもしれませんが、日本の若者の仕事がない時に外国人に仕事を提供するのはどうか？と思います。まあ、日本人の若い人も甘い点があると思いますが……。 （女性 50歳代）
- 98 私事ですが…私が受けている事がDVだと認識したのは「広報かわにし」の男女共同参画特集(H24.4月)でした。DV＝殴ると思っていた私は、暴言や威嚇、無視などは当てはまらないと思っていたのです。涙が出ました。その後、それがモラルハラスメントであるという事も知りました。広報誌をきっかけに「私はどうすればいいか、どうしたいのか」を考えるようになりました。一番辛く苦しい当事者が、考える事をやめてしまわないように、様々な事をあきらめてしまわないように、これからもお願いいたします。（女性 40歳代）
- 99 私は世の中の男女平等のあり方に、少々疑問に思っている事があります。それと言うのも、男女平等と言うのは性別による平等ではなく、能力による平等を目指すべきだと思います。能力主義による、競争社会こそ本来あるべき姿であり、もしそれで女性の雇用が減るような事があっても、仕方がないことだと思う。（男性 20歳代）
- 100 子どもの教育関連事業に対する費用（市費）の削減はやめて欲しいです。（男性 20歳代）
- 101 外国人の地方参政権は与えるべきではない。（男性 30歳代）
- 102 外国人でも日本で生まれ、日本で教育を受けた人には選挙権を与えて欲しいです。（女性 70歳以上）

《人権政策・市政》

- 103 他の市より、かなり活発に活動している様に思います。（女性 70歳以上）
- 104 全てに対して川西市は遅れていると引越してきて日々痛感しています。（女性 40歳代）
- 105 人権を盾に各家庭の教育に介入するのは、どうかと思う。男らしく、女らしく育っても、育たなくても、人間らしく、どれだけ生きる事ができるかが大切のはず。いじめも重大な人権侵害だが、単純に「人権」、「人権」と言っても、県立高校の件を見ても分かる通り、川西市の人権教育の効果は余りないように見える。加害者に相応の罰を下す事も時には重要である。「差別」と「区別」の違いを、行政の人、学校関係者は分かっていない人が本当に多い！（男性 20歳代）
- 106 授業妨害する生徒を教室から隔離する事は、当然の事で、それを問題視するオンブズパーソン

ンの活動は間違っていると思う。まじめに授業を受けたい子どもへの権利をどう考えているのか？（男性 40 歳代）

- 107 私自身は母子家庭に関する差別、身体障がい者に対する差別に関わっていますが、良い手立てをしてくださっているのでしょうか？（女性 40 歳代）
- 108 広報かわにしに今まで目を通した事はありませんでしたが、このアンケートを機会に見たいと思います。（男性 50 歳代）
- 109 広報かわにしの人権問題特集は次回から読みたいと思います。（女性 60 歳代）
- 110 教育委員会の事なかれ体質を改革してほしい。（男性 60 歳代）
- 111 特にありませんし期待していません。自己の人権が侵害されたと感じたら自分自身で解決するしかありませんので。行政に期待していません。（男性 50 歳代）
- 112 どうしても困った生活的な相談事など出来る窓口というか(所)があれば(気軽に)利用させてほしい。(もう高齢だしあきらめている部分もあり、悩みごとがあってももうしないと思うが……、40 代、50 代等の人は必要かもと思います。)(女性 70 歳以上)
- 113 政治家、議員、行政のある上の立場にある方の意識改革が必要な様な気がします。「これは決まりですから」とか、「もう決まった事ですので……」とか多すぎる様に思えます。
(男性 50 歳代)
- 114 この分厚い調査票にどれだけの人が答えたのでしょうか。お役所のやりそうなことだなあといいながら記入しました。こんなことにお金と手間をかけるくらいなら、もっと目に見える活動をしたらどうですか。例えばいじめはいじめている人を出席停止にするべきですよ！そういう発想はないのですか。（女性 50 歳代）
- 115 色々やって下さっているの、これからは気をつけて（広報かわにし）読みます。
(女性 70 歳以上)
- 116 25 年川西市に住んでいるが、あまり人権に関する活動内容を知らない。興味があるのでもっと、知りたいと思った。人権について市民がより深く考えるべきである。生活の中で、もっと人権についてふれる場があっても良いと思う。（女性 20 歳代）
- 117 子どもの権利問題を利用して、自分達が正義を行っていると思い込んで、自己満足しているだけの「子どもの権利オンブズパーソン」は百害あって一理なしである。学校でもっと、拉致問題の教育をするように指導してほしい。人権も大切だが、道徳教育をもっとしっかりさせてほしい。（男性 30 歳代）
- 118 「人権とは人間の権利を認めること」ばかりを設問として、列挙しているが、権利を認めることだけが先行すれば、社会は崩壊する。人間としての義務とバランスよく両立していく事が大事だ。このような偏った設問ばかりして、その結果に基づいて「まちづくり」をするのは絶対やめてほしい。（男性 50 歳代）
- 119 「人権～」と余り大げさに騒ぎ立てずに、それに使った費用(例 上り、旗、チラシ等)を本当に困っている人に廻されたら如何。人権尊重は、周りや他人から言われるものではなく、その人の人格であると思います。（女性 70 歳以上）
- 120 社会人になり、26 年の転勤族で、神戸市、名古屋市、横浜市、千葉市と転々として来ましたが、この様な人権問題の意識調査は始めてで驚いています。意識の高さを感じました。
(男性 40 歳代)
- 121 私の方が差別を受けていると思う。大体こんなことをアンケートにするのはおかしいと思います。（男性 70 歳以上）

自由意見

- 122 広報誌の種類が多過ぎる。宅配されても読む気がしない程が多い。絶対に伝えたい事項とか警報等一見して判読出来る様にして欲しい。量も減らすべき！（男性 70 歳以上）

【その他】

- 123 中学校の先生に、ある子どもが虐待を受け、今、不登校になっています。何か対策をとってください。よろしくお願いします。（女性 30 歳代）
- 124 母子家庭で子どもは成人、50 才代で焼肉店経営。しかし、母親は、市営住宅に入居、その上、生活補助を受けて優雅な生活、うらやましい。（男性 70 歳以上）
- 125 長年喘息で苦しんで仕事もまともに出来なくなり、このまま 50 歳を迎えてまともに生きていけるのか、毎日が不安です。呼吸器系の病気は死ぬほど辛いのに支援制度がないのが不思議です。中高年で重度の喘息をもっている人たちは、発作が出ると一週間は仕事も日常生活もまともにできないと思います。子どもの頃、韓国人の喘息の子が国から保護を受け補助金や市営住宅にもすぐ決まり、いい生活をして腹が立ったことがありました。
(男性 40 歳代)
- 126 本当に金銭的に余裕の無い方や、何の根拠も無いのに誹謗中傷されている方に対しては、しっかりとサポートして頂きたいが、母子家庭をいい事に、3 年以上同棲生活をしている家庭に、税金から母子扶養手当を与え続けることに納得いかない。（女性 30 歳代）
- 127 先の見えない毎日、命ある限り、生きるだけです。私を選んで頂いてありがとうございます。（女性 70 歳以上）
- 128 このアンケートが少しでも、人権や川西市民のお役にたてれば嬉しいです。また、アンケート集計(統計)結果を楽しみにしています。（女性 20 歳代）

IV 調査結果から（考察）

今回の「人権問題に関する市民意識調査」は、多岐にわたる質問項目からなり、その結果からは、さまざまな特徴がみられました。そのなかでも大きな特徴として、以下の3点をあげることができます。

変化してきた人権意識のありよう

第1に、市民の人権意識の高まりがうかがわれる項目が多くみられた一方で、依然として市民の理解が深まっていない項目も少なくなかったという点があげられます。すなわち、ある項目群だけをみるなら、市民の人権意識は高いものの、別の項目になると、そうではないというように、市民の人権意識の高まりがさまざまな人権課題にくまなく及んでいるわけではないということです。

たとえば、問9をみると、人権にかかわる事柄に対して、それを人権侵害であるとみる回答（「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」の計）は、「ア ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること」（82.1%）、「カ 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと」（92.4%）、「キ HIV 感染を理由に、職場を解雇されること」（89.5%）、「ク 警察での容疑者への取り調べが映像などで記録されず、密室で行われること」（87.5%）、「ケ 地域住民が障がい者の通所施設やグループホームなどの開設に反対すること」（85.7%）で、その割合がいずれも80%を超えています。しかし、「イ 住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、同和地区を避けること」「ウ 日本で暮らす外国人の地方参政権を認めていないこと」「エ 結婚する際に、相手の身元調査を行うこと」「コ 野宿生活者になるのは、本人の責任が大きいとすること」「サ 経済的に余裕がある子どもがいることを理由にその親が生活保護を受けていることを非難すること」では、「問題あり」の回答がそれぞれ20%を下回っています。「職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと」を人権侵害とみなす市民が9割もいる一方で、「結婚する際に、相手の身元調査を行うこと」を問題ないとする市民が48.2%もいるのです（「問題なし」と「どちらかといえば問題なし」の計）。

問10でも、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくても、どちらでもよい」という多様な個人の生き方を尊重するという意見や「サ どんなことがあっても、夫が妻に暴力をふるうことは問題だ」という、女性に対する一切の暴力を認めないという見方が多数を占めていますが、「エ 子どもが3歳くらいまでは、母親の手で育てるべきだ」では、これを肯定する回答が依然として多く、「コ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ」という意見を否定する回答も多いです。

また、学校における教師による体罰や、家庭における子ども虐待が社会問題となり、社会的関心が高まっていますが、それでも問11では、「ウ 教師が子どもを指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ」と思う人が43.4%、「エ 保護者が子どものしつけのために、体罰を加えるのは、しかたがない」と思う人が49.2%もいるのです（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）。

このように、項目によって市民の人権意識のありように大きな差がみられます。今後は、これまでの広く多様な人権問題を扱った人権啓発を進めていくとともに、テーマを絞った重点的な人権啓発にも力を入れていく必要があるといえます。

若い年齢層の人権意識の変化

2 点目の特徴として、若い年齢層の回答に変化がみられるようになったということです。これまでの市民人権意識調査では、年齢が若くなるほど、人権意識（人権にかかわる事柄に対する理解など）が高くなるという傾向がみられました。今回の調査でも、問 10 の「イ 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない」という意見に対して、「そう思う」という、夫婦の多様な生き方を尊重する回答は、70 歳以上の 27.1%から年齢が若くなるにしたがって、その割合は高くなり、20 歳代では 62.9%になっているなど、年齢が若くなるほど、人権意識が高くなるという傾向がみとめられる質問項目も少なくはなかったのですが、そうではないケースが目立ってきたのです。

たとえば、問 8 の「ア 家を建てる時や買う時には、家相や方角なども考慮すべきだ」では、20 歳代の「そう思う」という回答の割合が 27.1%と、60 歳代や 70 歳以上のそれを上回り、年齢層別でもっとも高くなっています。また、問 9 の「ア ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること」を「問題あり」とみる回答は、50 歳代で 63.9%と、もっとも高く、20 歳代は 52.9%で、50 歳代のそれを 11 ポイントも下回っています。「イ 住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、同和地区を避けること」でも、それを「問題あり」とみる回答は、50 歳代がもっとも高く、20 歳代、30 歳代では、やや低くなっています。同じことは、「オ インターネット上に同和地区名の一覧表が掲示されること」や「カ 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと」「キ HIV 感染を理由に、職場を解雇されること」「ケ 地域住民が障がい者の通所施設やグループホームなどの開設に反対すること」「シ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易には決まらないこと」でもみられます。

このように、かつては若い人ほど人権問題に対する理解が高いという傾向が明確にみられましたが、今回の調査結果では、50 歳代の人権意識のありように比べて、20 歳代、30 歳代のそれが高くないという点が目立ってきたのです。人権教育の充実とともに、若い年齢層を対象とした人権啓発を進めていく必要があるでしょう。

人権教育・人権啓発の成果

第 3 に、今回の調査結果からは、人権教育や人権啓発の成果がはっきりとした形では認められなかった点があげられます。

高校までに人権教育を受けた経験があるという人とないという人を比較すると、たしかにその経験があるという人のほうが人権意識が高いという結果も質問項目によってはみられましたが、問 9 の「サ 経済的に余裕がある子どもがいることを理由にその親が生活保護を受けていることを非難すること」を「問題あり」としたのは、人権教育を受けた経験がある人が 15.8%と、その経験がない人の 20.0%を下回っているなど、逆転しているケースや、人権教育の経験の有無による違いがほとんどみられない質問項目がいくつもありました。

また、今回の調査では、同和問題に関する差別的な発言を聞いた時にどう感じたのかという質問項目を設けました（問 5）。その結果を人権教育を受けた経験の有無別にみると、人権教育を受けたという人のほうが差別的な発言を「そのとおりと思った」という回答が多く、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」と「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」という回答が少なかったです。また、親類から同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の態度（問 6）では、人権教育を受けた経験のある人のほうが「ど

う言えばよいのかわからない」という回答が多く、その割合は教育の経験がない人のそれを12ポイントも上回っています。そして、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」や「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」という回答の割合は、教育の経験のない人とほとんど変わりません。

このように、今回の調査結果からは、人権教育や人権啓発の効果が明確なかたちで確認できなかった項目が目立ちました。今回の調査では、日本国憲法に明記されている国民の権利についての質問項目を設けました（問3）。この回答内容から、国民の権利を正しく理解している人、一部しか正答できなかった人、すべて誤答した人に分けてクロス集計した表をみると、多くの項目で憲法での国民の権利を正しく理解している人ほど人権意識が高いという結果が出ました。人権意識が高い人が憲法の国民の権利を正しく理解しているということなのですが、日本国憲法に関する教育や啓発に力を入れることが市民の人権意識の向上にもつながることを示唆する結果ともいえます。

これまで行ってきた人権教育・人権啓発を点検し、より効果的な人権教育・人権啓発の手法について考える必要があるということを今回の調査結果は示しているといえるでしょう。

川西市人権施策審議会会長・関西大学社会学部教授

石元 清英

人権問題に関する市民意識調査

ご協力のお願い

皆さまには、日ごろから市政の推進にご協力いただきありがとうございます。
 うございます。

さて、本市では、市民一人ひとりの人権が尊重され人権文化が
 息づくまちづくりをめざし、平成 17 (2005) 年に策定しました「川
 西市人権行政推進プラン」【(平成 22 (2010) 年改定) に基づき、
 さまざまな取り組みをすすめています。

今回の調査は、平成 26 (2014) 年度にこのプランの見直しをは
 かるにあたり、市民の皆さまのお考えをお聞かせいただき、改定
 のための基礎資料とさせていただくためのものです。今回ご協力
 いただきますのは、無作為に選ばれました満 20 歳以上の市民
 2,000 人です。

なお、この調査票に記入された内容に関しましては、統計的に
 処理し、分析の目的のみに利用するもので、この目的以外に使用
 したり、皆さまにご迷惑をおかけするようなことは決してありま
 せん。

なにとぞ、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきます
 ようお願い申し上げます。



平成 25 (2013) 年 11 月

川西市長 大塩 民生

【ご記入のうえでのお願い】

- ◆お答えは、このアンケートのあて名の方ご本人にお願いします。
 なお、記入にあたっては、ご家族、ご友人の方などに代筆していただい
 てもけっこうです。
- ◆調査票は、11 月 29 日 (金) までに、同封の返信用封筒に入れてご返
 送ください。切手は不要です。
- ◆11 月 21 日に、「ご返送のお願い」のハガキを対象者全員に発送します。こ
 れは、できる限り多くの方のご意見をお伺いしたいとの考えからです。無
 記名のアンケートのため、すでにご返送いただいている方にも送らせてい
 いただきますので、ご了承ください。

○お問い合わせ先 川西市 人権推進課 TEL 072-740-1150

問1 あなたは、「人権」ということを、どの程度身近に感じられますか。あなたの気持ちに最も近いものを一つ選んでください。(○は1つ)

1. 非常に身近に感じている
2. どちらかといえば身近に感じている
3. どちらかといえば身近には感じていない
4. まったく身近には感じていない

問2 あなたは、小学校から高校の間に、差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。

1. ある 2. ない 、【問3へ】

問2-(1) 問2で「1.ある」と回答された方にお聞きします。その教育をどの程度受けましたか。最も多く受けた時期について、お答えください。(○は1つ)

1. ほぼ毎週 2. 月に1~2回 3. 年に数回 4. 覚えていない

問2-(2) どのような内容を教わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性の人権問題
2. 高齢者の人権問題
3. 障がいのある人の人権問題
4. 同和問題
5. 子どもの人権問題
6. 子どもの権利条約
7. 日本で暮らす外国人の人権問題
8. HIV（エイズウィルス）感染者の人権問題
9. ハンセン病回復者（元患者）※の人権問題
10. アイヌの人々の人権問題
11. 犯罪被害者とその家族の人権問題
12. 刑を終えて出所した人の人権問題
13. ホームレスの人に関する人権問題
14. インターネットと人権
15. セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の人権問題
16. 戦争と人権
17. その他（具体的に： _____）
18. おぼえていない

※ハンセン病回復者(元患者)

ハンセン病は、慢性の感染症で決して隔離療養する必要のない病気ですが、日本では、平成8（1996）年までハンセン病にかかった患者を隔離するよう規定した法律がありました。それにより、患者は長い間、療養所で生活を送らざるを得ず、著しく人権を侵害されてきました。現在の日本ではハンセン病にかかる人はほとんどおらず、ハンセン病回復者と呼ぶことが一般的となっています。また、回復者をハンセン病元患者と呼ぶこともあります。

調査票

問3 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 思っていることを世間に発表する | 2. 税金を納める |
| 3. 目上の人に従う | 4. 道路の右側を歩く |
| 5. 人間らしい暮らしをする | 6. 労働組合をつくる |
| 7. 憲法に何が定められているかわからない | |

問4 日常生活のなかで、あなたは過去5年くらいの間に、自分の人権が侵害されたと思われたことがありますか。

- | | |
|-------|---------------|
| 1. ある | 2. ない → 【問5へ】 |
|-------|---------------|

問4-(1) 問4で「1ある」と回答された方にお聞きします。どのような人権侵害でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. あらぬ噂（うわさ）や悪口により、名誉・信用等を侵害された |
| 2. 警察官等の公務員から不当な扱いをうけた |
| 3. 地域で暴力、無理強い、仲間はずれなどをうけた |
| 4. 配偶者やパートナーから暴力（ドメスティック・バイオレンス）をうけた |
| 5. 職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）をうけた |
| 6. プライバシーを侵害された |
| 7. 差別待遇（信条・性別・社会的身分等により不平等または不利益な扱い）をうけた |
| 8. 性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）をうけた |
| 9. 学校でいじめをうけた |
| 10. インターネット（SNS※を含む）による中傷 ^{ちゅうしょう} ・いじめなどをうけた |
| 11. その他（具体的に：_____） |
| 12. おぼえていない |

※SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことを言います。

問4-(2) 問4で「1. ある」と回答された方にお聞きします。人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 友だち、同僚などに相談した | 2. 家族、親せきに相談した |
| 3. 警察に相談した | 4. 弁護士に相談した |
| 5. 県や市町村に相談した | 6. 法務局や人権擁護委員などに相談した |
| 7. 民間団体等に相談した | 8. 地域の民生・児童委員などに相談した |
| 9. 新聞などマスコミに訴えた | 10. 自分で相手に抗議した |
| 11. その他(具体的に: _____) | |
| 12. 特に何もしなかった | |
| 13. おぼえていない | |

問5 あなたは、これまでの同和問題に関して、つぎのような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。(○は1つ)

1. 同和地区の人(子ども)とは、付き合っては(遊んでは)いけない
2. 同和地区の人とは、結婚してはいけない
3. 同和地区の人はこわい
4. 同和地区の人は無理難題を言う
5. 同和地区は治安が悪い
6. 住宅を購入する際は、同和地区内の物件を避けた方がいい
7. 聞いたことはない → 【問6へ】

問5-(1) 問5で「1.～6.」のいずれかに回答された方にお聞きします。それは誰から聞きましたか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|---------|----------|
| 1. 家族 | 2. 親族 | 3. 近所の人 |
| 4. 友人 | 5. 職場の人 | 6. 知らない人 |
| 7. その他(具体的に: _____) | | |

問5-(2) それはいつごろのことですか。(○は1つ)(その時のあなたの年齢を記入)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. ここ1年ほどのこと | 2. 5年以内のこと | 3. 10年以内のこと |
| 4. 10年以上前のこと | 5. よくおぼえていない | |

「自分が()歳のとき

問5-(3) それを聞いたとき、どう感じましたか。また、どうしましたか。(○は1つ)

1. そのとおりと思った
2. そういう見方もあるのかと思った
3. 反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった
4. 反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた
5. とくに何も思わなかった

問6 あなたの親類が結婚したいと思っている相手が同和地区の人で、そのことを理由に家族から結婚を反対されていることについて、あなたが相談を受けた場合、あなたならどのような態度をとると思いますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1. 反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う
2. 迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う
3. 慎重に考えたほうがよいと言う
4. あきらめるように言う
5. どう言えばよいかわからない
6. その他(具体的に: _____)

問7 日本の社会での人権や同和問題について、次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～エのそれぞれについて、最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
ア 今の日本は、人権が尊重されている社会である	1	2	3	4
イ 国民一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている	1	2	3	4
ウ 同和問題は、人権にかかわる問題だから、社会全体で解決に取り組み、自分も努力すべきだ	1	2	3	4
エ 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ	1	2	3	4

問8 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～オのそれぞれについて最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 家を建てる時や買う時には、家相や方角なども考慮すべきだ	1	2	3	4
イ めでたいことは、やはり「大安」の日に行うべきだ	1	2	3	4
ウ 伝統なのだから、女性は大相撲の土俵に上がるべきでない	1	2	3	4
エ 星占いは、生活上の参考になる	1	2	3	4
オ 血液型で人の性格がだいたいわかる	1	2	3	4



問9 次のような事柄について、あなたはどの程度問題があると思いますか。ア～スのそれぞれについて最も近いものを選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし
ア ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること	1	2	3	4
イ 住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、同和地区を避けること	1	2	3	4
ウ 日本で暮らす外国人の地方参政権を認めていないこと	1	2	3	4
エ 結婚する際に、相手の身元調査を行うこと	1	2	3	4
オ インターネット上に同和地区名の一覧表（部落 ちめいそうかん 地名総鑑）が掲示されること	1	2	3	4
カ 職場で支持政党を根拠に昇進・昇給させないこと	1	2	3	4
キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、職場を解雇されること	1	2	3	4
ク 警察での容疑者への取り調べが映像などで記録されず、密室で行われること	1	2	3	4
ケ 地域住民が障がい者の通所施設やグループホーム※などの開設に反対すること	1	2	3	4
コ 野宿生活者（ホームレス）になるのは、本人の責任が大きいとすること	1	2	3	4
サ 経済的に余裕のある子どもがいることを理由にその親が生活保護を受けていることを非難すること	1	2	3	4
シ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易には決まらないこと	1	2	3	4
ス 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること	1	2	3	4

※グループホーム……病気や障がいなどで生活に困難を抱えた人たちが、専門スタッフ等の援助を受けながら、一般の住宅で生活する社会的介護の形態のこと。

問 10 次のような日常生活に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～サのそれぞれについて最も近いものを選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4
イ 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4
ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ	1	2	3	4
エ 子どもが3歳くらいまでは、母親の手で育てるべきだ	1	2	3	4
オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきである	1	2	3	4
キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ	1	2	3	4
ク 性的な被害を受けた女性に対して、周囲の人たちが「夜遅くに外出した」「スキがあった」などと非難することも仕方がない	1	2	3	4
ケ 夫婦の姓は夫の姓を名乗るほうがよい	1	2	3	4
コ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ	1	2	3	4
サ どんなことがあっても、夫が妻に暴力をふるうことは問題だ	1	2	3	4

問 11 次のような子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～クのそれぞれについて最も近いものを選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある	1	2	3	4
イ ちゃくしゅつし こんいん 嫡出子 (婚姻関係にある男女の間に生まれた子) ひちゃくしゅつし 非嫡出子 (婚姻関係にない男女の間に生まれた子) とでは法律上の扱いが異なるのは当然だ	1	2	3	4
ウ 教師が子どもを指導するために、ときには体罰を加えることも必要だ	1	2	3	4
エ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えるのは、しかたがない	1	2	3	4
オ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記メールなどを勝手に見ないほうがよい	1	2	3	4
カ 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない	1	2	3	4
キ 児童ポルノを制作することは、児童虐待にあたる	1	2	3	4
ク 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ	1	2	3	4

問12 次のような高齢者や障がい者、外国人に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～クのそれぞれについて最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
ア 介護を受ける高齢者が、あまりあれこれ自己主張するのはよくない	1	2	3	4
イ 一人暮らしの高齢者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否することは問題だ	1	2	3	4
ウ 高齢者の就職が困難であったり、高齢者の労働条件が低くなるのは、やむを得ない	1	2	3	4
エ 障がい者であることを理由に、マンションなど入居を拒否することは問題だ	1	2	3	4
オ 障がい者が結婚したり、子どもを産み育てることに周囲が反対するのは、やむを得ない	1	2	3	4
カ 景気の悪化が理由とはいえ、外国人労働者から解雇することは問題だ	1	2	3	4
キ 日本人がしがらない仕事を外国人に押しつけるのは良くない	1	2	3	4
ク 外国人労働者が増えると、治安や風紀などが悪くなる	1	2	3	4

問13 「広報かわにし」は毎月発行していますが、その中の人権啓発シリーズ「生きる」というコラムをあなたはお読みですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. くわしく読んでいる | 2. 大体目を通して |
| 3. 読んだことがない | 4. 配られてこない |

問14 「広報かわにし」の中で、年間2回の「人権問題特集」、年間1回「男女共同参画特集」を発行していますが、あなたはお読みですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. くわしく読んでいる | 2. 大体目を通して |
| 3. 読んだことがない | 4. 配られてこない |



問 15 川西市では人権問題の解決のため、市民が主体となった学習啓発活動が取り組まれています。次の団体・組織など、どの程度知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

	概ね知っている	活動内容も含めて知っている	名称程度は知っている	知らない
ア 川西市人権教育協議会	1	2	3	
イ 小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会	1	2	3	
ウ 人権啓発サポーター会	1	2	3	

問 16 さまざまな人権問題に関する市民の理解を深めるため、市（教育委員会）や団体などが主催している講演会、研修会などに、あなたは参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 何回か参加した 2. 1～2回は参加した 3. 参加したことがない

↓
【問 17 へ】

問 16-(1) 問 16 で「1. 何回か参加した」「2. 1～2回は参加した」と回答された方にお聞きします。それはどういう種類のものでしたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市（教育委員会を含む）が主催した講演会や研修会
2. 公民館での講座や学級
3. 川西市人権教育協議会が主催した講演会、研修会
4. 小学校区やコミュニティの人権啓発推進委員会が主催した講演会や研修会
5. PTAや学校などでの講演会や研修会
6. 自治会が主催した講演会や研修会
7. そのほかの市民団体が主催した講演会や研修会
8. その他（具体的に：_____）
9. おぼえていない

問 17 あなたは、職場で実施されている人権問題の研修に参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 何回か参加した | 2. 1～2回は参加した |
| 3. 参加したことはない | 4. 職場での「人権研修」は行われていない |
| 5. 職場はない（無職） | |

「人権問題に関する市民意識調査・調査結果報告書」

【発行】 川西市市民生活部 人権推進室 人権推進課
兵庫県川西市中央町 12-1 ☎072-740-1150

※庁内印刷